

家地川ダム（佐賀取水堰）に係る住民意向調査

調査結果報告書

高知県四万十町

2010 年（平成 22 年）2 月

目 次

第1部 調査概要

	頁
1. 調査目的	01
2. 調査対象	01
3. 調査方法	01
4. 調査期間	01
5. 回収率	01
6. 分析・表示について	01

第2部 調査・分析結果（単純集計）

1. 回答者の属性	02
①. 性別【問1】	02
②. 年齢【問2】	02
③. 居住地【問3】	02
④. 四万十川との位置関係【問4】	03
⑤. 居住年数【問5】	03
2. 四万十川に関する事項	05
①. 四万十川との関わり【問6】	05
②. 四万十川の環境改善の取組みへの関心度【問7】	06
③. 四万十川の印象【問8】	06
④. 四万十川が汚くなった原因【問9】	08
⑤. 四万十川の水量が少なくなった原因【問11】	09
⑥. 四万十川が汚くなったと感じた時期【問10】	10
⑦. 四万十川の水量が少なくなったと感じた時期【問12】	10
⑧. これからの四万十川にすべきこと（自由意見の傾向）【問13】	11
3. 家地川ダムに関する事項	12
①. 家地川ダムに関する過去の協議や決議の認知度【問14】	12
②. 家地川ダムの前回の水利権更新後、放流量が増加したことへの認知度【問15】	12
③. 家地川ダムより下流の河川状況の変化について【問16】	13
④. 家地川ダムより下流の河川状況が変わった原因【問16-1】	13
⑤. 家地川ダムの水利権更新期限（平成23年4月まで）の認知度【問17】	14
⑥. 家地川ダムの水利権更新への関心度【問18】	14
⑦. 家地川ダムから発電用に使った水が伊与木川に流れていることへの認知度【問19】	15
⑧. 地域での電力確保の方法について【問20】	15

⑨. 家地川ダムの廃止・存続への意向【問 21】	_____	16
⑩. 家地川ダム廃止を希望する意見（傾向）【問 21-1】	_____	17
⑪. 家地川ダムの条件付存続を希望する意見（傾向）【問 21-2】	_____	18
⑫. 四万十川、家地川ダム、エネルギー対策などへの意見（傾向）【自由意見】	_____	19

第3部 調査・分析結果（クロス集計）

1. 地域別の傾向	_____	21
①. 傾向・分析	_____	21
②. 地域別集計結果	_____	22
2. 四万十川との位置関係の傾向	_____	40
①. 傾向・分析	_____	40
②. 四万十川との位置関係別集計結果	_____	41
3. 川漁に関わる回答者の傾向	_____	51
①. 傾向・分析	_____	51
②. 川漁に関わる回答者集計結果	_____	52
4. 四万十川の環境保全に関心の高い回答者の傾向	_____	59
①. 傾向・分析	_____	59
②. 四万十川の環境保全に関心の高い回答者集計結果	_____	59
5. 家地川ダム水利権更新に関心の高い回答者の傾向	_____	63
①. 傾向・分析	_____	63
②. 四万十川の環境保全に関心の高い回答者集計結果	_____	63
6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向	_____	66
①. 傾向・分析	_____	66
②. 四万十川本流沿い居住者による地域別集計結果	_____	67

第4部 自由意見一覧

1. 四万十川を残していくためにすべきことへの自由意見【問 13】	_____	83
2. 家地川ダム廃止を要望する自由意見【問 21-1】	_____	90
3. 家地川ダム条件付の存続を要望する自由意見【問 21-2】	_____	93
4. 自由意見	_____	96

第5部 調査票	_____	107
----------------	-------	------------

第 1 部 調査概要

[第1部 調査概要]**1. 調査目的**

平成23年4月に家地川ダム(佐賀取水堰)が水利権の更新期限を迎え、高知県では、水利権更新に対する考え方について調査・検証等を行っていることを踏まえ、四万十町としての基本的な方向を整理するための基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施した。

2. 調査対象

対象者は、四万十町全域の住民基本台帳から、20歳以上の1,000人を無作為に抽出した。

3. 調査方法**①. 配布方法**

町職員による調査票の留置法とした。

②. 回収方法

町職員が調査対象者に調査票を配布した時点で、回収可能日時を確認し回収にあたった。

4. 調査期間

平成21年11月9日～平成21年11月24日（配布及び回収期間）

5. 回収率

＜配布及び回収結果＞

対象地域	配布数(件)	回収数(件)	回収率(%)
窪川地域	666	615	92.3
大正地域	168	165	98.2
十和地域	166	162	97.6
不 明		3	
計	1,000	945	94.5

6. 分析・表示について

- a 比率表示については小数点以下第2位を四捨五入とした。なお、比率が0.05未満の場合は0.0と表示した。
- b グラフの中の計は、その項目における回答者数であり、比率算出の基数とした。
- c 複数回答項目については、有効回収数（もしくは条件に基づく回答者）を基数として比率算出を行っているため、比率合計値は100%を超える場合がある。
- d 設問及び回答条件にあてはまらない回答については無回答扱いとした。

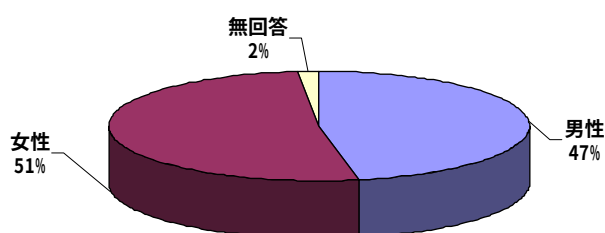
第2部 調査・分析結果（単純集計）

[第2部 調査・分析結果（単純集計）]

1. 回答者の属性

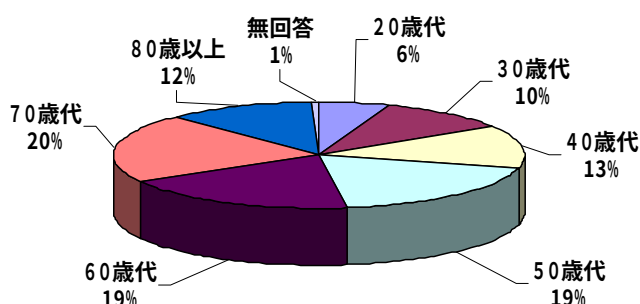
①. 性別【問1】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
男性	443	46.9
女性	486	51.4
無回答	16	1.7
計	945	100.0



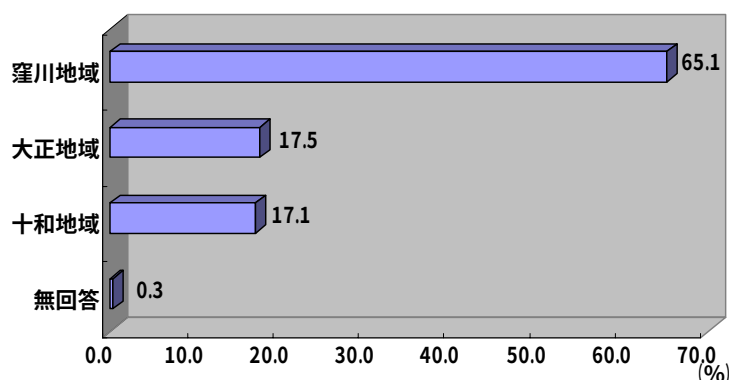
②. 年齢【問2】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
20歳代	53	5.6
30歳代	97	10.3
40歳代	122	12.9
50歳代	178	18.8
60歳代	178	18.8
70歳代	201	21.3
80歳以上	110	11.6
無回答	6	0.6
計	945	100.0



③. 居住地【問3】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
窪川地域	615	65.1
大正地域	165	17.5
十和地域	162	17.1
無回答	3	0.3
計	945	100.0



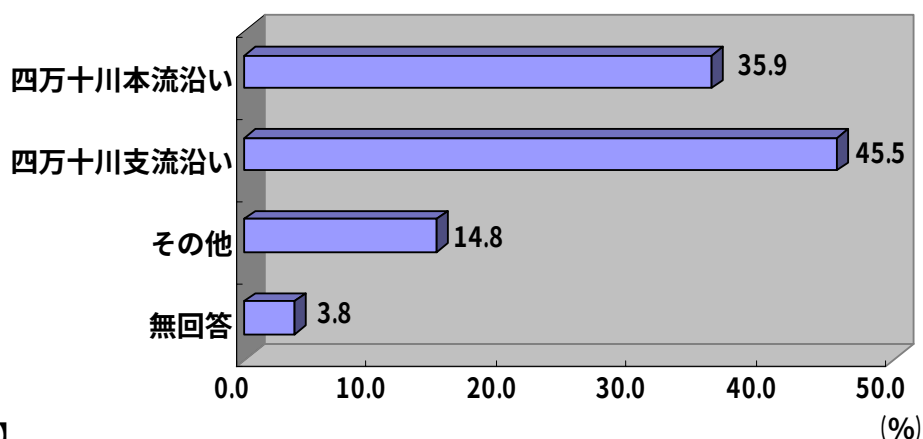
回答者の性別は概ね同数で二分され、かつ、四万十町の男女比とほぼ同じ結果となった。（男 47%、女 53%（男 9,434 人、女 10,520 人 2010 年1月1日時点））

また、年齢比は、“70 歳代”が最も高く 21.3%となっており、“20 歳代”が 5.6%と最も低くなっているものの突出した年齢層はなく、各年齢層からの回答を得ることができた。

一方、居住地をみると“窪川地域”の回答が多くなっているが、3 地域の人口比率とほぼ同じ結果である。

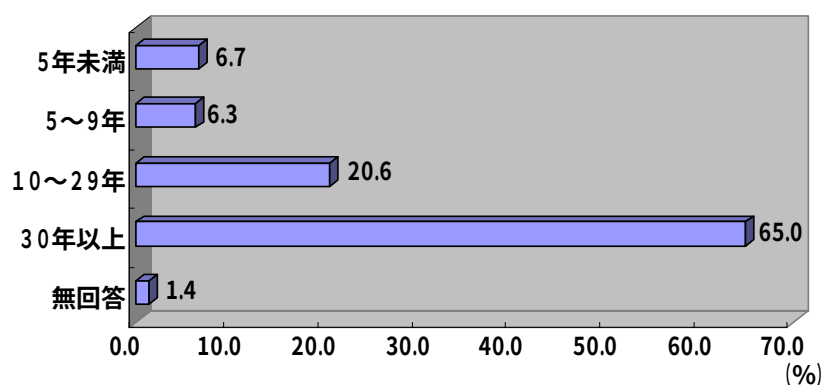
④．四万十川との位置関係【問4】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
四万十川本流沿い	339	35.9
四万十川支流沿い	430	45.5
その他	140	14.8
無回答	36	3.8
計	945	100.0



⑤．居住年数【問5】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
5年未満	63	6.7
5～9年	60	6.3
10～29年	195	20.6
30年以上	614	65.0
無回答	13	1.4
計	945	100.0



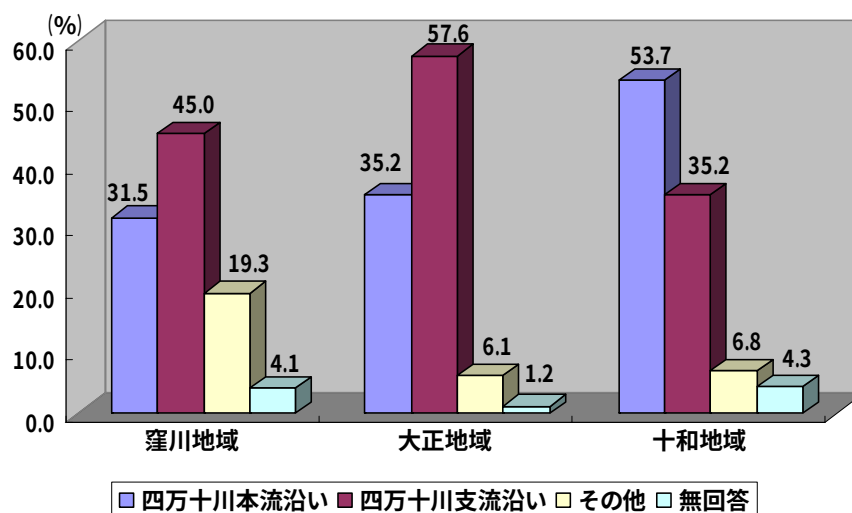
回答者の四万十川との位置関係をみると、“四万十川本流沿い及び四万十川支流沿い”に住む方が81.4%を占めており、回答者の多くが日常の社会生活に四万十川が関わっていることが伺える。

また、居住年数では“30年以上”地域に居住している方が65.0%を占め、“10～29年”居住者を加えると回答者の9割近い方（85.6%）が地域に深く根ざしていることが伺える。

■地域別にみる四万十川との位置関係（クロス集計検討）

ここでは、地域別にみる四万十川との位置関係をクロスしてみる。

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)
四万十川本流沿い	194	31.5	58	35.2	87	53.7
四万十川支流沿い	277	45.0	95	57.6	57	35.2
その他	119	19.3	10	6.1	11	6.8
無回答	25	4.1	2	1.2	7	4.3
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

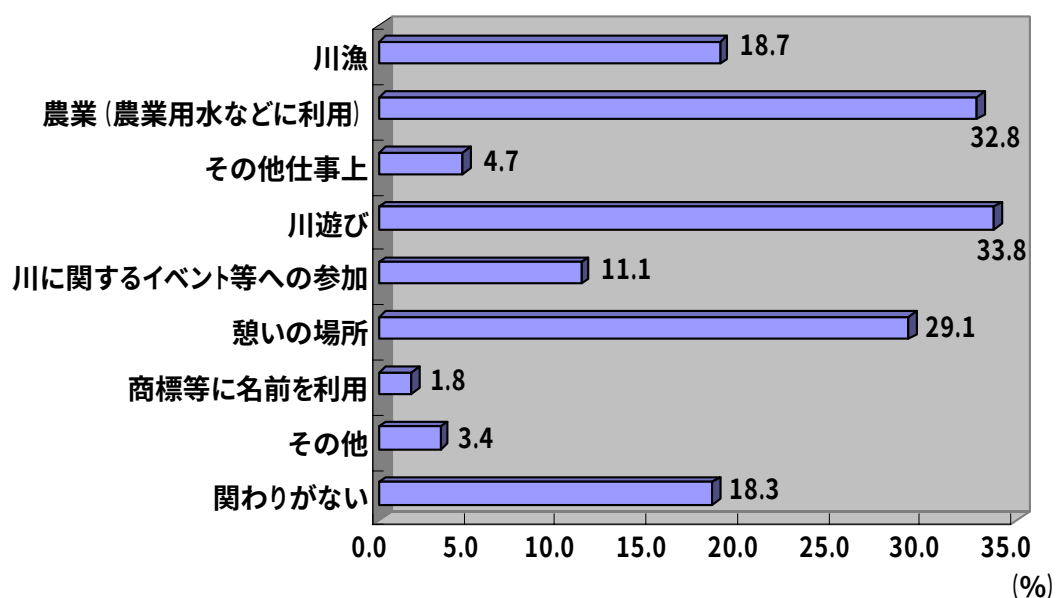


“四万十川本流沿い”に居住する回答者は十和地域が最も多く、窪川地域が最も低くなっている。また、“四万十川本流沿い及び四万十川支流沿い”に住む方は、大正地域が最も多くなっており、併せて92.8%の方が四万十川を生活圏に持っている。

2. 四万十川に関する事項

①. 四万十川との関わり【問6】（複数回答）

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
川漁	177	18.7
農業(農業用水などに利用)	310	32.8
その他仕事上	44	4.7
川遊び	319	33.8
川に関するイベント等への参加	105	11.1
憩いの場所	275	29.1
商標等に名前を利用	17	1.8
その他	32	3.4
関わりがない	173	18.3
計	945	100.0



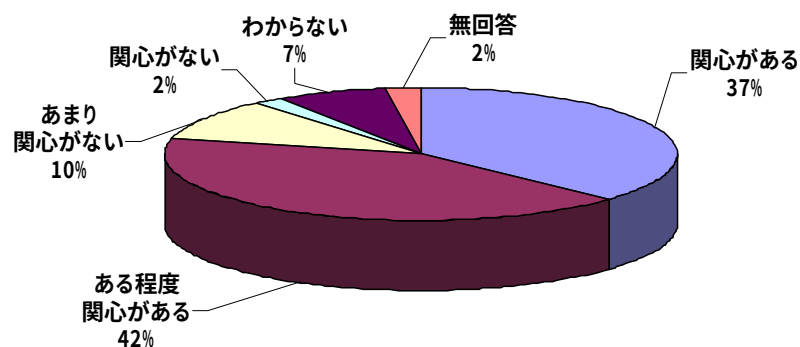
四万十川との関わりについてみると、全体の8割強の方が生業やレクリエーションなどに四万十川と関わりの深い結果となっている。

その中で特筆すべき点は、農業（農業用水などに利用）や川漁など、日々の生業活動に密接に関わっている方が半数（51.5%）を占めている。

また、レクリエーションとしての利用をみると、川遊びや憩いの場所、川に関するイベント等への参加として利用している方が74.0%となっている。

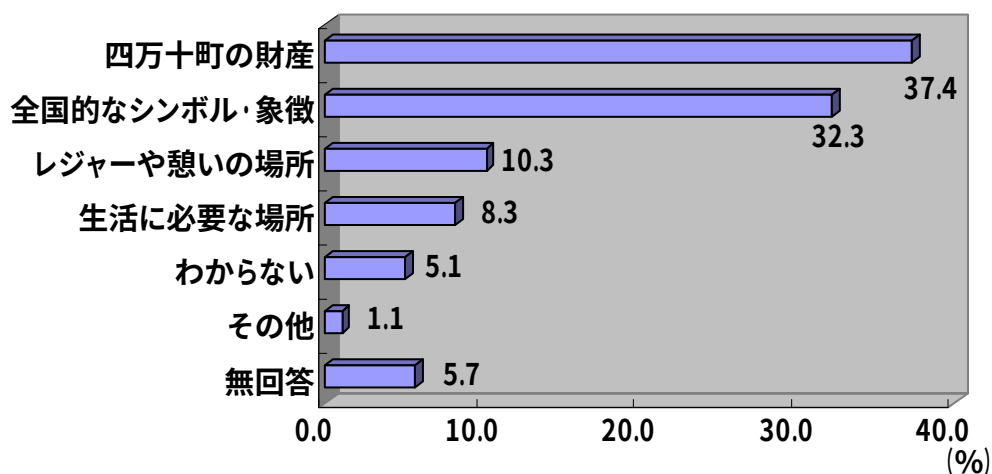
②. 四万十川の環境改善の取り組みへの関心度【問7】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
関心がある	349	36.9
ある程度関心がある	393	41.6
あまり関心がない	98	10.4
関心がない	19	2.0
わからない	66	7.0
無回答	20	2.1
計	945	100.0



③. 四万十川の印象【問8】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
四万十町の財産	353	37.4
全国的なシンボル・象徴	305	32.3
レジャーや憩いの場所	97	10.3
生活に必要な場所	78	8.3
わからない	48	5.1
その他	10	1.1
無回答	54	5.7
計	945	100.0



四万十川の環境改善の取り組みへの関心度をみると、“関心がある方（“ある程度関心がある”含む）”は78.5%となっている。

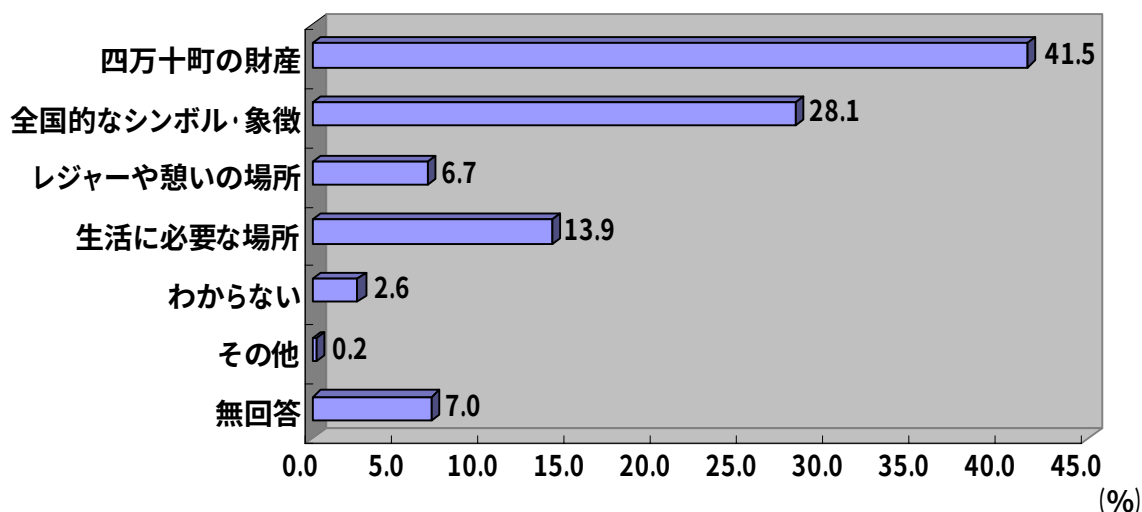
また、四万十川の印象は、“財産”、“シンボル・象徴”に票数を集める中で、生活に必要な場所として捉えている方は少なく、8.3%にとどまっている。

■四万十川が生産活動に密接に関わっている方にみる四万十川の印象（クロス集計検討）

ここでは、四万十川が生産活動に密接に関わっている方（417 票）にみる四万十川の印象をクロスしてみる。

※生産活動（417 票）＝川漁、農業、川漁＋農業を指す。

選 択 肢	回答数 (票)	構成比 (%)
四万十町の財産	173	41.5
全国的なシンボル・象徴	117	28.1
レジャーや憩いの場所	28	6.7
生活に必要な場所	58	13.9
わからない	11	2.6
その他	1	0.2
無回答	29	7.0
計	417	100.0

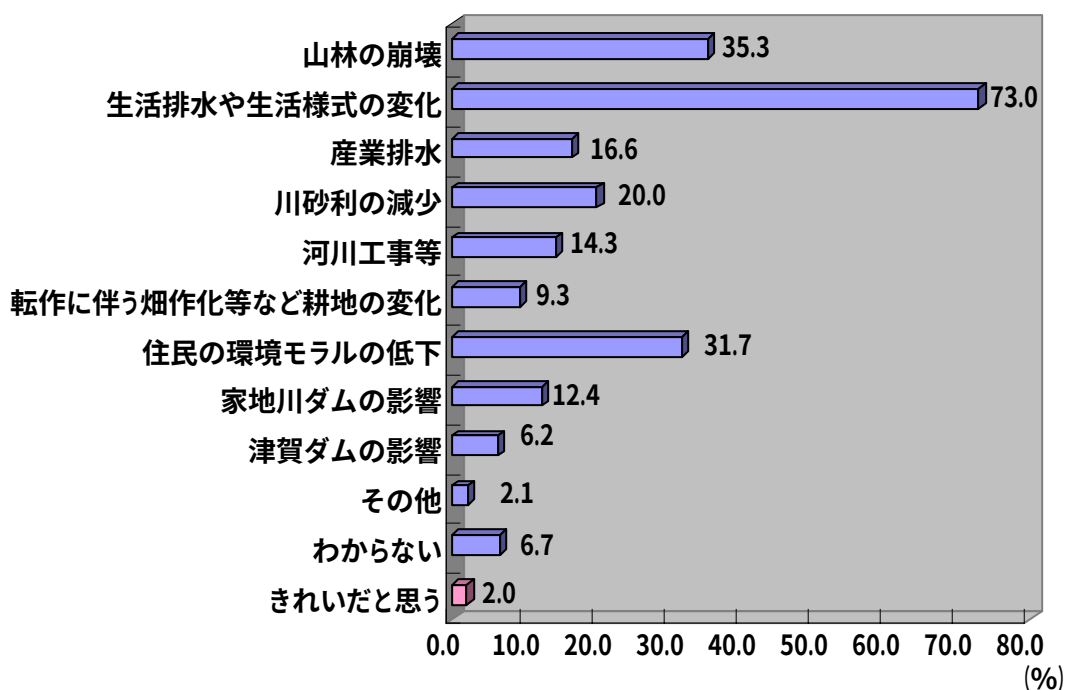


四万十川が生産活動に密接に関わっている方（417 票）のうち、“四万十川の財産”と捉えている方が 41.5%となっており、回答者全員の印象より高い結果となっている。

また、“生活に必要な場所”として捉えている方は 13.9%で回答者全員の印象より高い結果となっている。

④．四万十川が汚くなった原因【問9】（複数回答）

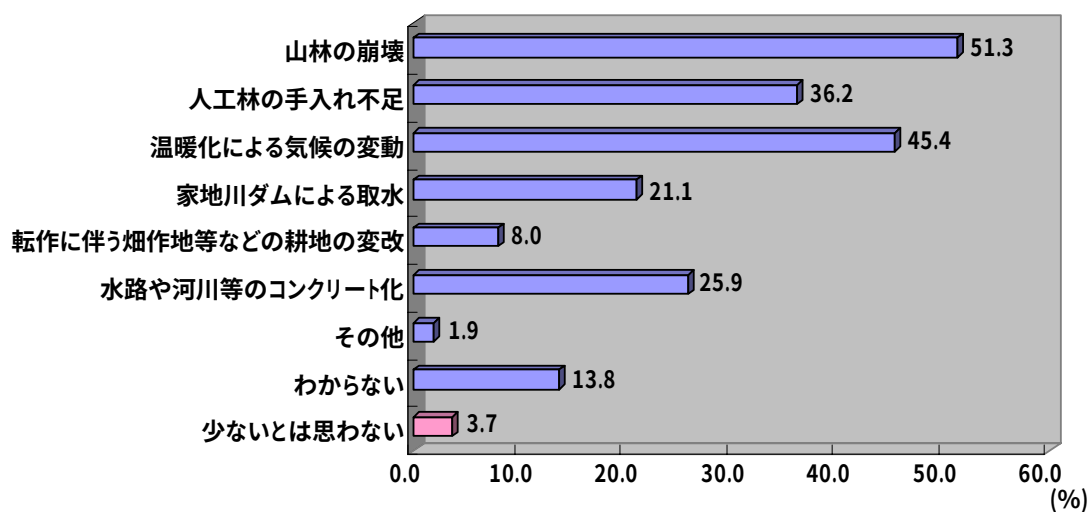
選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
山林の崩壊	334	35.3
生活排水や生活様式の変化	690	73.0
産業排水	157	16.6
川砂利の減少	189	20.0
河川工事等	135	14.3
転作に伴う畑作化など耕地の変化	88	9.3
住民の環境モラルの低下	300	31.7
家地川ダムの影響	117	12.4
津賀ダムの影響	59	6.2
その他	20	2.1
わからない	63	6.7
きれいだと思う	19	2.0
計	945	100.0



水質悪化の原因をみると、“生活排水や生活様式の変化”（73.0%）が群を抜き第一となっている。続いて“山林の崩壊”（35.3%）、“住民の環境モラルの低下”（31.7%）となっている。これより、日々の生活行動が四万十川の水質の悪化につながっていると認識する方が多いことが伺われる。

⑤．四万十川の水量が少なくなった原因【問11】（複数回答）

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
山林の崩壊	485	51.3
人工林の手入れ不足	342	36.2
温暖化による気候の変動	429	45.4
家地川ダムによる取水	199	21.1
転作に伴う畑作地などの耕地の変改	76	8.0
水路や河川等のコンクリート化	245	25.9
その他	18	1.9
わからない	130	13.8
少ないとは思わない	35	3.7
計	945	100.0

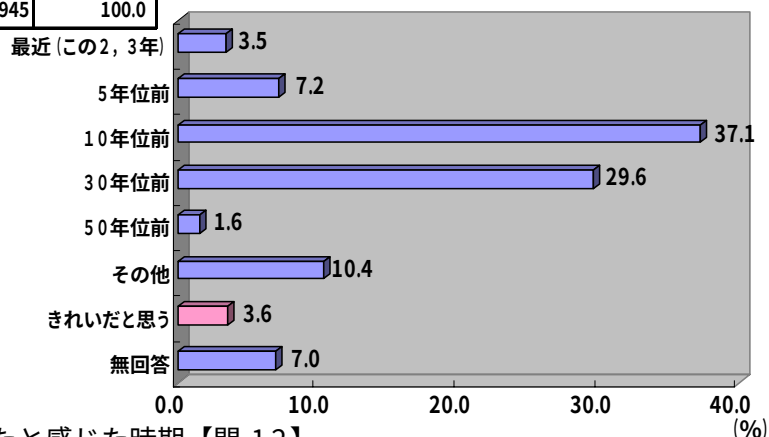


回答者の水量が少なくなった原因をみると、“山林の崩壊”（51.3%）が第一となっており、次いで“温暖化による気候の変動”（45.4%）となっている。

また、“人工林の手入れ不足”（36.2%）を挙げる方も多く、“山林の崩壊”を併せて9割近い方が、水量が少なくなってきた原因は森林の保全・整備が遅れてきたことが最大の要因であることを訴えている。

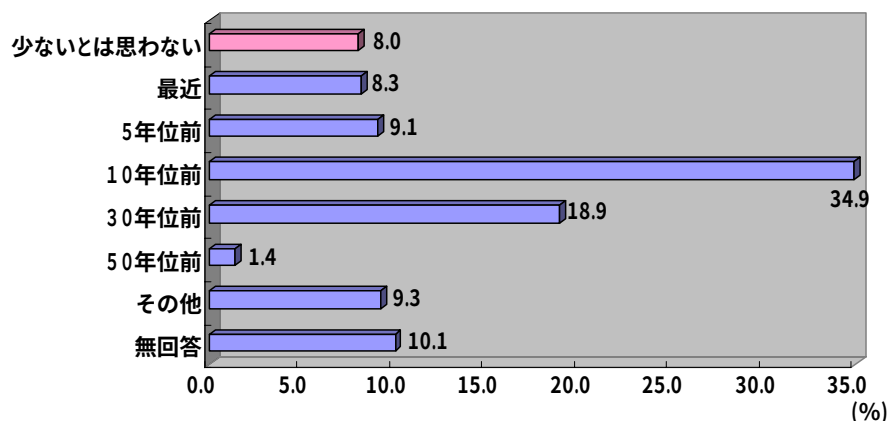
⑥．四万十川が汚くなったと感じた時期【問 10】

選 択 肢	回答数 (票)	構成比 (%)
最近 (この2, 3年)	33	3.5
5年位前	68	7.2
10年位前	351	37.1
30年位前	280	29.6
50年位前	15	1.6
その他	98	10.4
きれいだと思う	34	3.6
無回答	66	7.0
計	945	100.0



⑦．四万十川の水量が少なくなったと感じた時期【問 12】

選 択 肢	回答数 (票)	構成比 (%)
少ないとは思わない	76	8.0
最近	78	8.3
5年位前	86	9.1
10年位前	330	34.9
30年位前	179	18.9
50年位前	13	1.4
その他	88	9.3
無回答	95	10.1
計	945	100.0



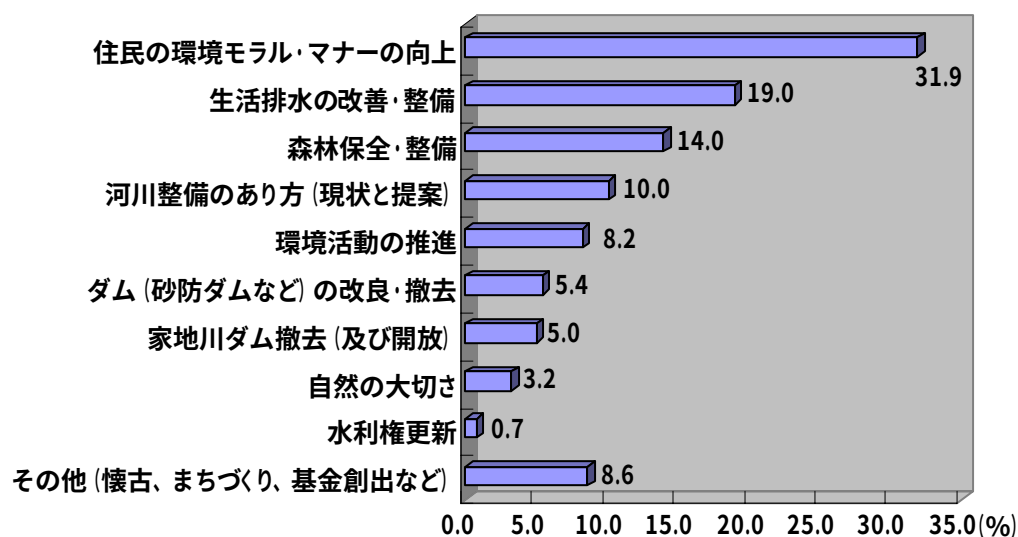
四万十川が“汚くなった”、“水量が少なくなった”と感じた時期をみると、どちらも10年位前から第一となっている。また、“汚くなった”と回答する方のうち30年位前から感じている方も約3割（29.6%）を占める結果となっており、地域ではかなり以前から四万十川の変化を感じとっていることが伺える。

⑧. これからの四万十川にすべきこと（自由意見の傾向）【問 13】

記述内容（279 票）より、カテゴリーを抽出し意見内容を整理、傾向をみる。

※一つの回答（意見）に複数の内容が含まれる場合は分解し整理しているため、意見数と回答数（279 票）は異なる。

意見内容	意見数	構成比 (%)
住民の環境モラル・マナーの向上	89	31.9
生活排水の改善・整備	53	19.0
森林保全・整備	39	14.0
河川整備のあり方 (現状と提案)	28	10.0
環境活動の推進	23	8.2
ダム (砂防ダムなど) の改良・撤去	15	5.4
家地川ダム撤去 (及び開放)	14	5.0
自然の大切さ	9	3.2
水利権更新	2	0.7
その他 (懐古、まちづくり、基金創出など)	24	8.6
計	296	100.0

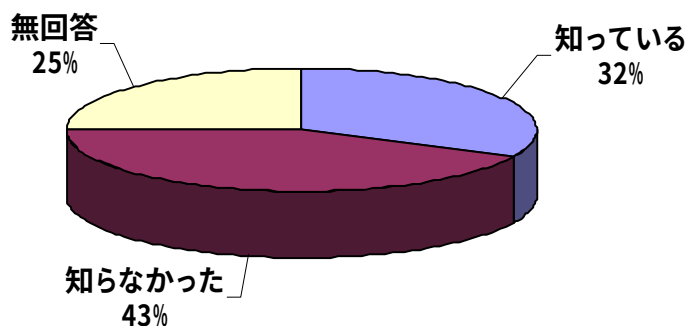


自由意見では、反省と自警を促す“住民の環境へのモラル・マナーの向上”（31.9%）を訴える傾向が強くみられ、次いで“生活排水の改善・整備”（19.0%）、“森林保全・整備”（14.0%）への意見が多くみられた。

3 家地川ダムに関する事項

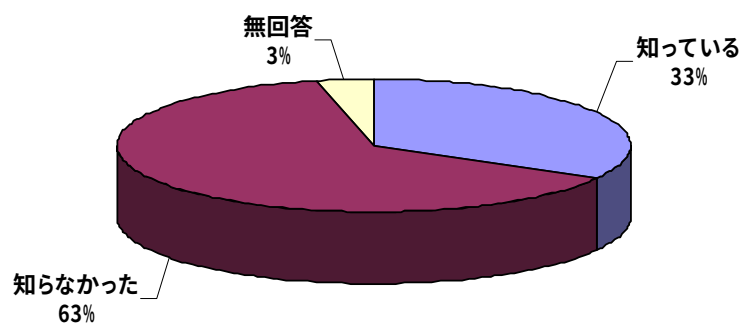
①. 家地川ダムに関する過去の協議や決議の認知度【問 14】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
知っている	304	32.2
知らなかった	407	43.1
無回答	234	24.8
計	945	100.0



②. 家地川ダムの前回の水利権更新後、放流量が増加したことへの認知度【問 15】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
知っている	316	33.4
知らなかった	596	63.1
無回答	33	3.5
計	945	100.0

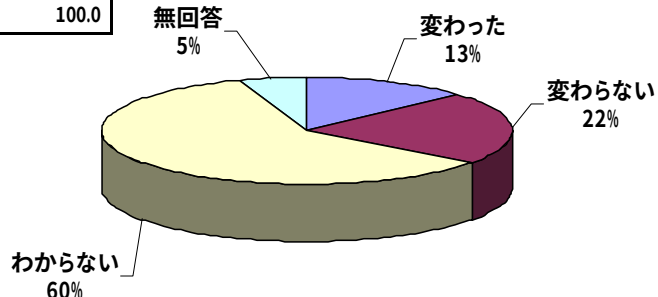


家地川ダムに関する過去の協議や決議の認知度は低く、“知らなかった”(43.1%)が“知っている”(32.2%)を上回っている。

また、前回の水利権更新後、放流量が増加したことへの認知度になると、さらに“知らなかった”(63.1%)が“知っている”(33.4%)を大きく上回る結果となっている。これより四十町全域でみた場合は、家地川ダムの関心度は低いことが伺える。

③. 家地川ダムより下流の河川状況の変化について【問 16】

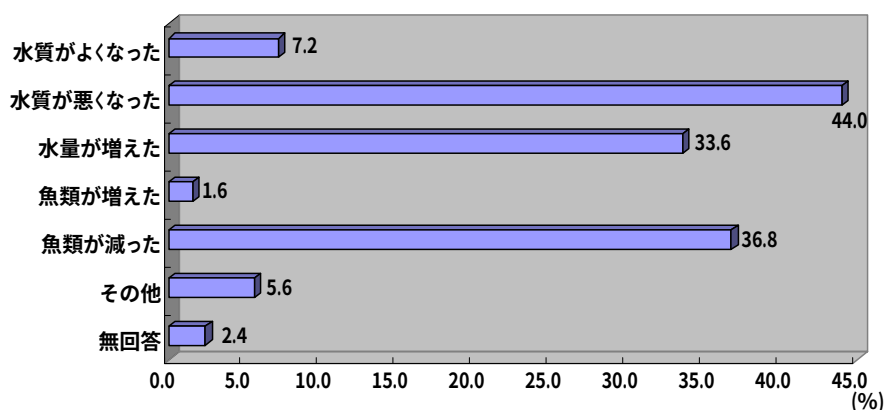
選 択 肢	回答数(票)	構成比 (%)
変わった	125	13.2
変わらない	206	21.8
わからない	564	59.7
無回答	50	5.3
計	945	100.0



④. 家地川ダムより下流の河川状況が変わった原因【問 16-1】（複数回答）

問 16 で、“ 変わった ” と答えた方 125 票の意見

選 択 肢	回答数(票)	構成比 (%)
水質がよかった	9	7.2
水質が悪くなった	55	44.0
水量が増えた	42	33.6
魚類が増えた	2	1.6
魚類が減った	46	36.8
その他	7	5.6
無回答	3	2.4
計	125	100.0

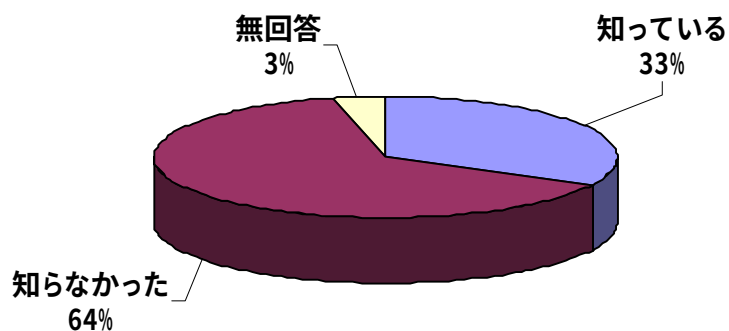


河川状況の変化については、家地川ダムの関心度が低いことが影響していると思われ、“ わからない ”（59.7%）が約6割を占める結果となっている。

また、“ 変わった ”（13.2%）と判断する方（125 票）の「変わった原因」をみると、“ 水質が悪くなった ”（44.0%）が第一となっており、次いで“ 魚類が減った ”（36.8%）、水量が増えた（33.6%）が第三となっており、「負」としての要因が上位を占める結果となっている。これは、水量が増えたことによる結果よりも、他の原因による河川状況の悪化が進んでいることが推察される。

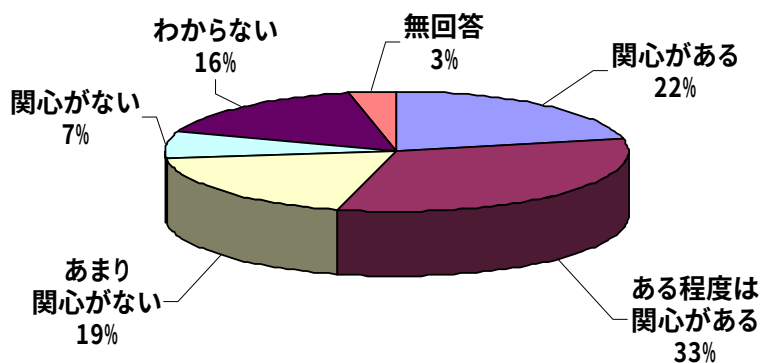
⑤. 家地川ダムの水利権更新期限（平成23年4月まで）の認知度【問17】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
知っている	308	32.6
知らなかった	604	63.9
無回答	33	3.5
計	945	100.0



⑥. 家地川ダムの水利権更新への関心度【問18】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
関心がある	206	21.8
ある程度は関心がある	305	32.3
あまり関心がない	179	18.9
関心がない	69	7.3
わからない	154	16.3
無回答	32	3.4
計	945	100.0

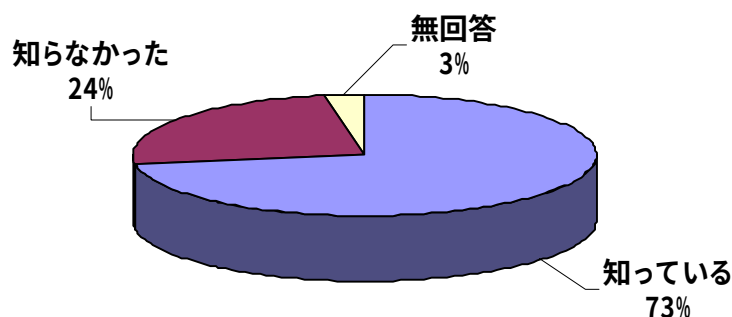


家地川ダムの水利権更新期限については、問14～問16と同傾向となっており家地川ダムの関心度が低いこともあり、“知らなかった”（63.9%）が約6割を占める結果となっている。

一方、家地川ダムの水利権更新への関心度については関心が高く、関心のある方（「関心がある」（21.8%）、「ある程度は関心がある」（32.3%））が全体の約半数にのぼり、関心が高いことが伺える。

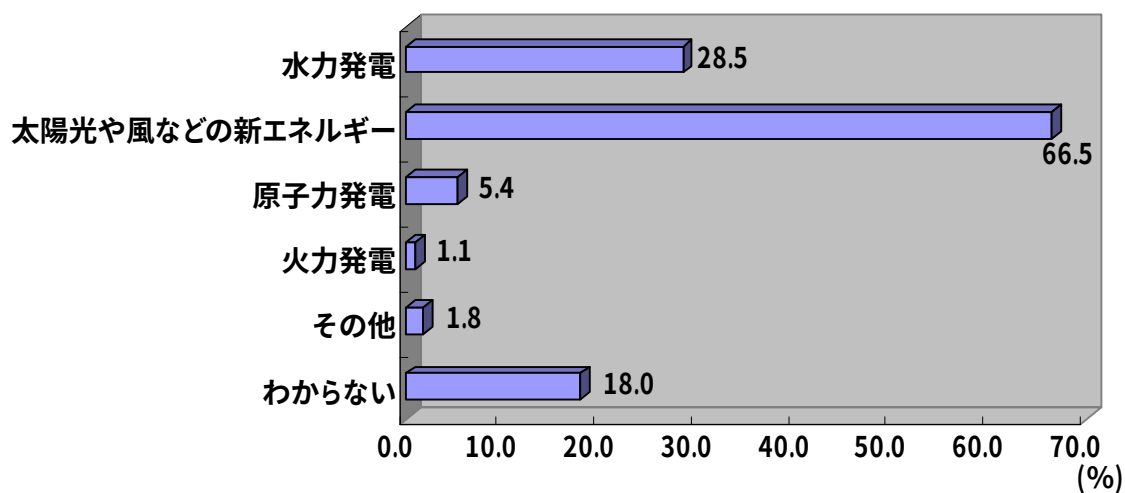
⑦．家地川ダムから発電用に使った水が伊与木川に流れていることへの認知度【問 19】

選 択 肢	回答数(票)	構成比 (%)
知っている	688	72.8
知らなかった	231	24.4
無回答	26	2.8
計	945	100.0



⑧．地域での電力確保の方法について【問 20】（複数回答）

選 択 肢	回答数(票)	構成比 (%)
水力発電	269	28.5
太陽光や風などの新エネルギー	628	66.5
原子力発電	51	5.4
火力発電	10	1.1
その他	17	1.8
わからない	170	18.0
計	945	100.0

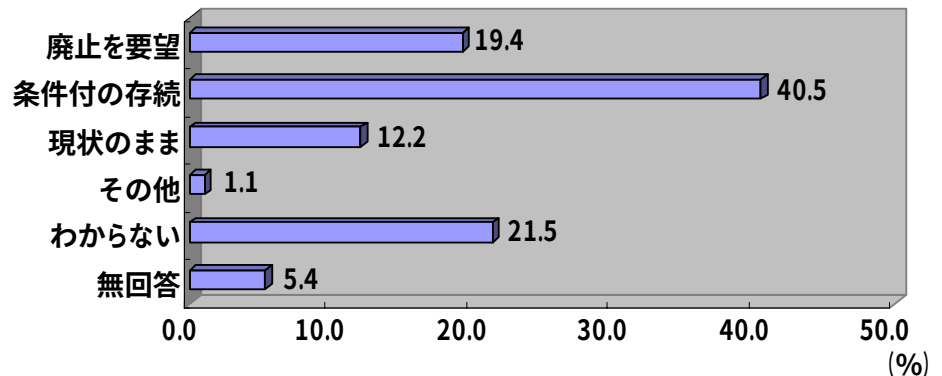


家地川ダムから発電用に使った水が伊与木川に流されていることへの認知度は、約7割（72.8%）の方が“知っている”と答えており、関心度の高さが伺われる。

地域での電力確保の方法については、“太陽光や風などの新エネルギー”への期待が最も高く、次いで“水力発電”（28.5%）となっている。

⑨．家地川ダムの廃止・存続への意向【問21】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
廃止を要望	183	19.4
条件付の存続	383	40.5
現状のまま	115	12.2
その他	10	1.1
わからない	203	21.5
無回答	51	5.4
計	945	100.0



家地川ダムの廃止・存続への意向については、存続〔「条件付の存続」（40.5%）、「現状のまま」（12.2%）〕を要望する方が、全体の約半数となっている。また、廃止を要望する方は、19.4%となっている。

ただし、存続の場合でも「条件付」を望む方は、存続〔「条件付の存続」、「現状のまま」〕中、約8割（76.9%）となっている。

また、「条件付」を望む方の具体的な要望（問21-2）をみると、「水量確保」（14.1%）、「水質改善」（11.8%）への意見が多くみられ、水量・水質改善の担保を望む声が多く聞かれた。同時に、「代替エネルギーの検討（12.9%）」を望む声も多く、将来は廃止を要望する意志があることも伺える。

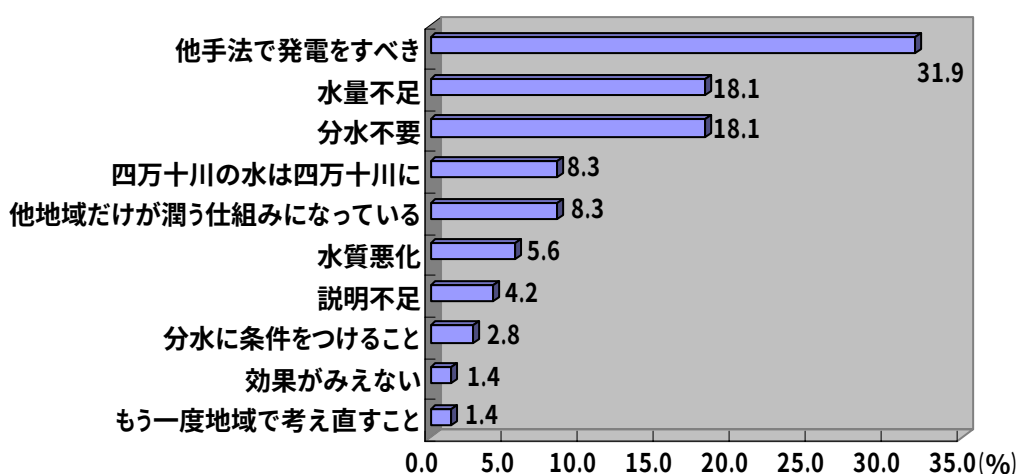
⑩．家地川ダム廃止を要望する方の具体的な意見（自由意見の傾向）【問21-1】

家地川ダム廃止を要望する方の自由意見（問21で「1」を回答した方）

記述内容（63票）より、カテゴリーを抽出し意見内容を整理、傾向をみる。また、要件を満たさない回答者（問21で「1」を回答していない方）の回答が4票あり、これは第4部の自由意見一覧に掲載する。

※一つの回答（意見）に複数の内容が含まれる場合は分解し整理しているため、意見数と回答数（63票）は異なる。

意見内容	意見数	構成比 (%)
他手法で発電をすべき	23	31.9
水量不足	13	18.1
分水不要	13	18.1
四万十川の水は四万十川に	6	8.3
他地域だけが潤う仕組みになっている	6	8.3
水質悪化	4	5.6
説明不足	3	4.2
分水に条件をつけること	2	2.8
効果がみえない	1	1.4
もう一度地域で考え直すこと	1	1.4
計	72	100.0



家地川ダム廃止を要望する方の自由意見では、“他手法で発電をすべき”（31.9%）を訴える傾向が強くみられ、次いで“水量不足”（18.1%）、“分水不要”（18.1%）への意見が多くみられた。

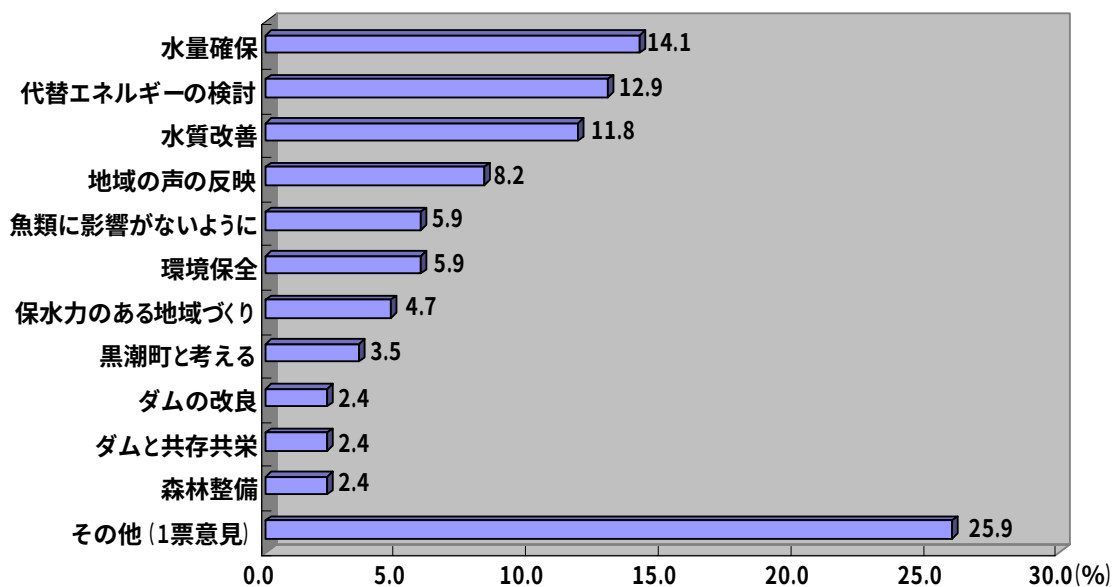
⑪. 家地川ダムの条件付存続を要望する方の意見（自由意見の傾向）【問21-2】

家地川ダム条件付の存続を要望する自由意見（問21で「2」を回答した方）

記述内容（81票）より、カテゴリーを抽出し意見内容を整理、傾向をみる。また、要件を満たさない回答者（問21で「1」を回答していない方）の回答が2票あり、これは第4部の自由意見一覧に掲載する。

※一つの回答（意見）に複数の内容が含まれる場合は分解し整理しているため、意見数と回答数（81票）は異なる。

意見内容	意見数	構成比 (%)
水量確保	12	14.1
代替エネルギーの検討	11	12.9
水質改善	10	11.8
地域の声の反映	7	8.2
魚類に影響がないように	5	5.9
環境保全	5	5.9
保水力のある地域づくり	4	4.7
黒潮町と考える	3	3.5
ダムの改良	2	2.4
ダムと共存共栄	2	2.4
森林整備	2	2.4
その他（1票意見）	22	25.9
	85	100.0

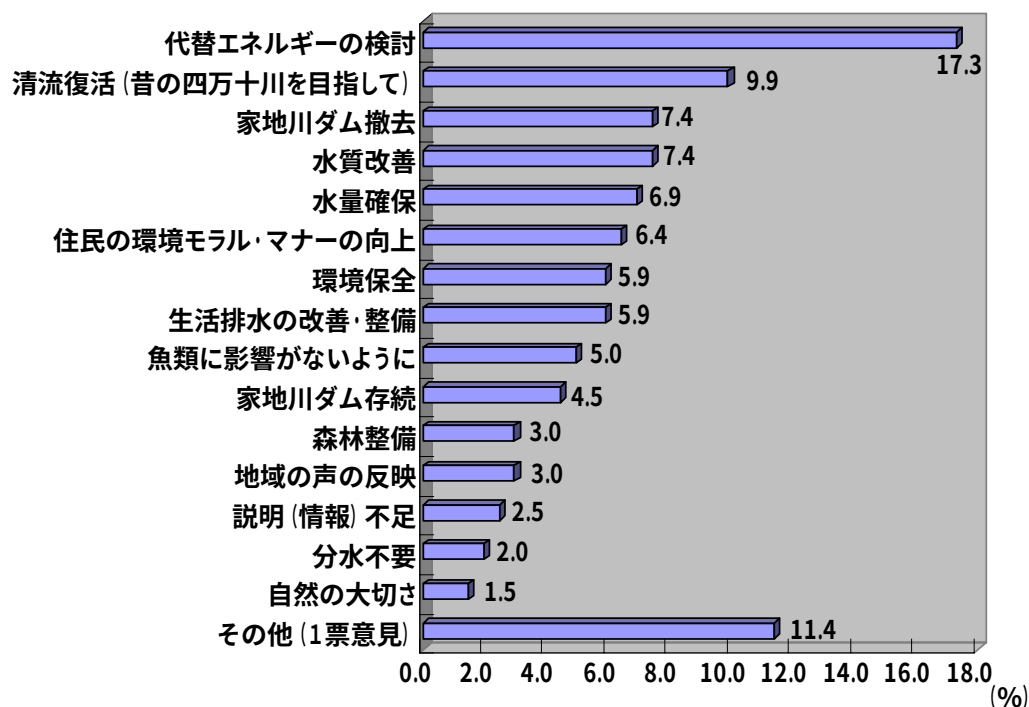


家地川ダムの条件付存続を要望する方の自由意見では、様々な意見を聞くことができた。その中で、“水量確保”（14.1%）が第一となり、次いで“代替エネルギーの検討”（12.9%）、“水質改善”（11.8%）への意見が多くみられた。

⑫. 四万十川、家地川ダム、エネルギー対策などへの意見（自由意見の傾向）【自由意見】
記述内容（190 票）より、カテゴリーを抽出し意見内容を整理、傾向をみる。

※一つの回答（意見）に複数の内容が含まれる場合は分解し整理しているため、意見数と回答数（190 票）は異なる。

意見内容	意見数	構成比 (%)
代替エネルギーの検討	35	17.3
清流復活 (昔の四万十川を目指して)	20	9.9
家地川ダム撤去	15	7.4
水質改善	15	7.4
水量確保	14	6.9
住民の環境モラル・マナーの向上	13	6.4
環境保全	12	5.9
生活排水の改善・整備	12	5.9
魚類に影響がないように	10	5.0
家地川ダム存続	9	4.5
森林整備	6	3.0
地域の声の反映	6	3.0
説明 (情報) 不足	5	2.5
分水不要	4	2.0
自然の大切さ	3	1.5
その他 (1票意見)	23	11.4
	202	100.0



自由意見では、様々な意見を聞くことができた。その中で、太陽光発電や風力発電に関する代替エネルギーへの転換への意見（17.3%）が第一となり、次いで“清流復活（昔の四万十川）”（9.9%）を望む声への意見が多くみられた。

第3部 調査・分析結果（クロス集計）

[第3部 調査・分析結果（クロス集計）]

単純集計結果を踏まえ、次の分析（第一次クロス集計）をおこなう。

1. 地域別の傾向

→問3（窪川地域、大正地域、十和地域）×全問

2. 四万十川との位置関係の傾向

→問4（本流沿いに居住、支流沿いに居住）×問6～最終設問

3. 川漁に関わる回答者の傾向

→問6（川漁回答者）×問7～最終設問

4. 四万十川の環境保全に関心の高い回答者の傾向

→問7（関心がある＋ある程度関心がある）×問8～問12

5. 家地川ダム水利権更新に関心の高い回答者の傾向

→問18（関心がある＋ある程度関心がある）×問16、問16-1、問20、問21

第一次クロス集計を踏まえ、次の分析（第二次クロス集計）をおこなう。

6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

→問4（本流沿いに居住：339票）

×問3（窪川地域、大正地域、十和地域）×問6～最終設問

1. 地域別の傾向

※問3（窪川地域、大正地域、十和地域）×全問

窪川地域（615票）、大正地域（165票）、十和地域（162票）

①. 傾向・分析

【属性】

各地域とも性別及び年齢にみる違いはほとんどみられない。

四万十川との位置関係についてみると、十和地域のみ“四万十川本流沿い”に居住する方が“四万十川支流沿い”に居住する方より多くなっている。これは地理的条件によるものと考えられる。また、居住年数については各地域とも差異はほとんどみられない。

【四万十川に関する事項】

四万十川との関わりのうち“生業”についてみると、窪川地域は“農業”、大正地域は“川漁と農業（ほぼ同じ票数）”、十和地域は“川漁”が第一となる結果となっている。また、大正地域は、“川遊び”として利用する方が他地域に比べ突出しており、大正地域の中での約半数を占めている。

四万十川の環境改善の取組みへの関心度は、窪川地域に比べ、大正地域、十和地域の方が高いことが伺える。また、四万十川の印象については、他地域に比べ、十和地域の方は“生活に必要な場所”が高くなっている。

四万十川が“汚くなった原因”をみると、他地域に比べ、窪川地域の方は“住民の環境モラルの低下”が高くなっている。また、汚くなった時期については、他地域に比べ、十和地域の方は、古くから（30年位前が第一位）感じていることが伺える。また、“水量”に関する回答に地域ごとの大きな差異はみられない。

【家地川ダムに関する事項】

“家地川ダムに関する過去の協議や決議の認知度”については地域ごとの差異はみられないものの、“前回の水利権更新後、放流量が増加したことへの認知度”については、他地域に比べ、大正地域の方の関心が高いことが伺える。また、河川状況の変化については、他地域に比べ、窪川地域の方は“わからない”が突出しており、関心が低いことが伺える。

河川状況が変わった理由については、大正地域、十和地域の方が“水質が悪くなった”を第一とする中、窪川地域は、“魚類が減った”が第一となっており、意識の違いをみることができる。

家地川ダムの水利権更新時期の認知度については、他地域に比べ、大正地域の方の関心が高いことが伺える。また、家地川ダムの水利権更新への関心度については、他地域に比べ、窪川地域が最も低くなっている。

地域での電力確保の方法については、地域ごとの差異はみられない。

これからの家地川ダムのあり方については、他地域に比べ、十和地域は“廃止を要望”する声が高くなっている。

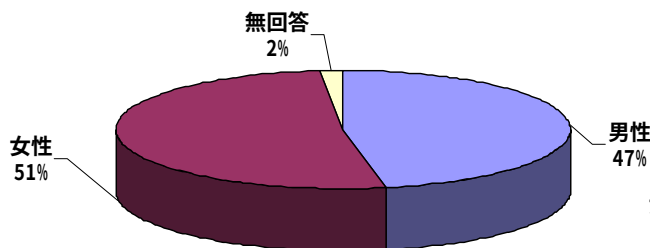
②. 地域別集計結果

【回答者の属性】

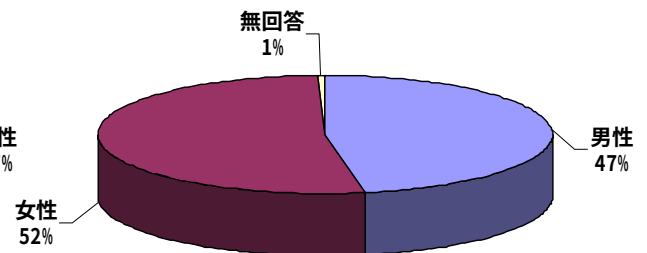
○性別【問1】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
男性	290	47.2	78	47.3	75	46.3
女性	314	51.1	86	52.1	85	52.5
無回答	11	1.8	1	0.6	2	1.2
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

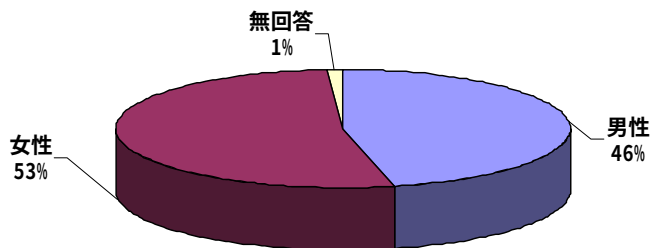
■窪川地域



■大正地域



■十和地域

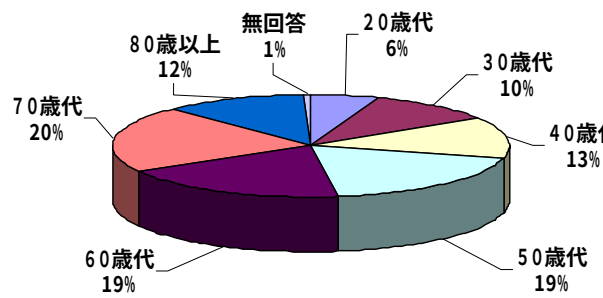


○年齢【問2】

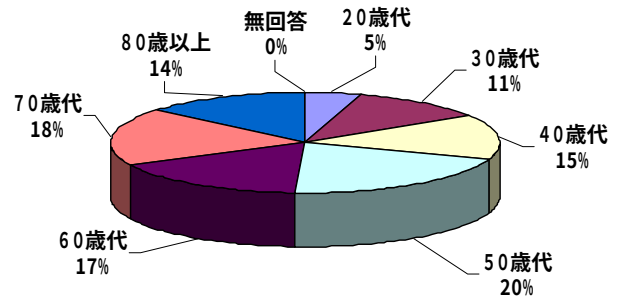
選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
20歳代	41	6.7	8	4.8	4	2.5
30歳代	64	10.4	18	10.9	15	9.3
40歳代	82	13.3	24	14.5	16	9.9
50歳代	114	18.5	34	20.6	30	18.5
60歳代	107	17.4	28	17.0	43	26.5
70歳代	135	22.0	30	18.2	36	22.2
80歳以上	69	11.2	23	13.9	17	10.5
無回答	3	0.5	0	0.0	1	0.6
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

第3部 調査・分析結果（クロス集計） 1. 地域別の傾向

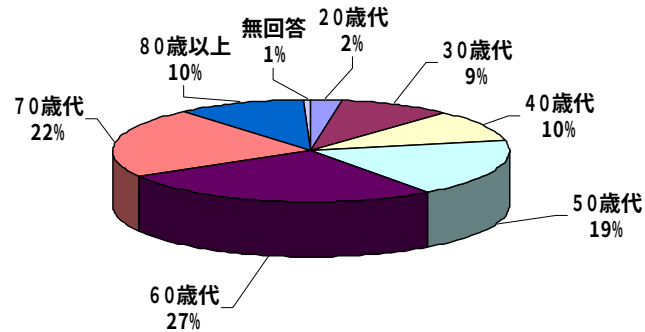
■窪川地域



■大正地域



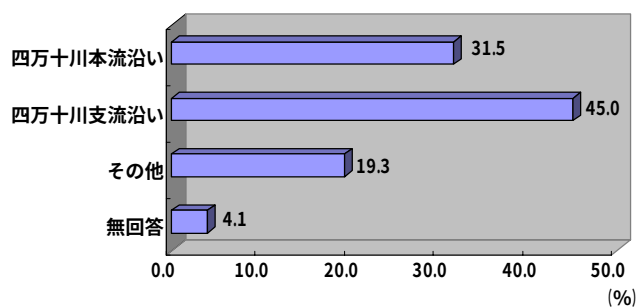
■十和地域



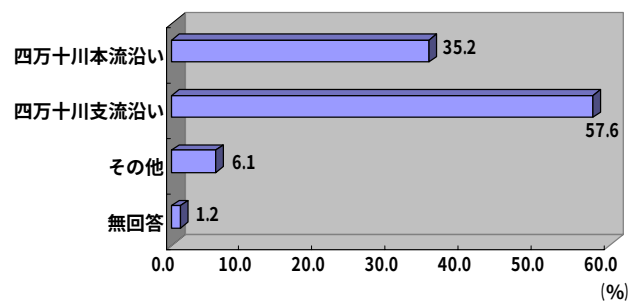
○四万十川との位置関係【問4】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比 (%)	回答数(票)	構成比 (%)	回答数(票)	構成比 (%)
四万十川本流沿い	194	31.5	58	35.2	87	53.7
四万十川支流沿い	277	45.0	95	57.6	57	35.2
その他	119	19.3	10	6.1	11	6.8
無回答	25	4.1	2	1.2	7	4.3
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

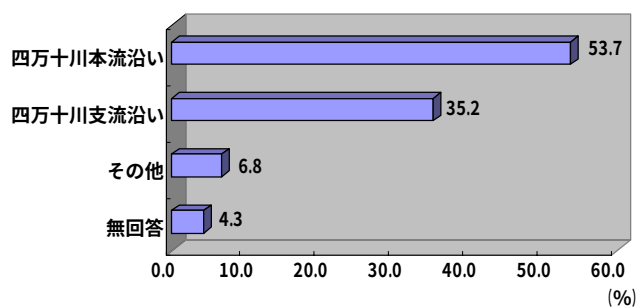
■窪川地域



■大正地域



■十和地域

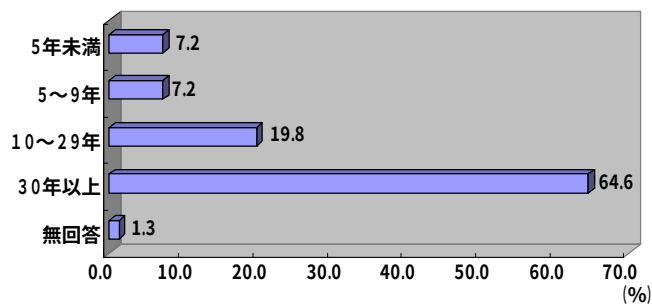


第3部 調査・分析結果（クロス集計） 1. 地域別の傾向

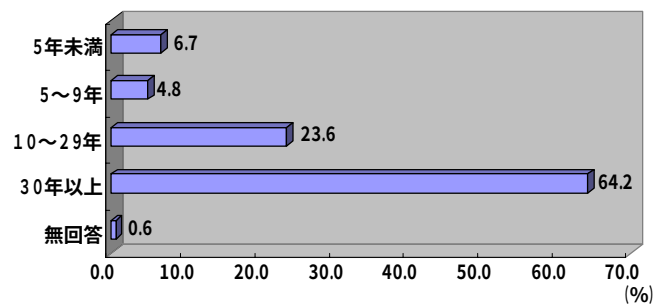
○居住年数【問5】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
5年未満	44	7.2	11	6.7	8	4.9
5～9年	44	7.2	8	4.8	8	4.9
10～29年	122	19.8	39	23.6	34	21.0
30年以上	397	64.6	106	64.2	110	67.9
無回答	8	1.3	1	0.6	2	1.2
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

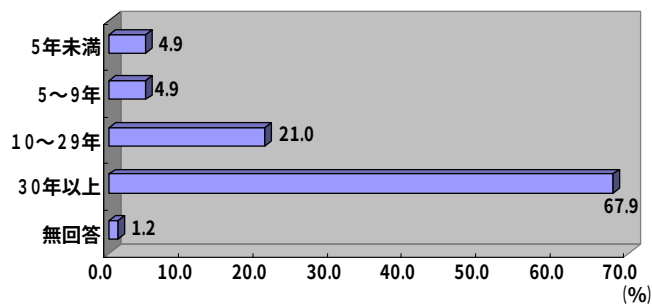
■窪川地域



■大正地域



■十和地域

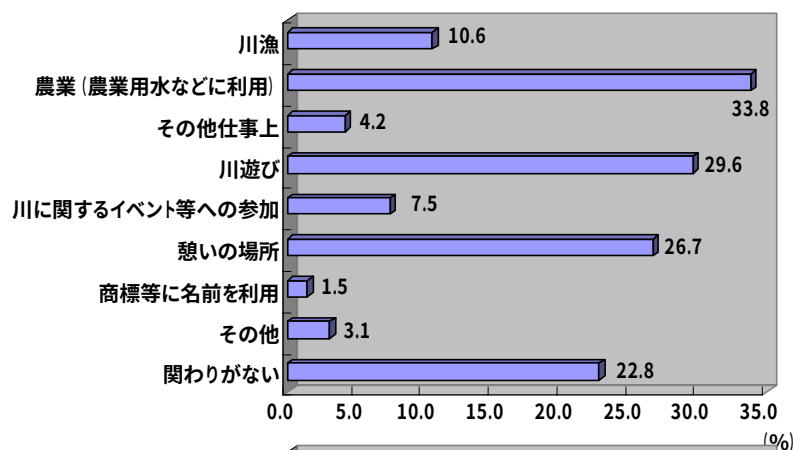


【四万十川に関する事項】

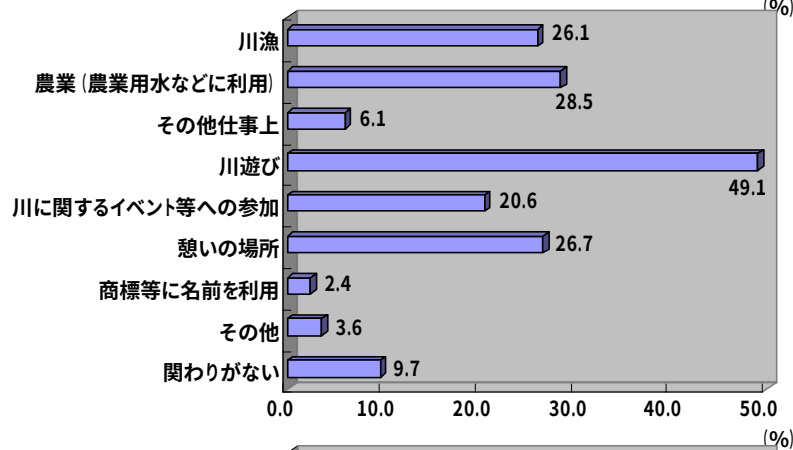
○四万十川との関わり【問6】（複数回答）

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
川漁	65	10.6	43	26.1	69	42.6
農業(農業用水などに利用)	208	33.8	47	28.5	54	33.3
その他仕事上	26	4.2	10	6.1	8	4.9
川遊び	182	29.6	81	49.1	56	34.6
川に関するイベント等への参加	46	7.5	34	20.6	25	15.4
憩いの場所	164	26.7	44	26.7	66	40.7
商標等に名前を利用	9	1.5	4	2.4	4	2.5
その他	19	3.1	6	3.6	7	4.3
関わりがない	140	22.8	16	9.7	17	10.5
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

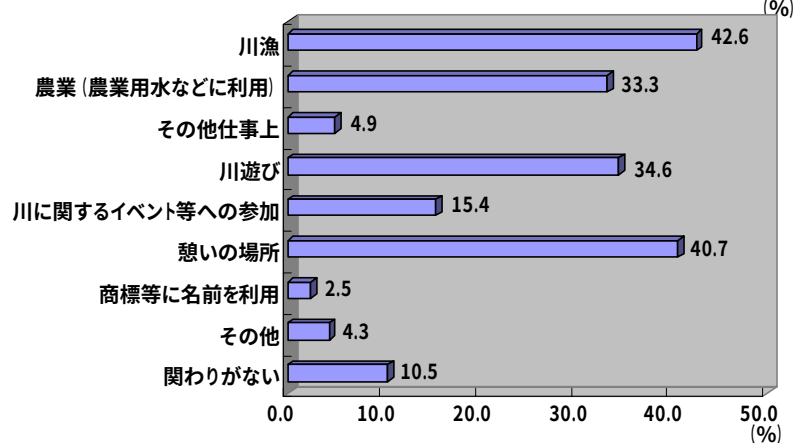
■窪川地域



■大正地域



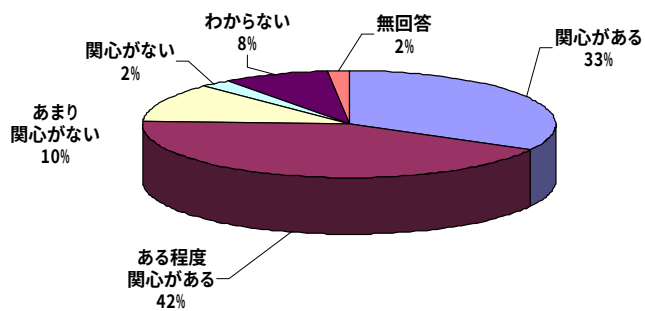
■十和地域



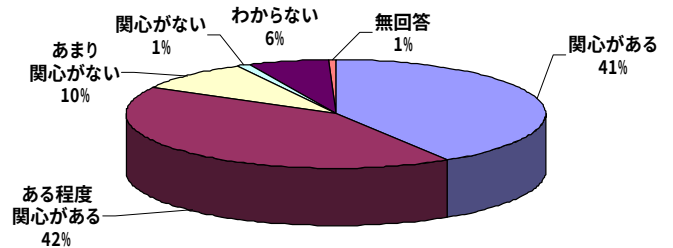
○四万十川の環境改善の取組みへの関心度【問7】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
関心がある	204	33.2	68	41.2	76	46.9
ある程度関心がある	262	42.6	69	41.8	62	38.3
あまり関心がない	72	11.7	15	9.1	11	6.8
関心がない	15	2.4	2	1.2	2	1.2
わからない	51	8.3	10	6.1	5	3.1
無回答	11	1.8	1	0.6	6	3.7
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

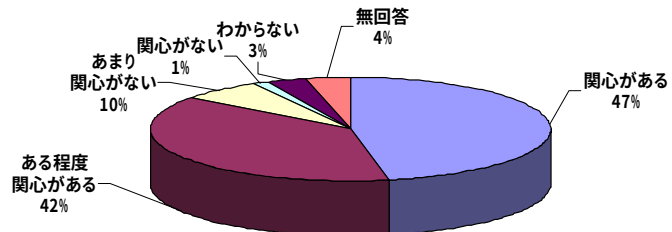
■窪川地域



■大正地域



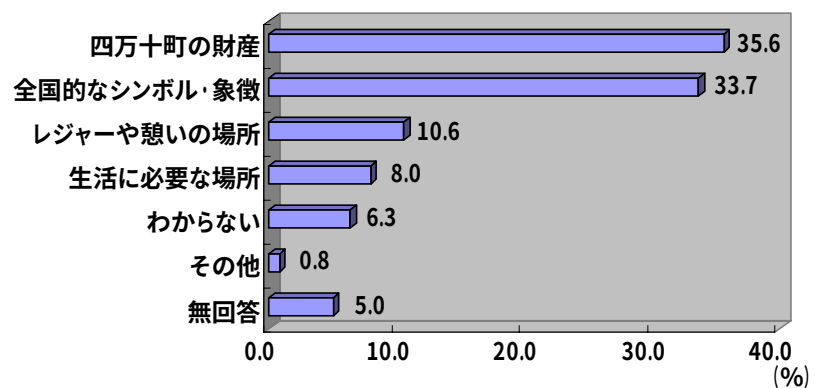
■十和地域



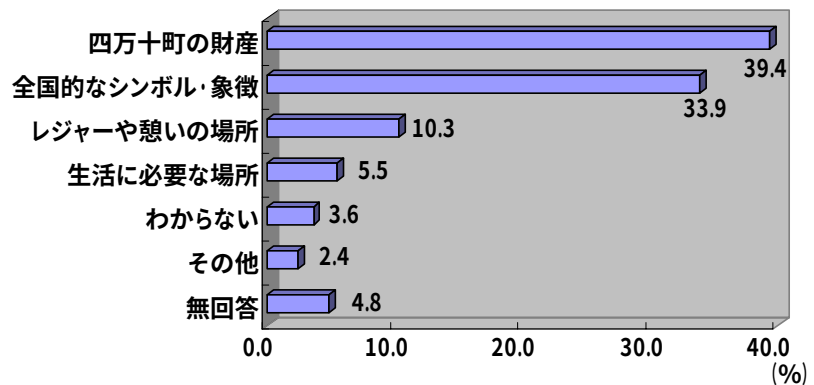
○四万十川の印象【問8】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
四万十町の財産	219	35.6	65	39.4	69	42.6
全国的なシンボル・象徴	207	33.7	56	33.9	41	25.3
レジャーや憩いの場所	65	10.6	17	10.3	15	9.3
生活に必要な場所	49	8.0	9	5.5	20	12.3
わからない	39	6.3	6	3.6	3	1.9
その他	5	0.8	4	2.4	1	0.6
無回答	31	5.0	8	4.8	13	8.0
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

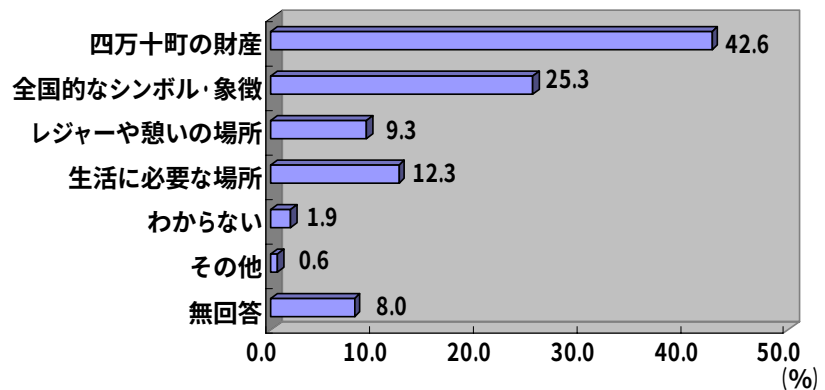
■窪川地域



■大正地域



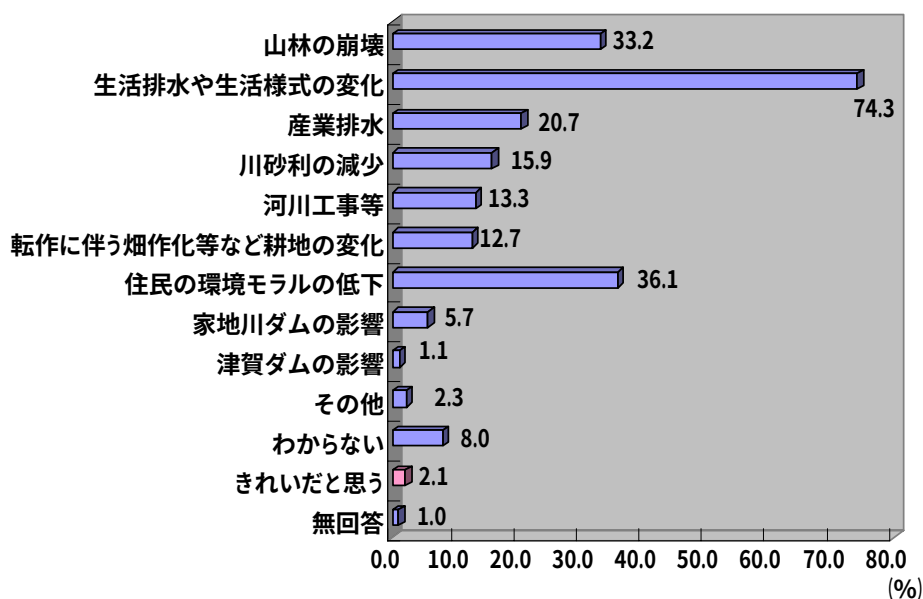
■十和地域



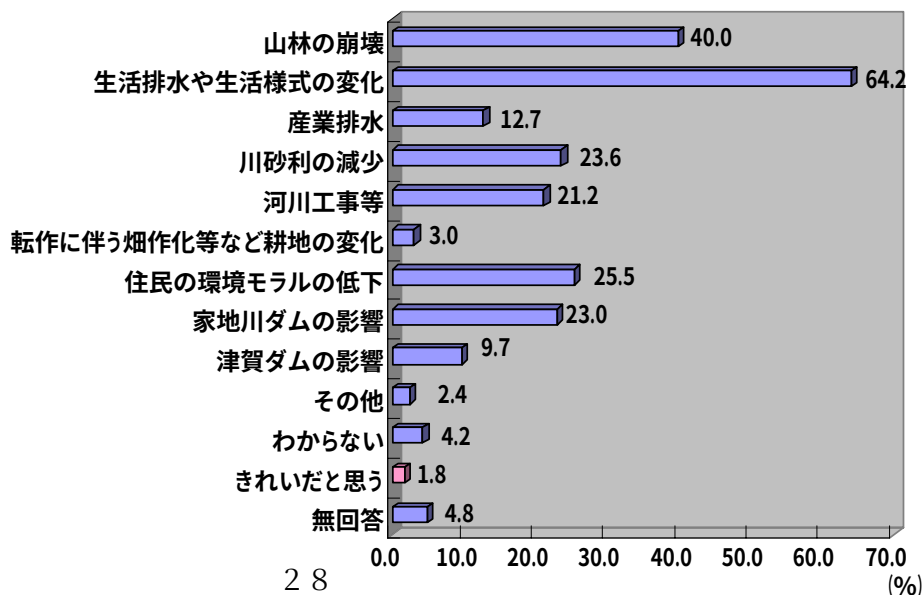
○四万十川が汚くなった原因【問9】（複数回答）

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
山林の崩壊	204	33.2	66	40.0	64	39.5
生活排水や生活様式の変化	457	74.3	106	64.2	126	77.8
産業排水	127	20.7	21	12.7	8	4.9
川砂利の減少	98	15.9	39	23.6	52	32.1
河川工事等	82	13.3	35	21.2	18	11.1
転作に伴う畑作化等など耕地の変化	78	12.7	5	3.0	5	3.1
住民の環境モラルの低下	222	36.1	42	25.5	35	21.6
家地川ダムの影響	35	5.7	38	23.0	44	27.2
津賀ダムの影響	7	1.1	16	9.7	36	22.2
その他	14	2.3	4	2.4	2	1.2
わからない	49	8.0	7	4.2	7	4.3
きれいだと思う	13	2.1	3	1.8	3	1.9
無回答	6	1.0	8	4.8	9	5.6
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

■窪川地域

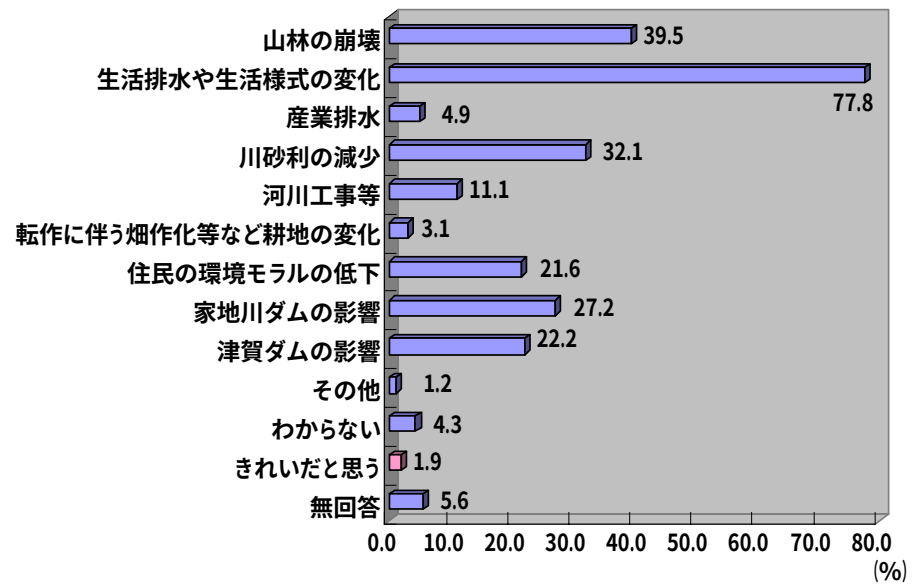


■大正地域



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 1. 地域別の傾向

■十和地域

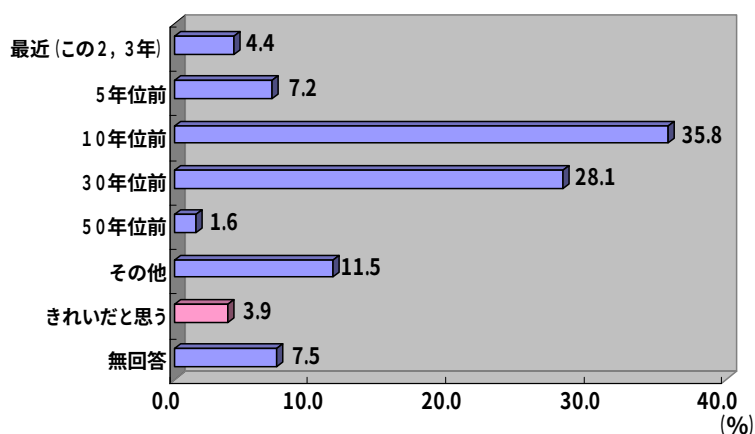


第3部 調査・分析結果（クロス集計） 1. 地域別の傾向

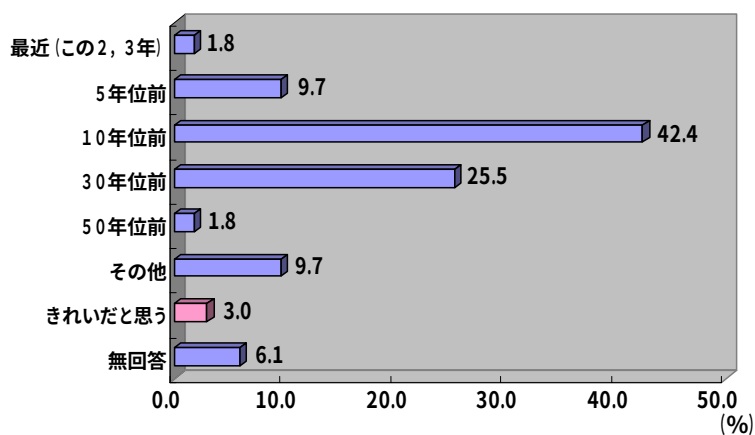
○四万十川が汚くなったと感じた時期【問10】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
最近(この2,3年)	27	4.4	3	1.8	3	1.9
5年位前	44	7.2	16	9.7	8	4.9
10年位前	220	35.8	70	42.4	61	37.7
30年位前	173	28.1	42	25.5	64	39.5
50年位前	10	1.6	3	1.8	2	1.2
その他	71	11.5	16	9.7	11	6.8
きれいだと思う	24	3.9	5	3.0	5	3.1
無回答	46	7.5	10	6.1	8	4.9
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

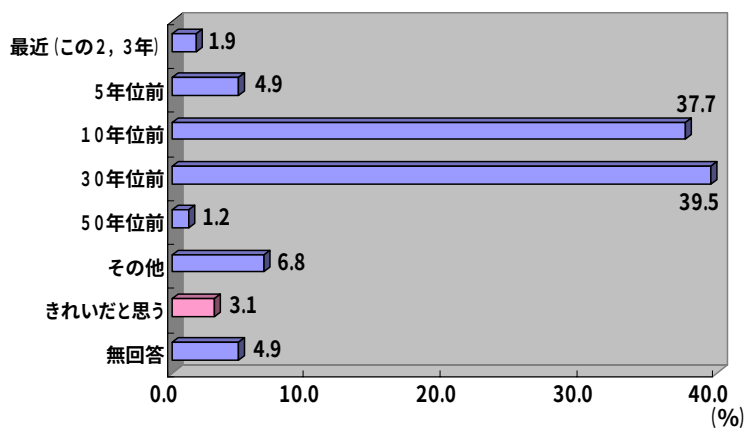
■窪川地域



■大正地域



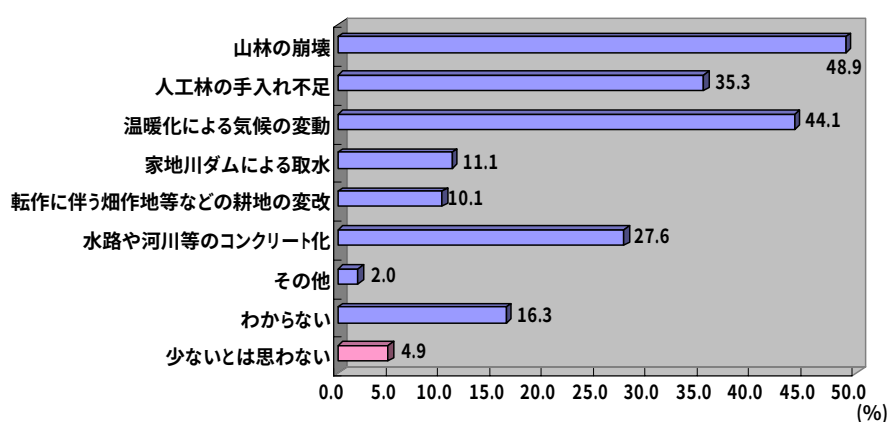
■十和地域



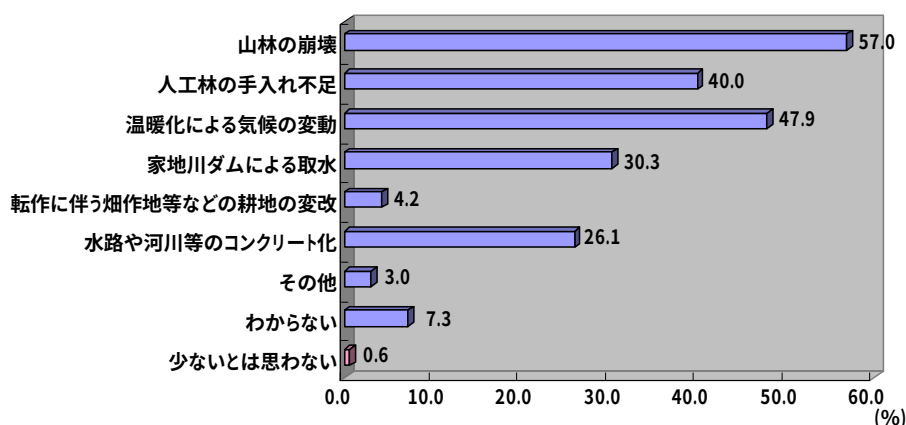
○四万十川の水量が少なくなった原因【問11】（複数回答）

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
山林の崩壊	301	48.9	94	57.0	89	54.9
人工林の手入れ不足	217	35.3	66	40.0	58	35.8
温暖化による気候の変動	271	44.1	79	47.9	78	48.1
家地川ダムによる取水	68	11.1	50	30.3	81	50.0
転作に伴う畑作地などの耕地の変改	62	10.1	7	4.2	7	4.3
水路や河川等のコンクリート化	170	27.6	43	26.1	32	19.8
その他	12	2.0	5	3.0	1	0.6
わからない	100	16.3	12	7.3	18	11.1
少ないとは思わない	30	4.9	1	0.6	4	2.5
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

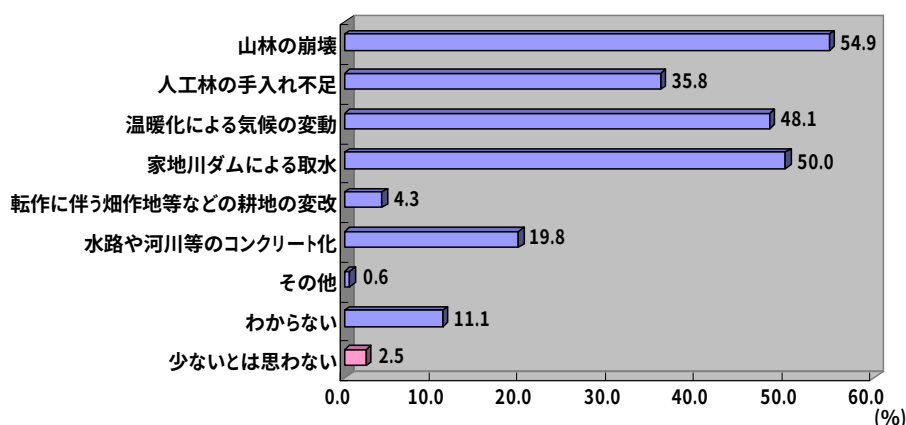
■窪川地域



■大正地域



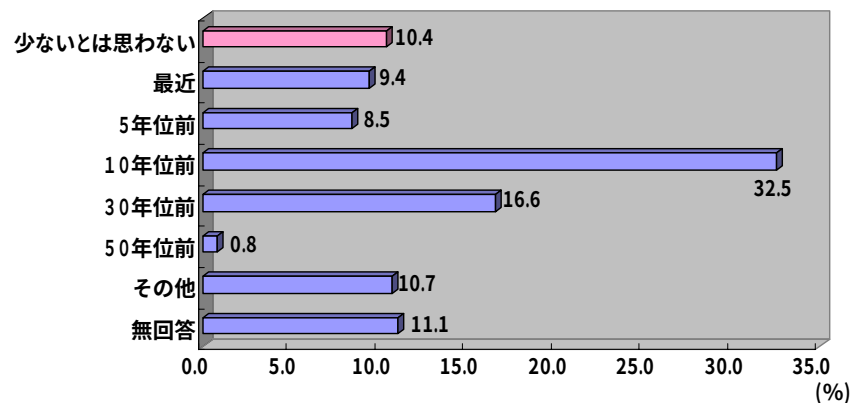
■十和地域



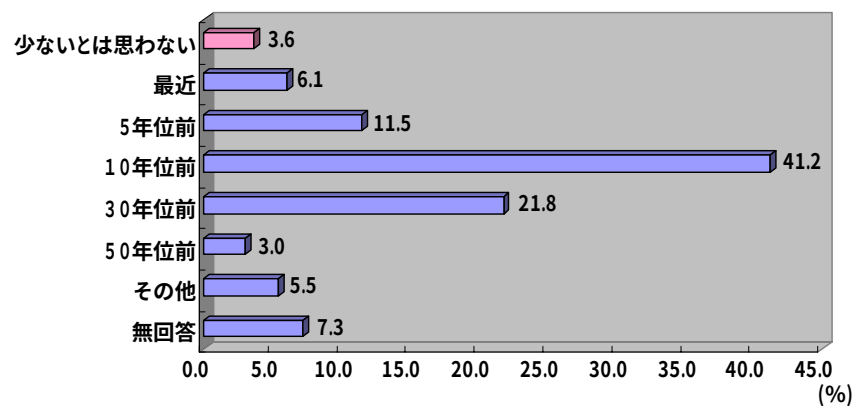
○四万十川の水量が少なくなったと感じた時期【問 12】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
少ないとは思わない	64	10.4	6	3.6	6	3.7
最近	58	9.4	10	6.1	10	6.2
5年位前	52	8.5	19	11.5	15	9.3
10年位前	200	32.5	68	41.2	61	37.7
30年位前	102	16.6	36	21.8	41	25.3
50年位前	5	0.8	5	3.0	3	1.9
その他	66	10.7	9	5.5	13	8.0
無回答	68	11.1	12	7.3	13	8.0
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

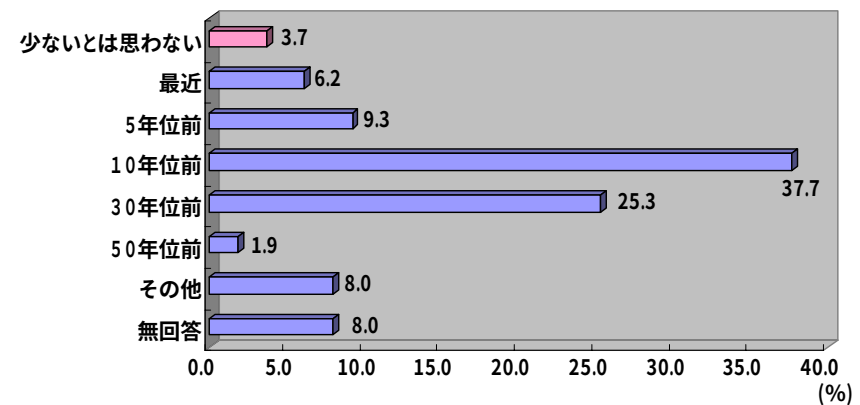
■窪川地域



■大正地域



■十和地域

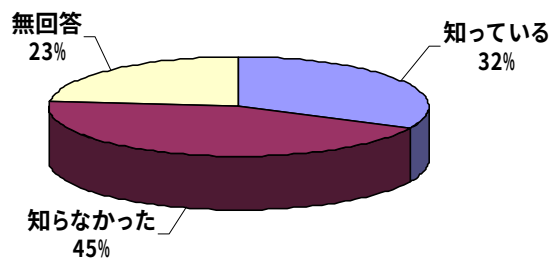


【家地川ダムに関する事項】

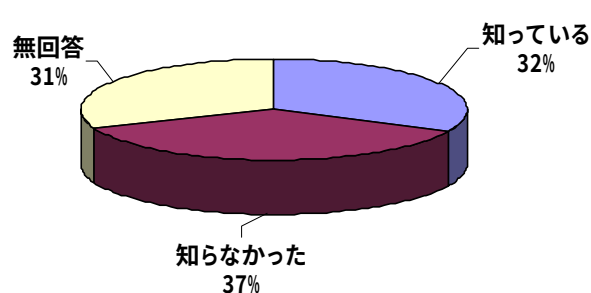
○家地川ダムに関する過去の協議や決議の認知度【問 14】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
知っている	198	32.2	53	32.1	52	32.1
知らなかった	273	44.4	61	37.0	72	44.4
無回答	144	23.4	51	30.9	38	23.5
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

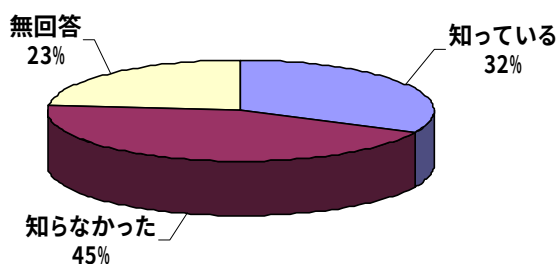
■窪川地域



■大正地域



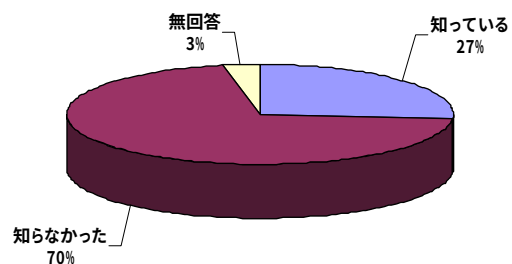
■十和地域



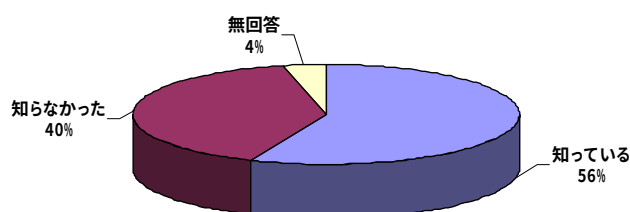
○家地川ダムの前回の水利権更新後、放流量が増加したことへの認知度【問 15】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
知っている	163	26.5	93	56.4	58	35.8
知らなかった	433	70.4	66	40.0	96	59.3
無回答	19	3.1	6	3.6	8	4.9
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

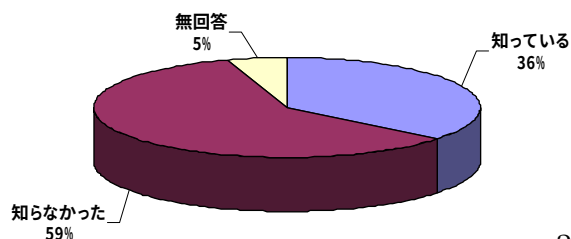
■窪川地域



■大正地域



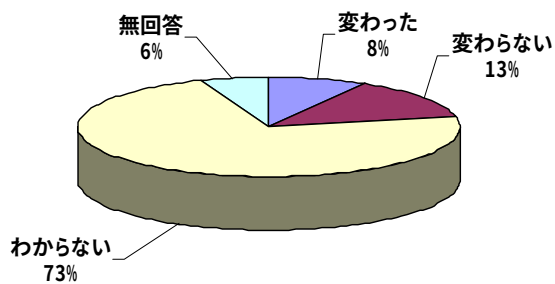
■十和地域



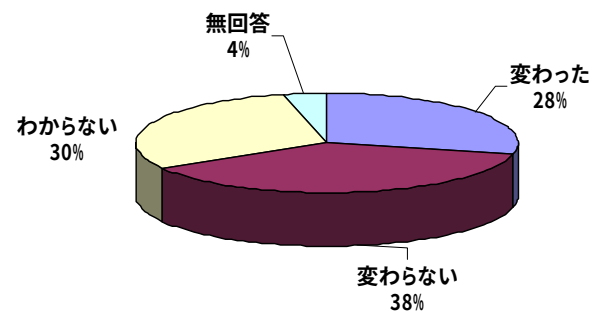
○家地川ダムより下流の河川状況の変化について【問 16】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
変わった	51	8.3	47	28.5	27	16.7
変わらない	82	13.3	63	38.2	60	37.0
わからない	446	72.5	49	29.7	67	41.4
無回答	36	5.9	6	3.6	8	4.9
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

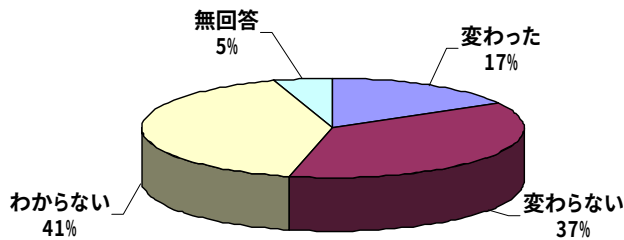
■窪川地域



■大正地域



■十和地域



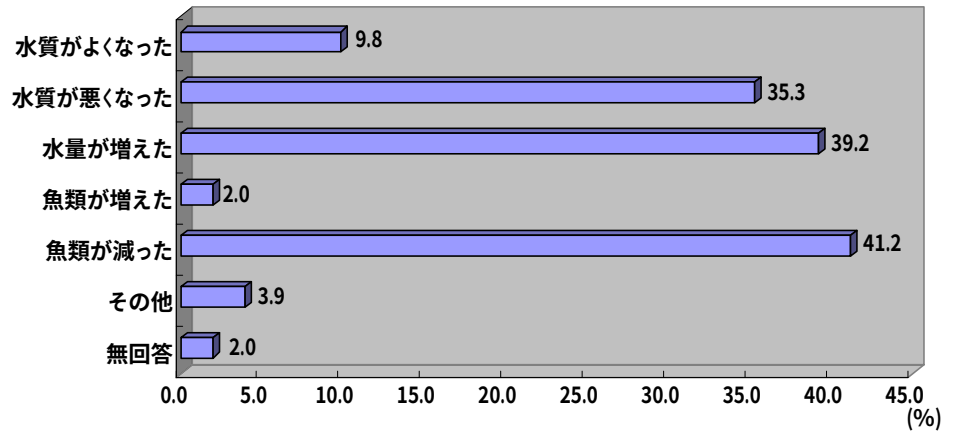
○家地川ダムより下流の河川状況が変わった原因【問 16-1】（複数回答）

（問 16 で、“ 変わった ” と答えた方 窪川地域 51 票、大正地域 47 票、十和地域 27 票）

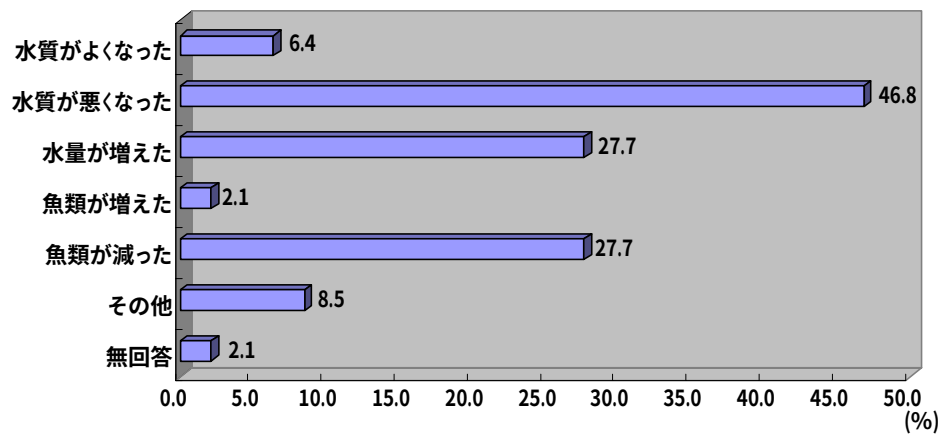
選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
水質がよかった	5	9.8	3	6.4	1	3.7
水質が悪くなった	18	35.3	22	46.8	15	55.6
水量が増えた	20	39.2	13	27.7	9	33.3
魚類が増えた	1	2.0	1	2.1	0	0.0
魚類が減った	21	41.2	13	27.7	12	44.4
その他	2	3.9	4	8.5	1	3.7
無回答	1	2.0	1	2.1	1	3.7
計	51	100.0	47	100.0	27	100.0

第3部 調査・分析結果（クロス集計） 1. 地域別の傾向

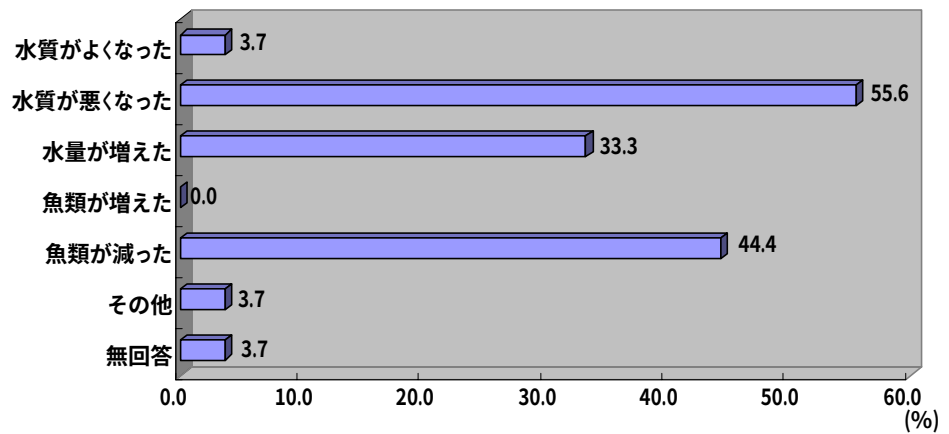
■ 窪川地域



■ 大正地域



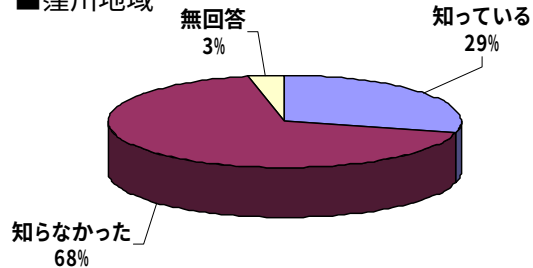
■ 十和地域



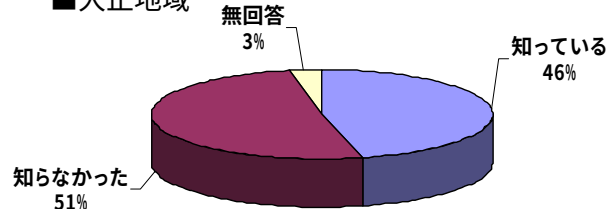
○家地川ダムの水利権更新期限（平成23年4月まで）の認知度【問17】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
知っている	180	29.3	76	46.1	51	31.5
知らなかった	415	67.5	84	50.9	103	63.6
無回答	20	3.3	5	3.0	8	4.9
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

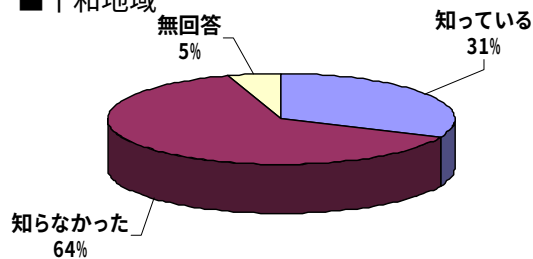
■窪川地域



■大正地域



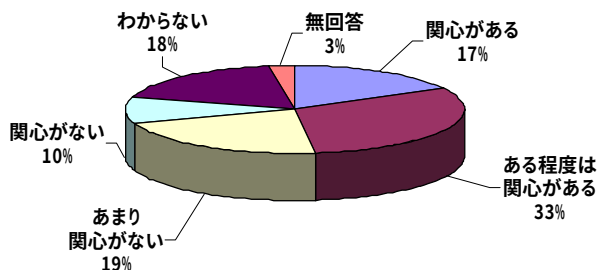
■十和地域



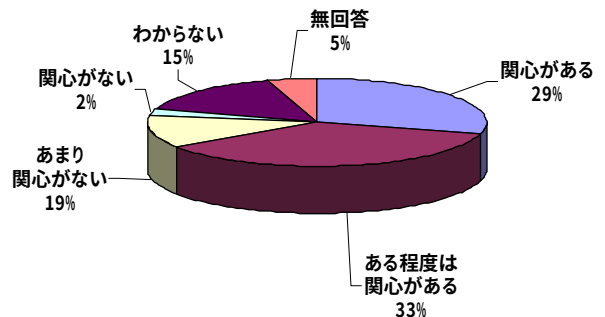
○家地川ダムの水利権更新への関心度【問18】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
関心がある	104	16.9	48	29.1	52	32.1
ある程度は関心がある	191	31.1	60	36.4	53	32.7
あまり関心がない	133	21.6	20	12.1	26	16.0
関心がない	60	9.8	4	2.4	5	3.1
わからない	111	18.0	25	15.2	18	11.1
無回答	16	2.6	8	4.8	8	4.9
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

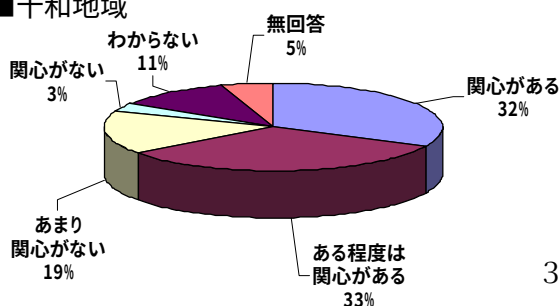
■窪川地域



■大正地域



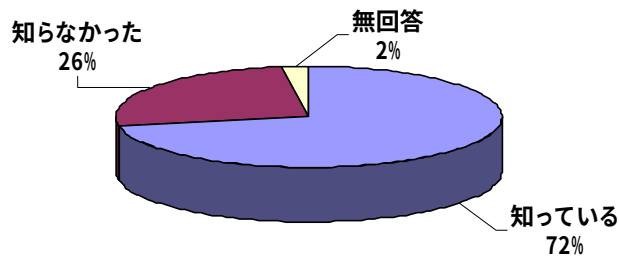
■十和地域



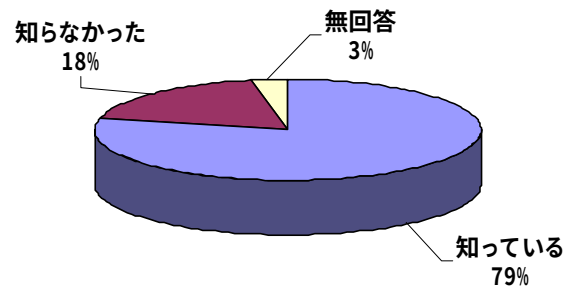
○家地川ダムから発電用に使った水が伊与木川に流れていることへの認知度【問 19】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
知っている	443	72.0	130	78.8	112	69.1
知らなかった	158	25.7	30	18.2	43	26.5
無回答	14	2.3	5	3.0	7	4.3
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

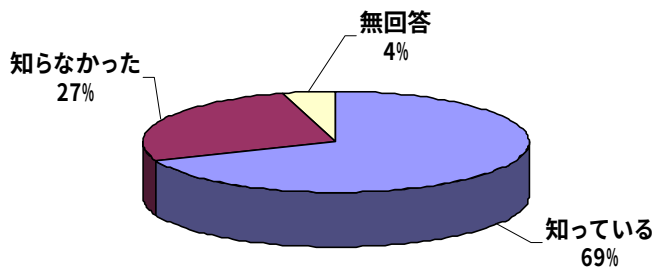
■窪川地域



■大正地域



■十和地域

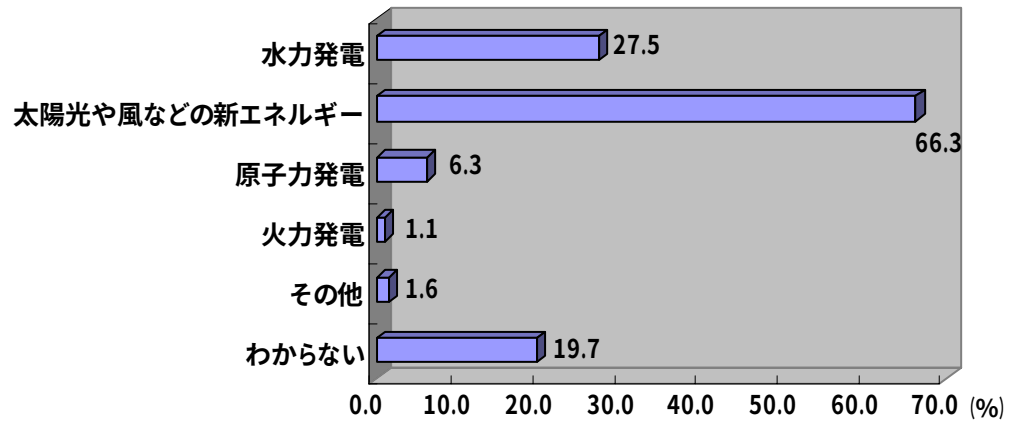


○地域での電力確保の方法について【問 20】（複数回答）

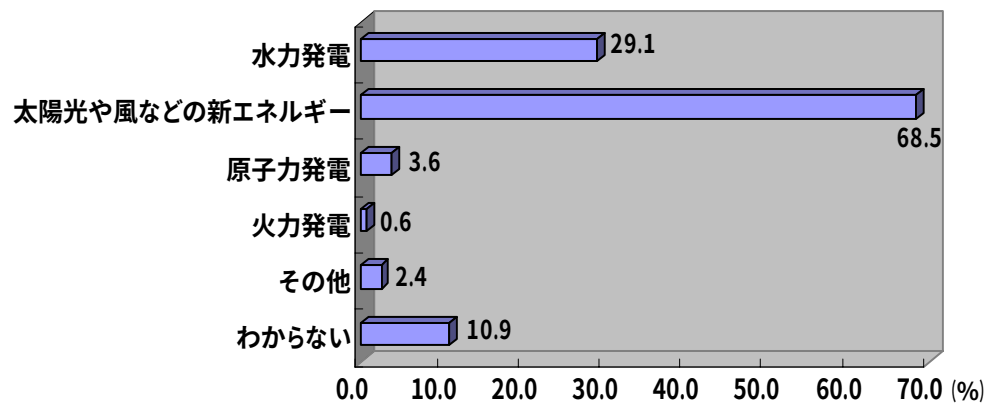
選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
水力発電	169	27.5	48	29.1	52	32.1
太陽光や風などの新エネルギー	408	66.3	113	68.5	104	64.2
原子力発電	39	6.3	6	3.6	6	3.7
火力発電	7	1.1	1	0.6	2	1.2
その他	10	1.6	4	2.4	3	1.9
わからない	121	19.7	18	10.9	31	19.1
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

第3部 調査・分析結果（クロス集計） 1. 地域別の傾向

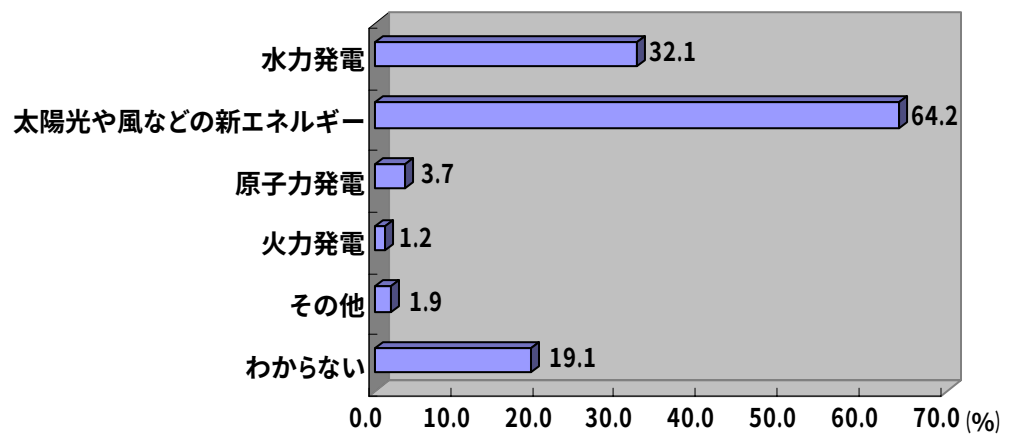
■窪川地域



■大正地域



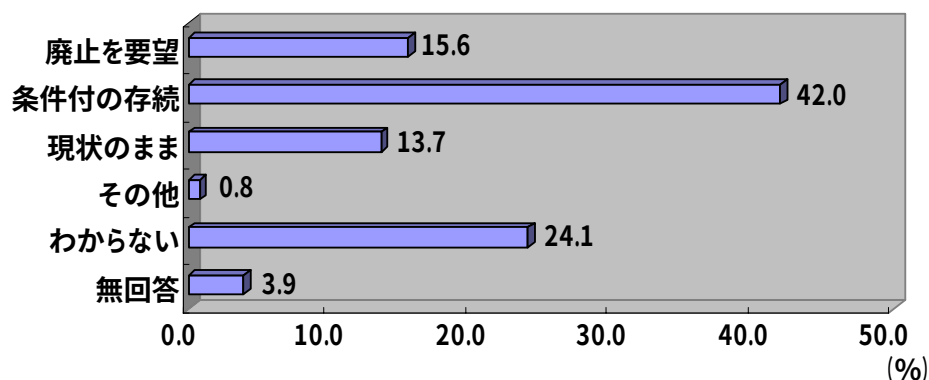
■十和地域



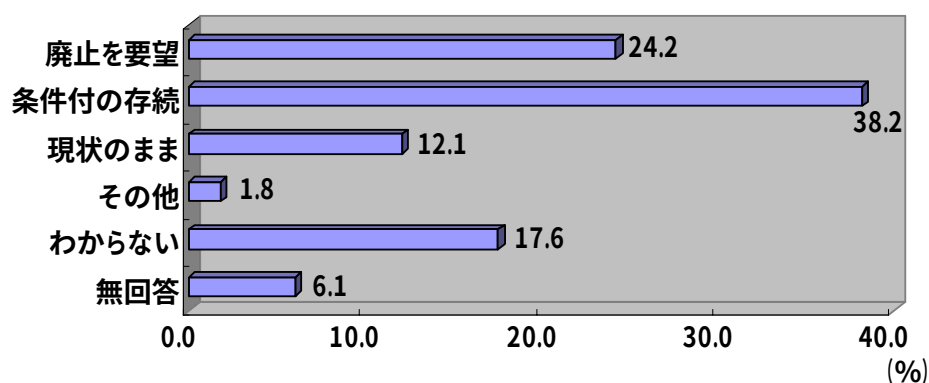
○家地川ダムの廃止・存続への意向【問 21】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
廃止を要望	96	15.6	40	24.2	46	28.4
条件付の存続	258	42.0	63	38.2	60	37.0
現状のまま	84	13.7	20	12.1	11	6.8
その他	5	0.8	3	1.8	2	1.2
わからない	148	24.1	29	17.6	26	16.0
無回答	24	3.9	10	6.1	17	10.5
計	615	100.0	165	100.0	162	100.0

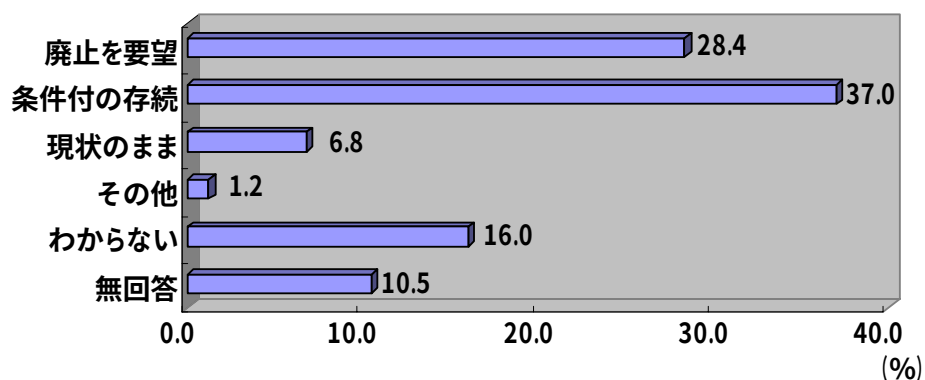
■窪川地域



■大正地域



■十和地域



2. 四万十川との位置関係の傾向

※問4（本流沿いに居住、支流沿いに居住）×問6～最終設問

本流沿いに居住（339票）、支流沿いに居住（430票）

①. 傾向・分析

【四万十川に関する事項】

四万十川との関わりをみると本流沿いの方は、どの項目に対しても関わりが高い。その中でも生業に関わる“川漁”や“農業（農業用水などに利用）”に関わりが深いことが伺える。

四万十川の環境改善の取組みへの関心度では、大きな違いはみられないものの、本流沿いの方が若干、関心度が高いことが伺える。

四万十川への印象は、若干ではあるが本流沿いの方が“四万十川の財産”として強く捉えている。これは、十和地域在住回答者と同傾向となっている。

四万十川が「汚くなった原因」に大きな違いはみられないが、「汚くなったと感じた時期」は本流沿いの方が、“10年位前から汚くなった”（43.1%）と感じる方が突出している。また、「水量が少なくなった原因」についても大きな違いはほとんどみられないが、“少なくなったと感じる時期”は、「汚くなったと感じる時期」と同じく、“10年位前から少なくなった”（41.6%）と感じる方が突出している。

【家地川ダムに関する事項】

家地川ダムに関する過去の協議や決議の認知度や前回の水利権更新後、放流量が増加したことへの認知度については、支流沿いの方の関心が低いことが伺える。

同様に、河川状況の変化についても支流沿いの方は“わからない”（61.9%）が目立ち、関心の低いことが伺える。また、河川状況が変わった理由については、本流沿いの方は“魚類が減った”ことを大きな原因の一つに挙げる方が多く、支流沿いと意見の違いをみることができる。

次回の水利権更新時期の認知度や水利権更新への関心度は、本流沿いの方の関心度が高いことが伺える。

これからの家地川ダムのあり方については、違いはほとんどみられない。

第3部 調査・分析結果（クロス集計） 2. 四万十川との位置関係の傾向

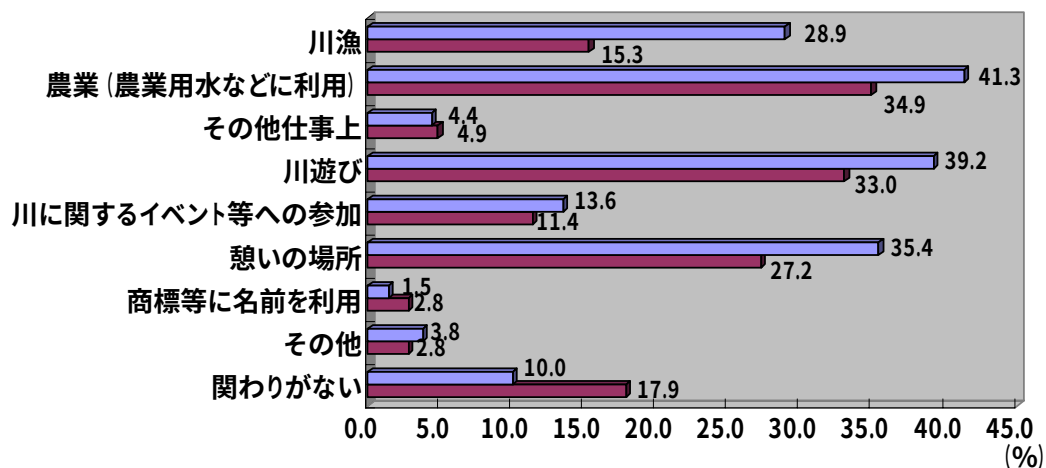
②. 四万十川との位置関係別集計結果

【四万十川に関する事項】

■四万十川との関わり【問6】（複数回答）

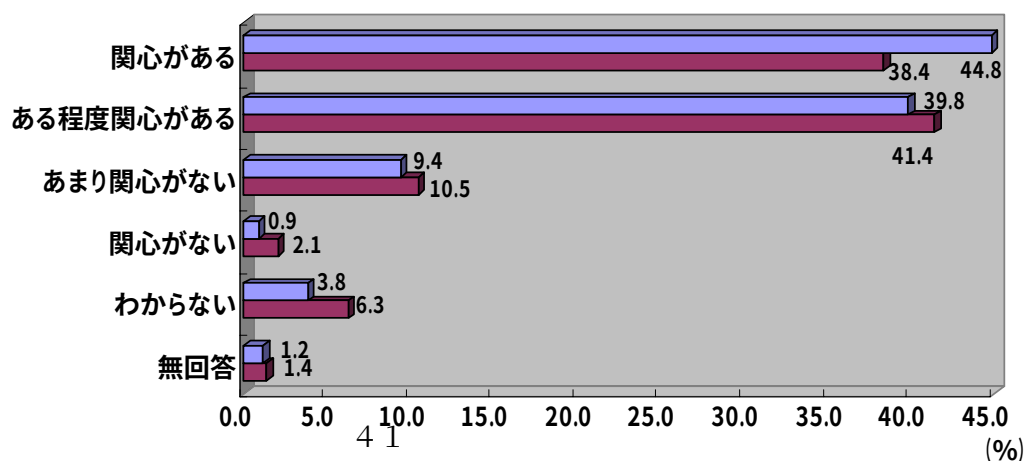
選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
川漁	98	28.9	66	15.3
農業（農業用水などに利用）	140	41.3	150	34.9
その他仕事上	15	4.4	21	4.9
川遊び	133	39.2	142	33.0
川に関するイベント等への参加	46	13.6	49	11.4
憩いの場所	120	35.4	117	27.2
商標等に名前を利用	5	1.5	12	2.8
その他	13	3.8	12	2.8
関わりがない	34	10.0	77	17.9
計	339	100.0	430	100.0

本流沿い・・・
支流沿い・・・



■四万十川の環境改善の取組みへの関心度【問7】

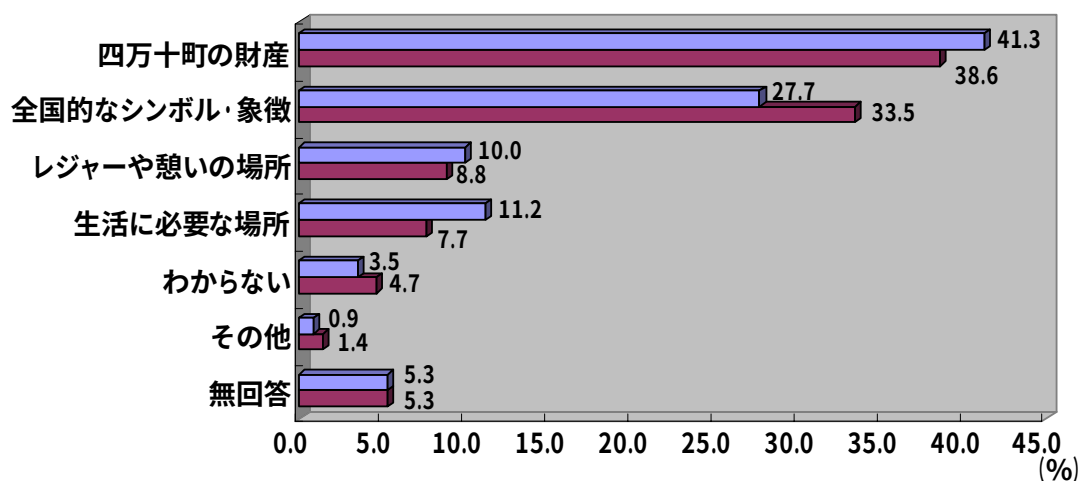
選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
関心がある	152	44.8	165	38.4
ある程度関心がある	135	39.8	178	41.4
あまり関心がない	32	9.4	45	10.5
関心がない	3	0.9	9	2.1
わからない	13	3.8	27	6.3
無回答	4	1.2	6	1.4
計	339	100.0	430	100.0



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 2. 四万十川との位置関係の傾向

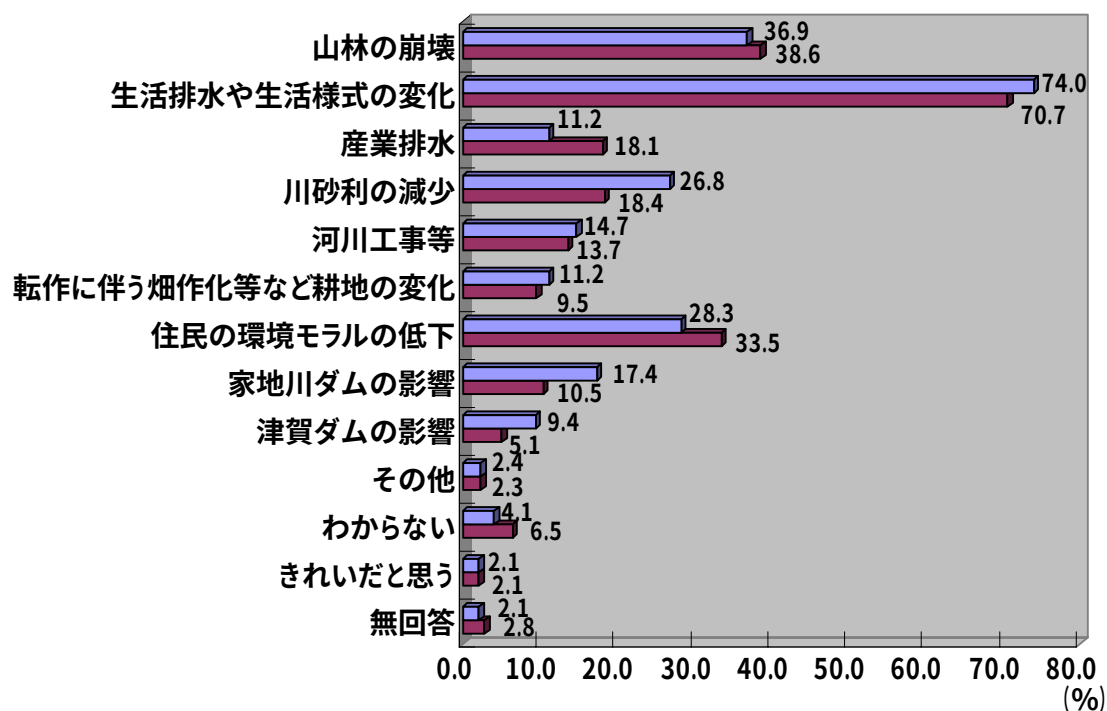
■四万十川の印象【問8】

選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
四万十町の財産	140	41.3	166	38.6
全国的なシンボル・象徴	94	27.7	144	33.5
レジャーや憩いの場所	34	10.0	38	8.8
生活に必要な場所	38	11.2	33	7.7
わからない	12	3.5	20	4.7
その他	3	0.9	6	1.4
無回答	18	5.3	23	5.3
計	339	100.0	430	100.0



■四万十川が汚くなった原因【問9】（複数回答）

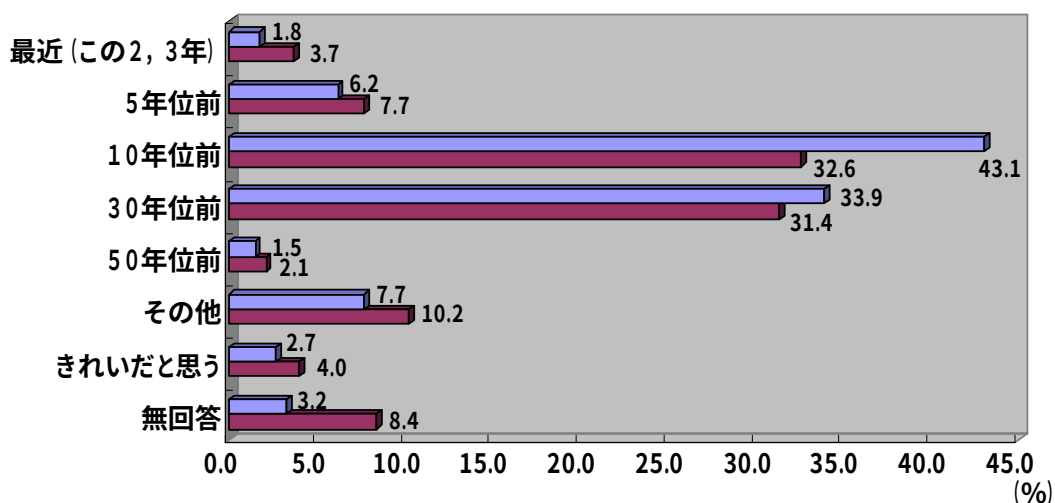
選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
山林の崩壊	125	36.9	166	38.6
生活排水や生活様式の変化	251	74.0	304	70.7
産業排水	38	11.2	78	18.1
川砂利の減少	91	26.8	79	18.4
河川工事等	50	14.7	59	13.7
転作に伴う畑作化など耕地の変化	38	11.2	41	9.5
住民の環境モラルの低下	96	28.3	144	33.5
家地川ダムの影響	59	17.4	45	10.5
津賀ダムの影響	32	9.4	22	5.1
その他	8	2.4	10	2.3
わからない	14	4.1	28	6.5
きれいだと思う	7	2.1	9	2.1
無回答	7	2.1	12	2.8
計	339	100.0	430	100.0



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 2. 四万十川との位置関係の傾向

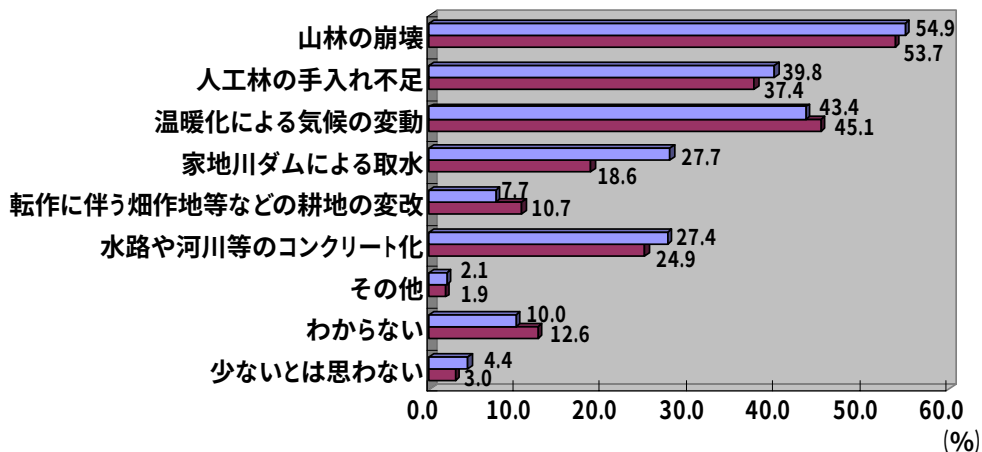
■四万十川が汚くなったと感じた時期【問10】

選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
最近 (この2, 3年)	6	1.8	16	3.7
5年位前	21	6.2	33	7.7
10年位前	146	43.1	140	32.6
30年位前	115	33.9	135	31.4
50年位前	5	1.5	9	2.1
その他	26	7.7	44	10.2
きれいだと思う	9	2.7	17	4.0
無回答	11	3.2	36	8.4
計	339	100.0	430	100.0



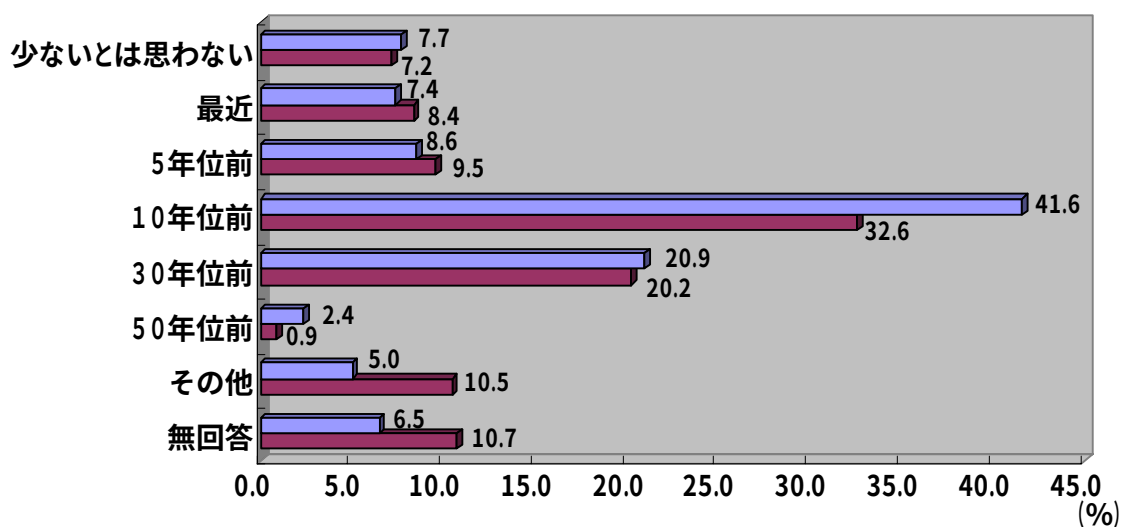
■四万十川の水量が少なくなった原因【問11】（複数回答）

選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
山林の崩壊	186	54.9	231	53.7
人工林の手入れ不足	135	39.8	161	37.4
温暖化による気候の変動	147	43.4	194	45.1
家地川ダムによる取水	94	27.7	80	18.6
転作に伴う畑作地などの耕地の変改	26	7.7	46	10.7
水路や河川等のコンクリート化	93	27.4	107	24.9
その他	7	2.1	8	1.9
わからない	34	10.0	54	12.6
少ないとは思わない	15	4.4	13	3.0
計	339	100.0	430	100.0



■四万十川の水量が少なくなったと感じた時期【問 12】

選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
少ないとは思わない	26	7.7	31	7.2
最近	25	7.4	36	8.4
5年位前	29	8.6	41	9.5
10年位前	141	41.6	140	32.6
30年位前	71	20.9	87	20.2
50年位前	8	2.4	4	0.9
その他	17	5.0	45	10.5
無回答	22	6.5	46	10.7
計	339	100.0	430	100.0

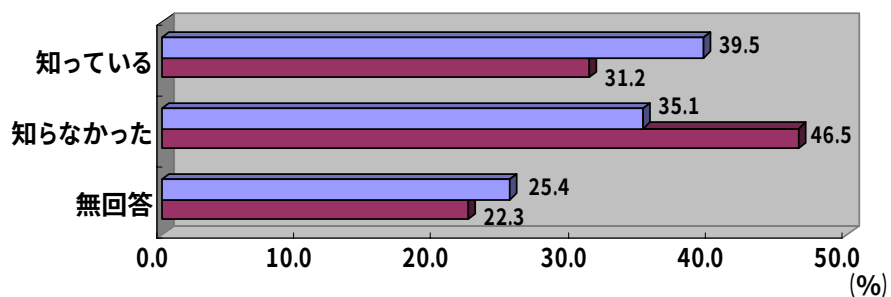


第3部 調査・分析結果（クロス集計） 2. 四万十川との位置関係の傾向

【家地川ダムに関する事項】

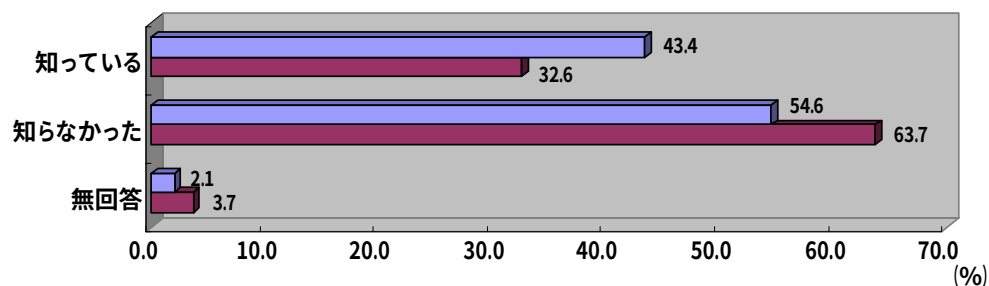
■家地川ダムに関する過去の協議や決議の認知度【問 14】

選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
知っている	134	39.5	134	31.2
知らなかった	119	35.1	200	46.5
無回答	86	25.4	96	22.3
計	339	100.0	430	100.0



■家地川ダムの前回の水利権更新後、放流量が増加したことへの認知度【問 15】

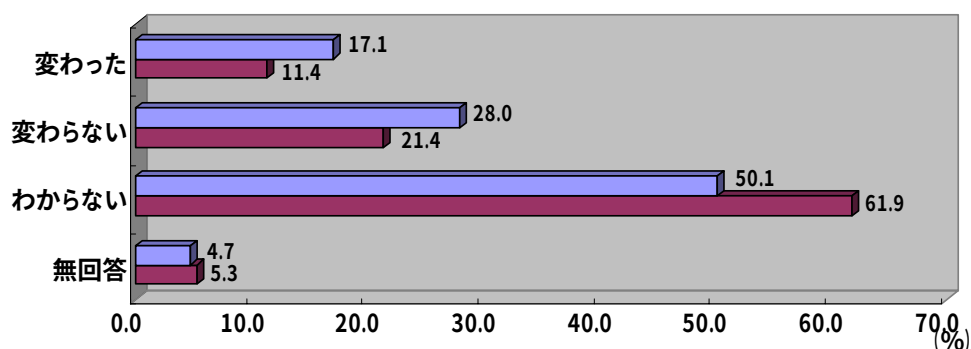
選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
知っている	147	43.4	140	32.6
知らなかった	185	54.6	274	63.7
無回答	7	2.1	16	3.7
計	339	100.0	430	100.0



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 2. 四万十川との位置関係の傾向

■家地川ダムより下流の河川状況の変化について【問 16】

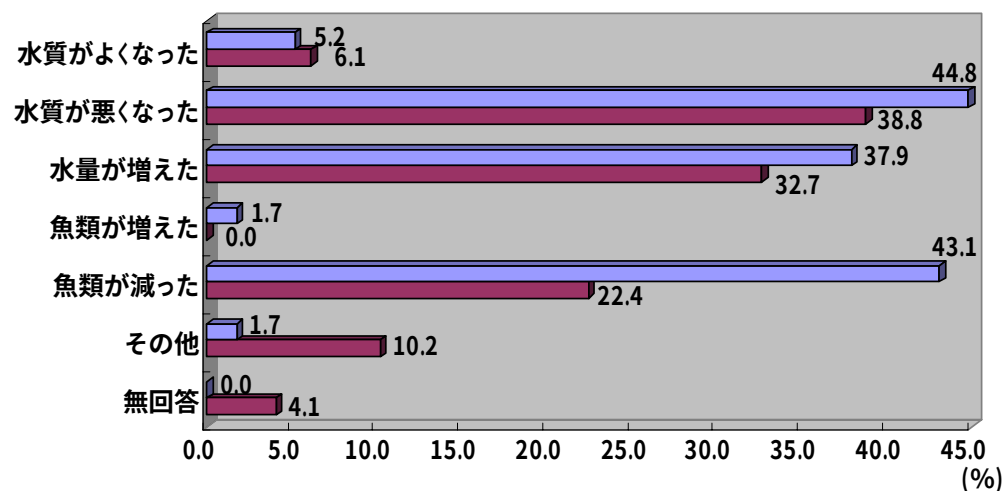
選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
変わった	58	17.1	49	11.4
変わらない	95	28.0	92	21.4
わからない	170	50.1	266	61.9
無回答	16	4.7	23	5.3
計	339	100.0	430	100.0



■家地川ダムより下流の河川状況が変わった原因【問 16-1】（複数回答）

（本流沿い 58 票、支流沿い 49 票）

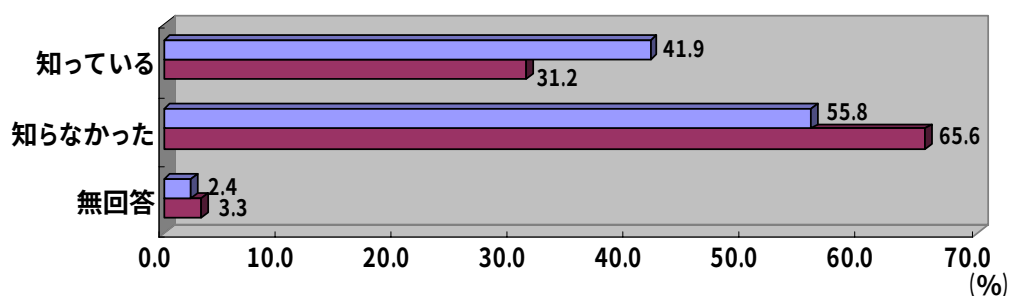
選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
水質がよかった	3	5.2	3	6.1
水質が悪くなった	26	44.8	19	38.8
水量が増えた	22	37.9	16	32.7
魚類が増えた	1	1.7	0	0.0
魚類が減った	25	43.1	11	22.4
その他	1	1.7	5	10.2
無回答	0	0.0	2	4.1
計	58	100.0	49	100.0



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 2. 四万十川との位置関係の傾向

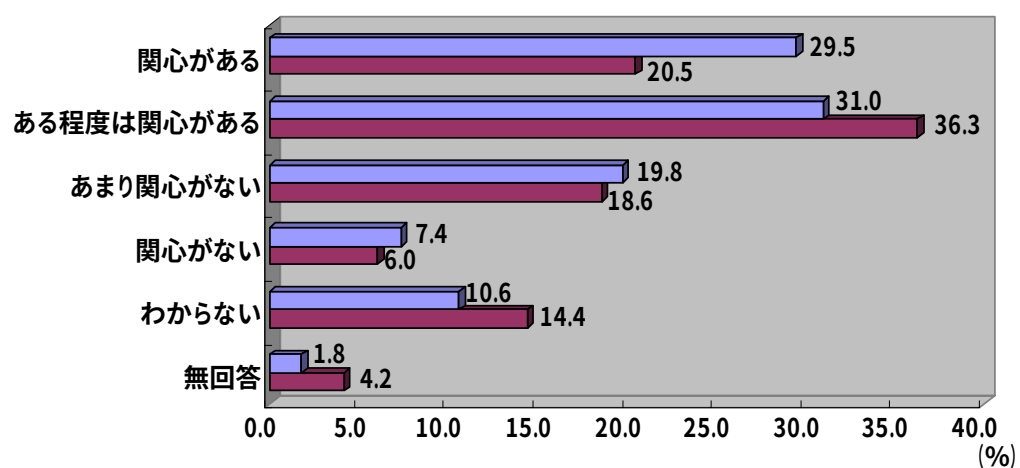
■家地川ダムの水利権更新期限（平成23年4月まで）の認知度【問17】

選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
知っている	142	41.9	134	31.2
知らなかった	189	55.8	282	65.6
無回答	8	2.4	14	3.3
計	339	100.0	430	100.0



■家地川ダムの水利権更新への関心度【問18】

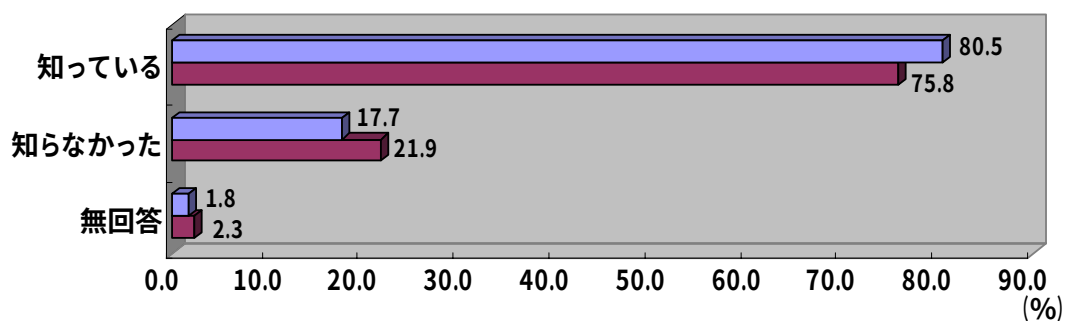
選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
関心がある	100	29.5	88	20.5
ある程度は関心がある	105	31.0	156	36.3
あまり関心がない	67	19.8	80	18.6
関心がない	25	7.4	26	6.0
わからない	36	10.6	62	14.4
無回答	6	1.8	18	4.2
計	339	100.0	430	100.0



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 2. 四万十川との位置関係の傾向

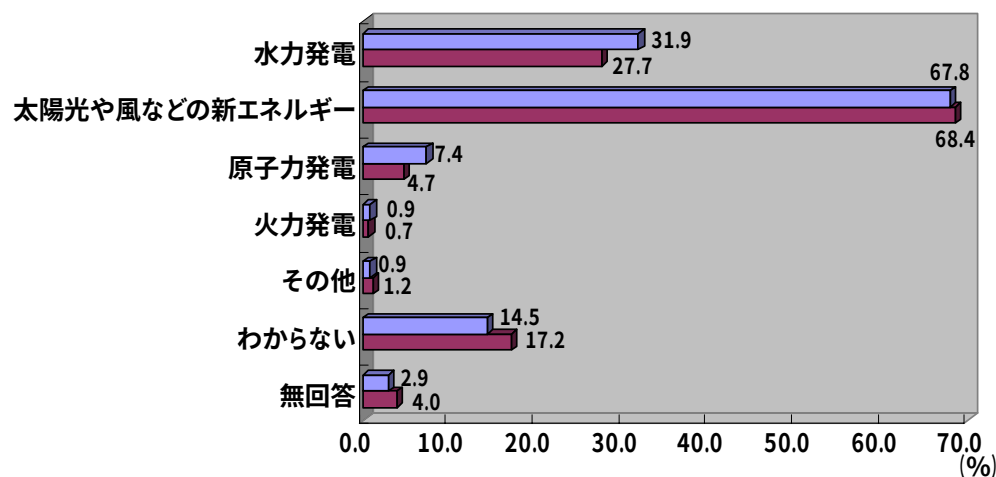
■家地川ダムから発電用に使った水が伊与木川に流れていることへの認知度【問 19】

選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
知っている	273	80.5	326	75.8
知らなかった	60	17.7	94	21.9
無回答	6	1.8	10	2.3
計	339	100.0	430	100.0



■地域での電力確保の方法について【問 20】（複数回答）

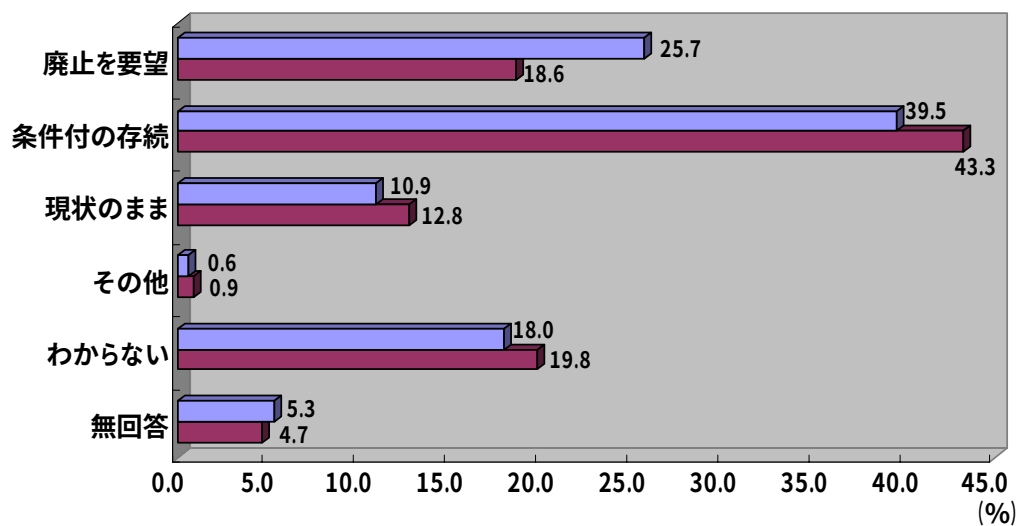
選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
水力発電	108	31.9	119	27.7
太陽光や風などの新エネルギー	230	67.8	294	68.4
原子力発電	25	7.4	20	4.7
火力発電	3	0.9	3	0.7
その他	3	0.9	5	1.2
わからない	49	14.5	74	17.2
無回答	10	2.9	17	4.0
計	339	100.0	430	100.0



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 2. 四万十川との位置関係の傾向

■家地川ダムの廃止・存続への意向【問 21】

選 択 肢	本流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)	支流沿い 回答数 (票)	構成比 (%)
廃止を要望	87	25.7	80	18.6
条件付の存続	134	39.5	186	43.3
現状のまま	37	10.9	55	12.8
その他	2	0.6	4	0.9
わからない	61	18.0	85	19.8
無回答	18	5.3	20	4.7
計	339	100.0	430	100.0



3. 川漁に関わる回答者の傾向

※問6（川漁回答者）×問7～最終設問

川漁をしている回答者（177票）

①. 傾向・分析

【四万十川に関する事項】

四万十川の環境改善の取組みへの関心度は非常に高く、“関心がある（57.6%）及びある程度関心がある（35.0%）”で9割以上の方が関心を持っていることが伺える。

四万十川への印象は、“四万十川の財産”（45.8%）として強く捉えている。

四万十川が「汚くなった原因」、「汚くなったと感じた時期」は、他属性と大きな違いはみられない。同様に水量についても少なくなった原因、感じた時期とも、他属性と大きな違いはみられない。

【家地川ダムに関する事項】

家地川ダムに関する過去の協議や決議の認知度については他属性と大きな違いはみられないが、前回の水利権更新後、放流量が増加したことへの認知度については、“知っている”（52.5%）が半数を超え、他属性に比べ関心の高いことが伺える。

河川状況の変化については“変わらない”（44.1%）が際立っていることが伺える。また、河川状況が変わった理由については、他属性と大きな違いはみられない。

次回の水利権更新時期の認知度や水利権更新への関心度は、他属性に比べ格段に関心度が高いことが伺える。

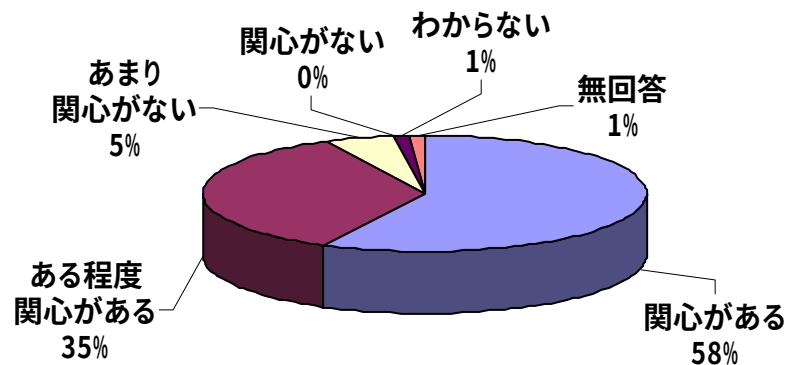
これからの家地川ダムのあり方については、“廃止を要望”（36.7%）が第一となっており、他属性と大きく意見が分かれる結果となっている。

②. 川漁に関わる回答者集計結果

【四万十川に関する事項】

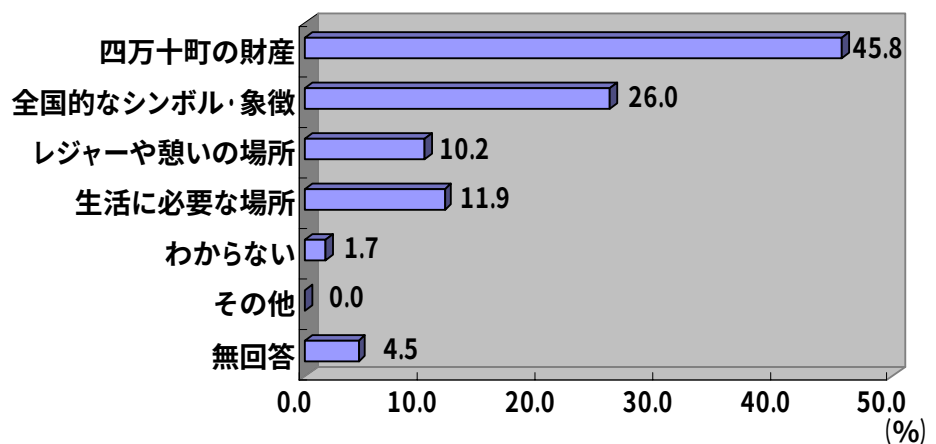
■四万十川の環境改善の取組みへの関心度【問7】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
関心がある	102	57.6
ある程度関心がある	62	35.0
あまり関心がない	9	5.1
関心がない	0	0.0
わからない	2	1.1
無回答	2	1.1
計	177	100.0



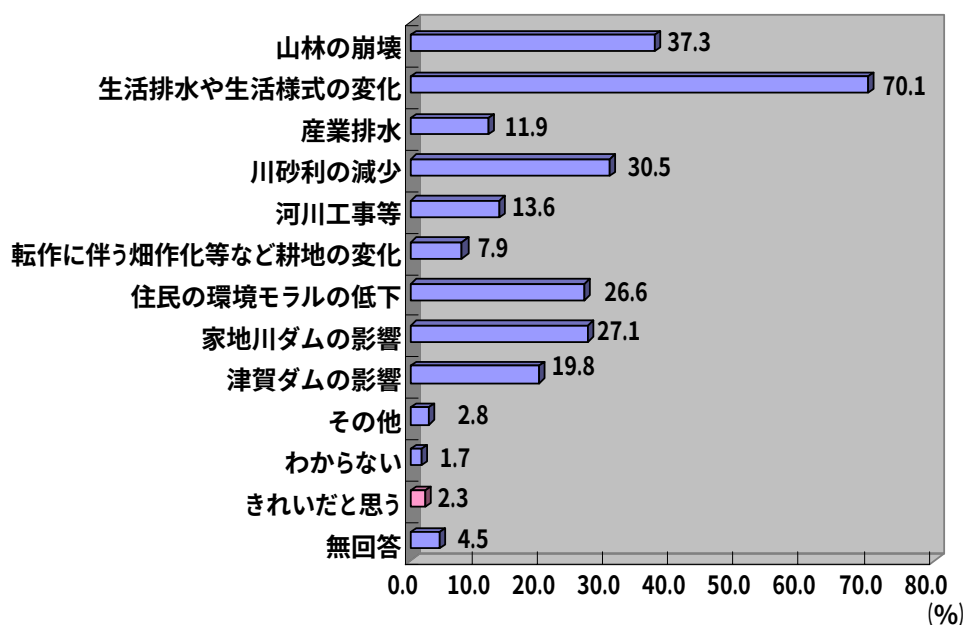
■四万十川の印象【問8】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
四万十町の財産	81	45.8
全国的なシンボル・象徴	46	26.0
レジャーや憩いの場所	18	10.2
生活に必要な場所	21	11.9
わからない	3	1.7
その他	0	0.0
無回答	8	4.5
計	177	100.0



■四万十川が汚くなった原因【問9】（複数回答）

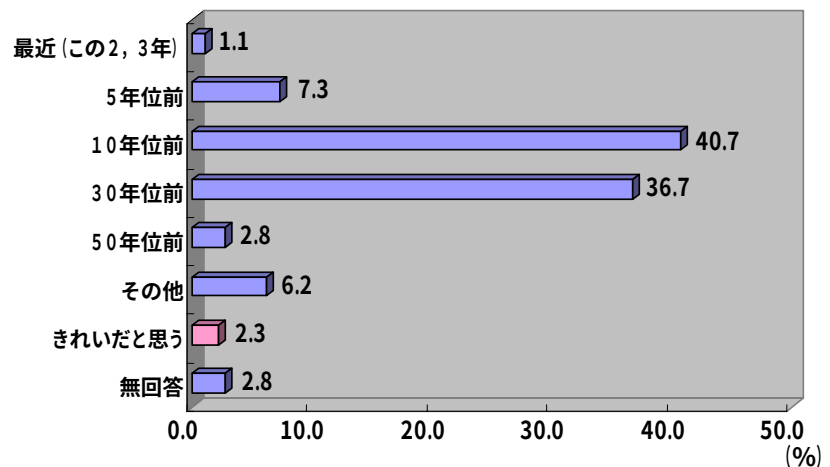
選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
山林の崩壊	66	37.3
生活排水や生活様式の変化	124	70.1
産業排水	21	11.9
川砂利の減少	54	30.5
河川工事等	24	13.6
転作に伴う畑作化など耕地の変化	14	7.9
住民の環境モラルの低下	47	26.6
家地川ダムの影響	48	27.1
津賀ダムの影響	35	19.8
その他	5	2.8
わからない	3	1.7
きれいだと思う	4	2.3
無回答	8	4.5
計	177	100.0



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 3. 川漁に関わる回答者の傾向

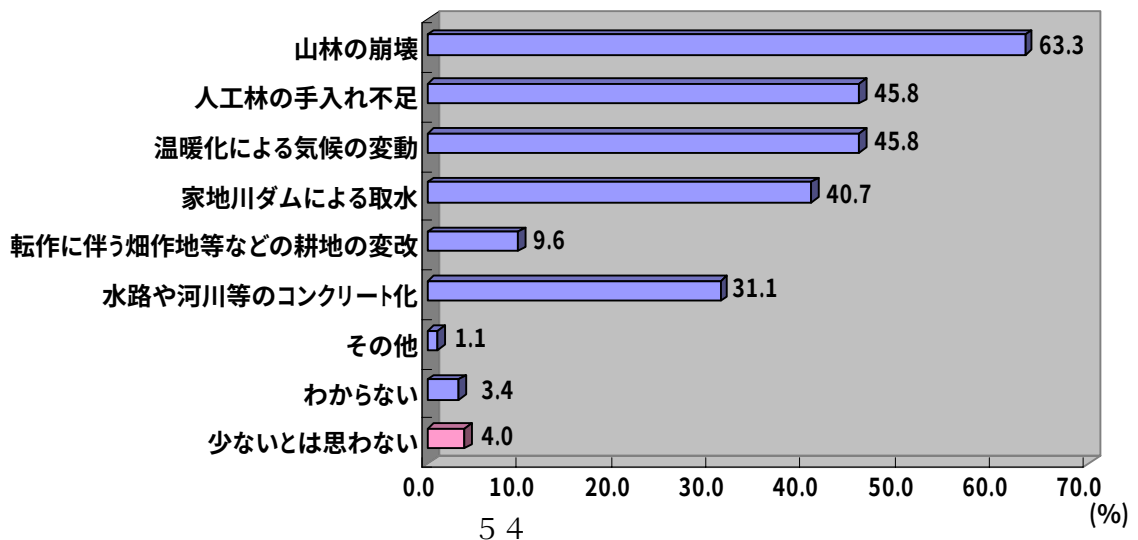
■四万十川が汚くなったと感じた時期【問10】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
最近(この2, 3年)	2	1.1
5年位前	13	7.3
10年位前	72	40.7
30年位前	65	36.7
50年位前	5	2.8
その他	11	6.2
きれいだと思う	4	2.3
無回答	5	2.8
計	177	100.0



■四万十川の水量が少なくなった原因【問11】（複数回答）

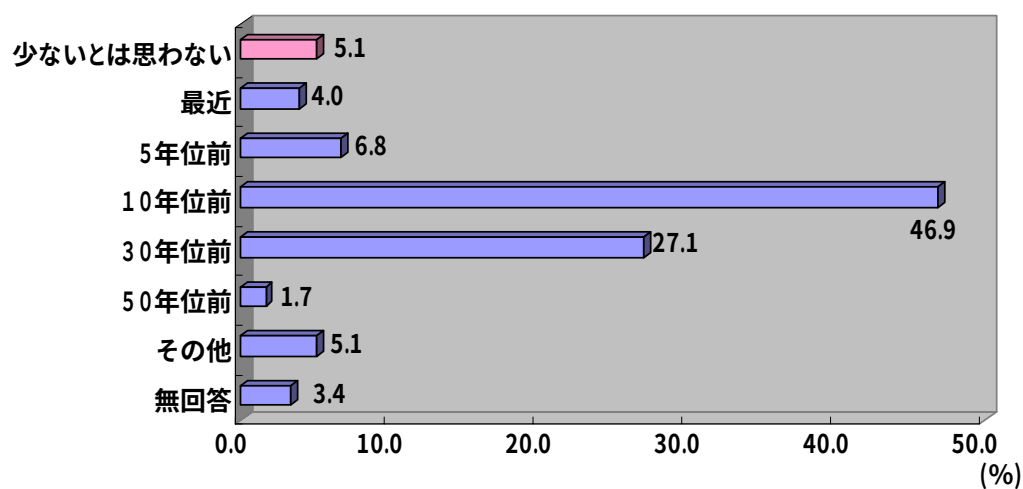
選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
山林の崩壊	112	63.3
人工林の手入れ不足	81	45.8
温暖化による気候の変動	81	45.8
家地川ダムによる取水	72	40.7
転作に伴う畑作地などの耕地の変改	17	9.6
水路や河川等のコンクリート化	55	31.1
その他	2	1.1
わからない	6	3.4
少ないとは思わない	7	4.0
計	177	100.0



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 3. 川漁に関わる回答者の傾向

■四万十川の水量が少なくなったと感じた時期【問 12】

選 択 肢	回答数 (票)	構成比 (%)
少ないとは思わない	9	5.1
最近	7	4.0
5年位前	12	6.8
10年位前	83	46.9
30年位前	48	27.1
50年位前	3	1.7
その他	9	5.1
無回答	6	3.4
計	177	100.0

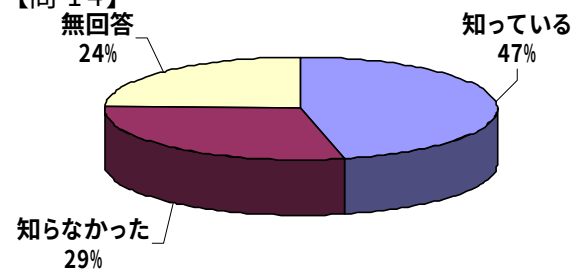


第3部 調査・分析結果（クロス集計） 3. 川漁に関わる回答者の傾向

【家地川ダムに関する事項】

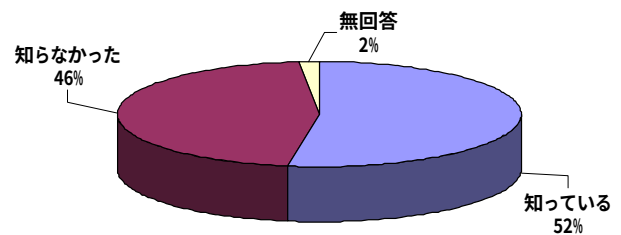
■家地川ダムに関する過去の協議や決議の認知度【問 14】

選 択 肢	回答数 (票)	構成比 (%)
知っている	82	46.3
知らなかった	52	29.4
無回答	43	24.3
計	177	100.0



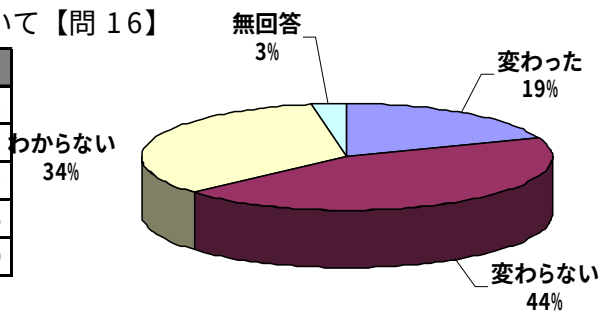
■家地川ダムの前回の水利権更新後、放流量が増加したことへの認知度【問 15】

選 択 肢	回答数 (票)	構成比 (%)
知っている	93	52.5
知らなかった	81	45.8
無回答	3	1.7
計	177	100.0



■家地川ダムより下流の河川状況の変化について【問 16】

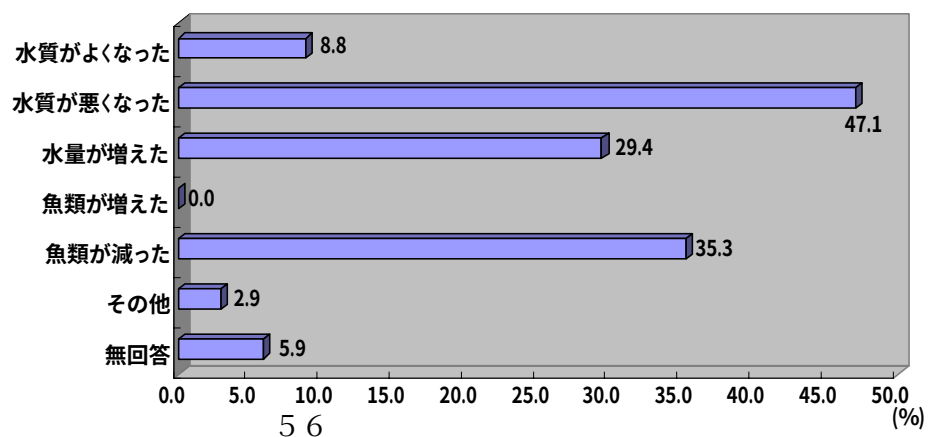
選 択 肢	回答数 (票)	構成比 (%)
変わった	34	19.2
変わらない	78	44.1
わからない	60	33.9
無回答	5	2.8
計	177	100.0



■家地川ダムより下流の河川状況が変わった原因【問 16-1】（複数回答）

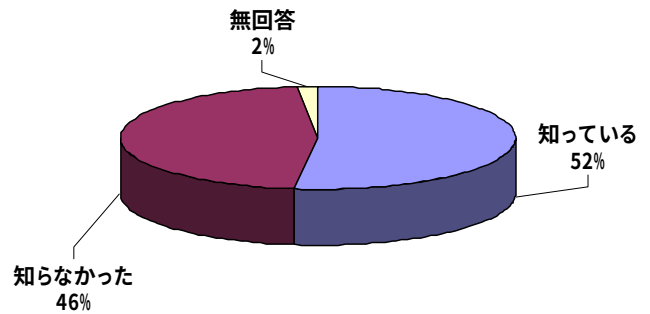
（問 16 で、“変わった”と答えた方 34 票）

選 択 肢	回答数 (票)	構成比 (%)
水質がよかった	3	8.8
水質が悪くなった	16	47.1
水量が増えた	10	29.4
魚類が増えた	0	0.0
魚類が減った	12	35.3
その他	1	2.9
無回答	2	5.9
計	34	100.0



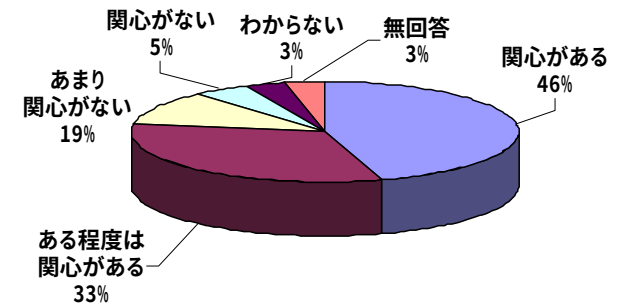
⑤. 次回の水利権更新期限（平成23年4月）の認知度（問17）

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
知っている	92	52.0
知らなかった	82	46.3
無回答	3	1.7
計	177	100.0



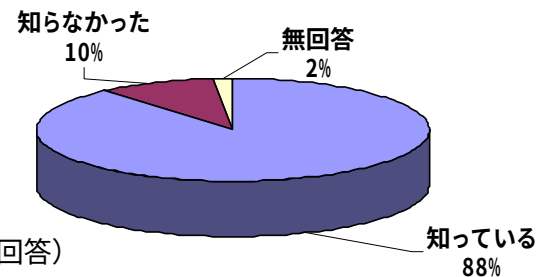
⑥. 水利権更新への関心度（問18）

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
関心がある	80	45.2
ある程度は関心がある	57	32.2
あまり関心がない	20	11.3
関心がない	8	4.5
わからない	6	3.4
無回答	6	3.4
計	177	100.0



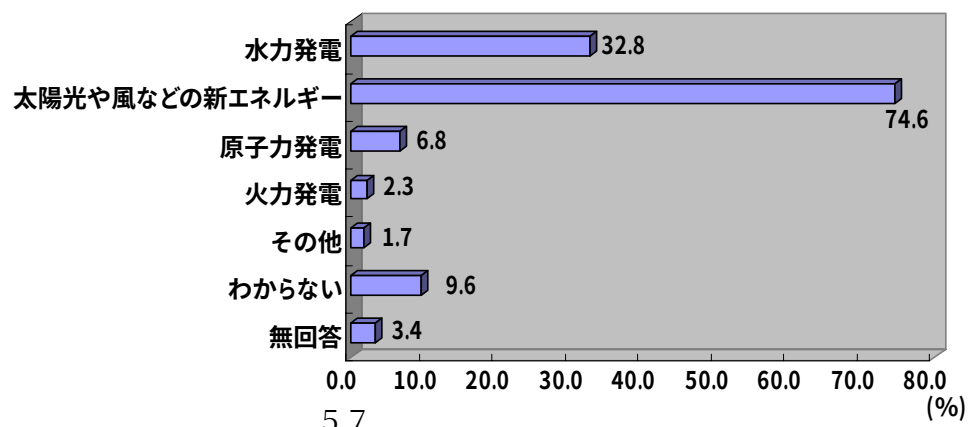
⑦. 発電用に使った水が伊与木川（黒潮町）に流れていることへの認知度（問19）

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
知っている	157	88.7
知らなかった	17	9.6
無回答	3	1.7
計	177	100.0



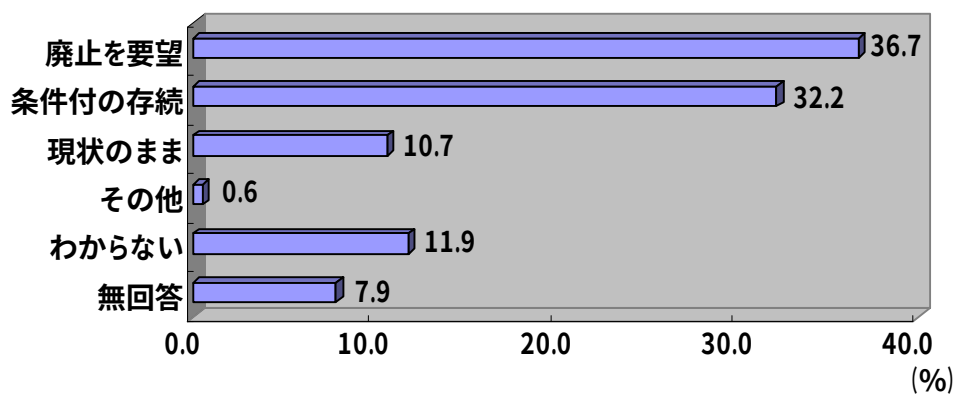
⑧. これからの電力確保の方法について（問20：複数回答）

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
水力発電	58	32.8
太陽光や風などの新エネルギー	132	74.6
原子力発電	12	6.8
火力発電	4	2.3
その他	3	1.7
わからない	17	9.6
無回答	6	3.4
計	177	100.0



⑨. これからの家地川ダムのあり方（問21）

選 択 肢	回答数(票)	構成比 (%)
廃止を要望	65	36.7
条件付の存続	57	32.2
現状のまま	19	10.7
その他	1	0.6
わからない	21	11.9
無回答	14	7.9
計	177	100.0



4. 四万十川の環境保全に関心の高い回答者の傾向

※問7（関心がある＋ある程度関心がある）×問8～問12

関心の高い回答者（742票）

①. 傾向・分析

【四万十川に関する事項】

四万十川への印象は、他属性と大きな違いはみられない。

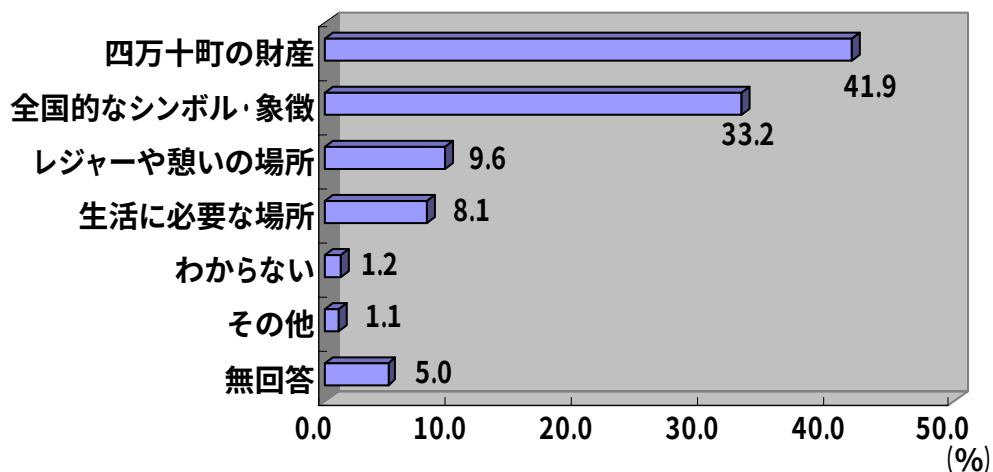
また、四万十川が「汚くなった原因」、「汚くなったと感じた時期」は、他属性と大きな違いはみられない。同様に水量についても「少なくなった原因」、「少なくなったと感じた時期」とも、他属性と大きな違いはみられない。

②. 四万十川の環境保全に関心の高い回答者集計結果

【四万十川に関する事項】

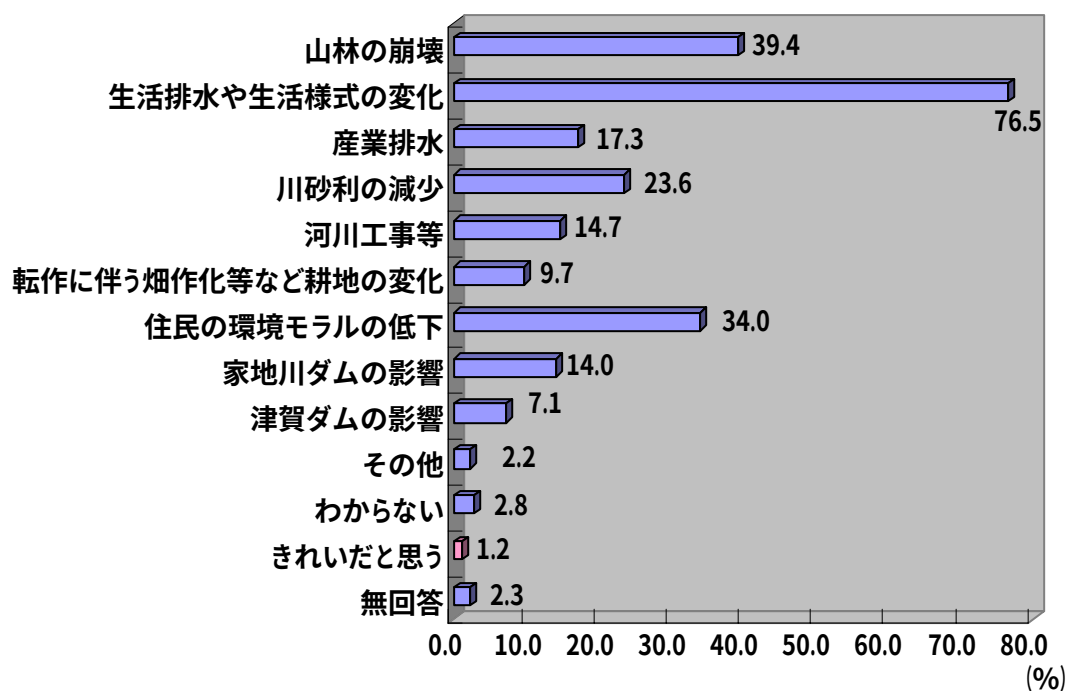
■四万十川の印象【問8】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
四万十町の財産	311	41.9
全国的なシンボル・象徴	246	33.2
レジャーや憩いの場所	71	9.6
生活に必要な場所	60	8.1
わからない	9	1.2
その他	8	1.1
無回答	37	5.0
計	742	100.0



■四万十川が汚くなった原因【問9】（複数回答）

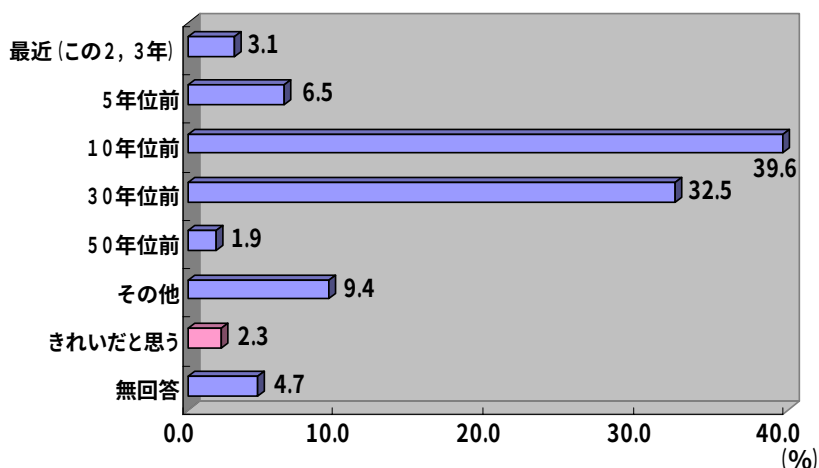
選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
山林の崩壊	292	39.4
生活排水や生活様式の変化	568	76.5
産業排水	128	17.3
川砂利の減少	175	23.6
河川工事等	109	14.7
転作に伴う畑作化など耕地の変化	72	9.7
住民の環境モラルの低下	252	34.0
家地川ダムの影響	104	14.0
津賀ダムの影響	53	7.1
その他	16	2.2
わからない	21	2.8
きれいだと思う	9	1.2
無回答	17	2.3
計	742	100.0



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 4. 四万十川の環境保全に関心の高い回答者の傾向

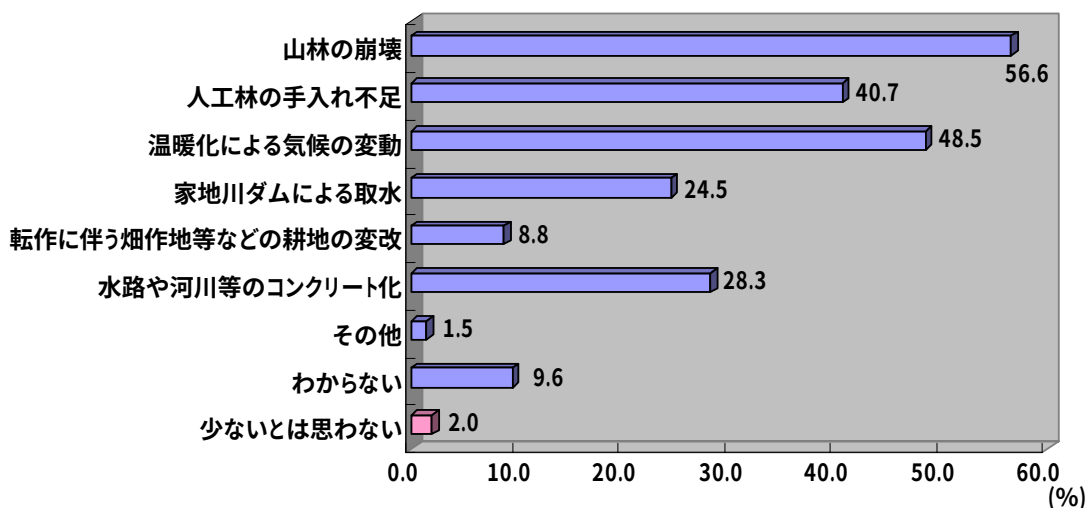
■四万十川が汚くなったと感じた時期【問10】

選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
最近(この2, 3年)	23	3.1
5年位前	48	6.5
10年位前	294	39.6
30年位前	241	32.5
50年位前	14	1.9
その他	70	9.4
きれいだと思う	17	2.3
無回答	35	4.7
計	742	100.0



■四万十川の水量が少なくなった原因【問11】（複数回答）

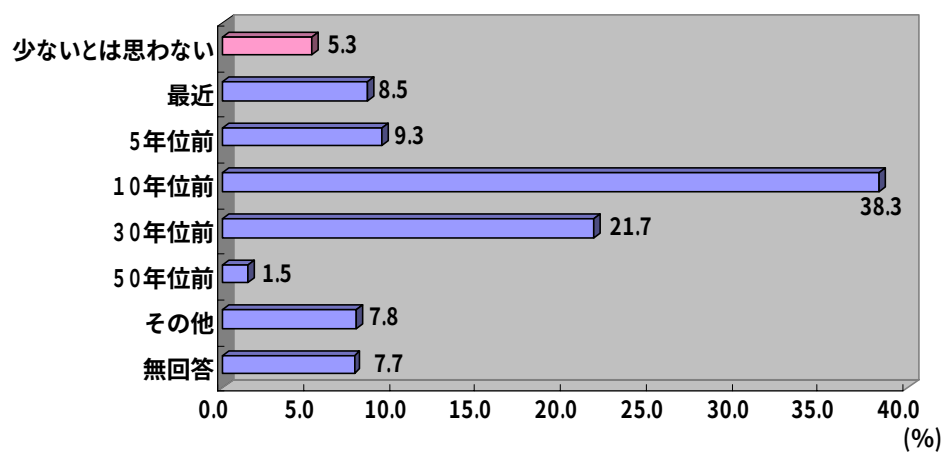
選 択 肢	回答数(票)	構成比(%)
山林の崩壊	420	56.6
人工林の手入れ不足	302	40.7
温暖化による気候の変動	360	48.5
家地川ダムによる取水	182	24.5
転作に伴う畑作地などの耕地の変改	65	8.8
水路や河川等のコンクリート化	210	28.3
その他	11	1.5
わからない	71	9.6
少ないとは思わない	15	2.0
計	742	100.0



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 4. 四万十川の環境保全に関心の高い回答者の傾向

■四万十川の水量が少なくなったと感じた時期【問12】

選 択 肢	回答数(票)	構成比 (%)
少ないとは思わない	39	5.3
最近	63	8.5
5年位前	69	9.3
10年位前	284	38.3
30年位前	161	21.7
50年位前	11	1.5
その他	58	7.8
無回答	57	7.7
計	742	100.0



5. 家地川ダム水利権更新に関心の高い回答者の傾向

※問 18（関心がある＋ある程度関心がある）×問 16、問 16-1、問 20、問 21

関心の高い回答者（511 票）

①. 傾向・分析

【家地川ダムに関する事項】

河川状況の変化については、他属性と比べ“変わった”と“変わらない”の比率は変わらないものの、“わからない”（46.4%）への回答は少なく（全体では 59.7%）、関心度の高いことが伺える。また、河川状況が変わった理由について、他属性と異なる点は、“水量が増えた”（42.1%）ことを大きな原因の一つに挙げる方が多く、意見の違いをみることができる。

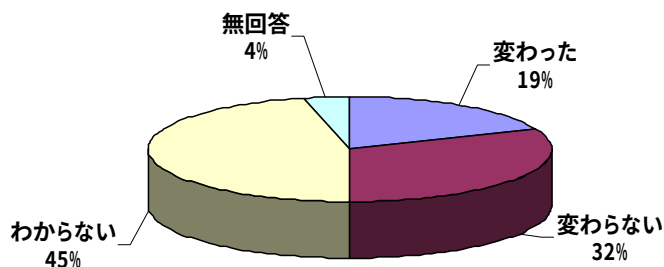
これからの電力確保の方法については、他属性と比べ大きな違いはみられない。また、これからの家地川ダムのあり方については、他属性と比べ“わからない”への回答数が少なく、その分、“廃止を要望”、“条件付の存続”に票を集めた。（※“廃止を要望”と“条件付の存続”の比率は他属性とほとんど変わらない。）

②. 四万十川の環境保全に関心の高い回答者集計結果

【家地川ダムに関する事項】

■家地川ダムより下流の河川状況の変化について【問 16】

選 択 肢	回答数 (票)	構成比 (%)
変わった	95	18.6
変わらない	161	31.5
わからない	237	46.4
無回答	18	3.5
計	511	100.0

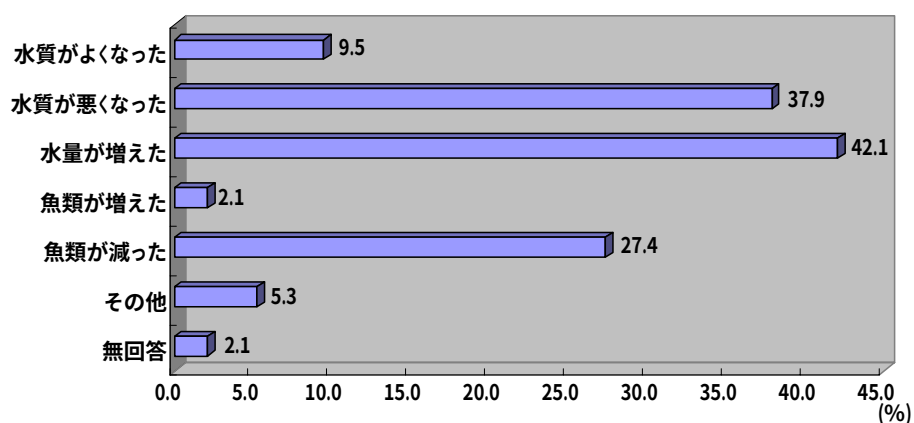


第3部 調査・分析結果（クロス集計） 5. 家地川ダム水利権更新に関心の高い回答者の傾向

■家地川ダムより下流の河川状況が変わった原因【問 16-1】（複数回答）

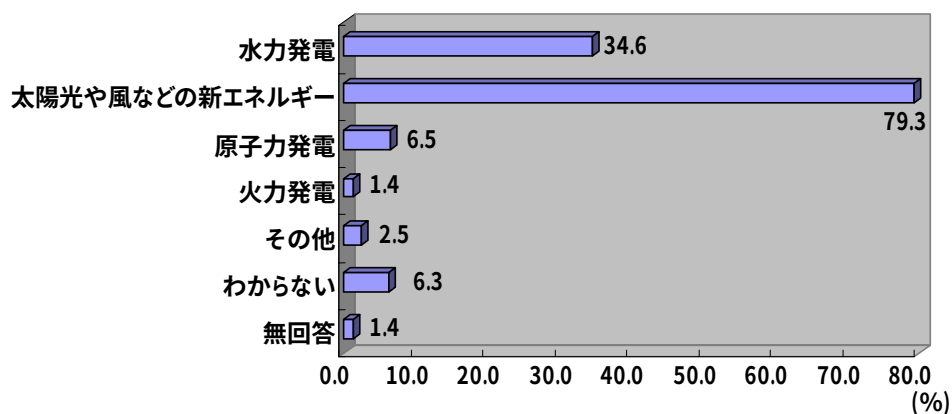
（問 16 で、“変わった”と答えた方 95 票）

選 択 肢	回答数 (票)	構成比 (%)
水質がよかった	9	9.5
水質が悪くなった	36	37.9
水量が増えた	40	42.1
魚類が増えた	2	2.1
魚類が減った	26	27.4
その他	5	5.3
無回答	2	2.1
計	95	100.0



■地域での電力確保の方法について【問 20】（複数回答）

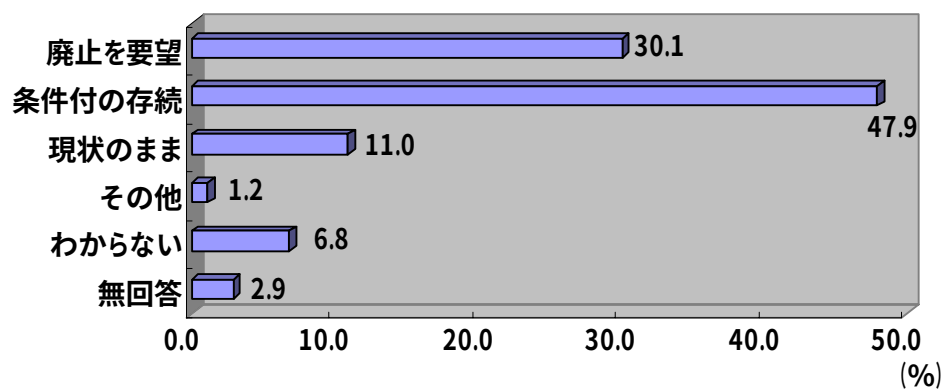
選 択 肢	回答数 (票)	構成比 (%)
水力発電	177	34.6
太陽光や風などの新エネルギー	405	79.3
原子力発電	33	6.5
火力発電	7	1.4
その他	13	2.5
わからない	32	6.3
無回答	7	1.4
計	511	100.0



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 5. 家地川ダム水利権更新に関心の高い回答者の傾向

■家地川ダムの廃止・存続への意向【問 21】

選 択 肢	回答数(票)	構成比 (%)
廃止を要望	154	30.1
条件付の存続	245	47.9
現状のまま	56	11.0
その他	6	1.2
わからない	35	6.8
無回答	15	2.9
計	511	100.0



6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

※→問4（本流沿いに居住：339票）

×問3（窪川地域、大正地域、十和地域）×問6～最終設問

①. 傾向・分析

【四万十川に関する事項】

四万十川との関わりのうち“生業”についてみると、窪川地域は“農業”、大正地域は“川漁”、十和地域は“川漁（ただし、農業も多い）”が第一となる結果となっている。また、大正地域は、“川遊び”、十和地域は“憩いの場所”として利用する方が他地域に比べ多くなっている。

四万十川の環境改善の取り組みへの関心度は、窪川地域に比べ、大正地域、十和地域の方が高いことが伺える。また、四万十川の印象については、窪川地域に比べ、大正地域、十和地域の方は“財産”として強く捉えていることが伺える。

四万十川が“汚くなった原因”をみると、他地域に比べ、大正地域の方は“家地川ダムの影響”を強く訴えていることが伺える。（窪川地域は、他地域に比べ、“家地川ダムの影響”を訴える声は特に低い。十和地域は、他地域に比べ、“津賀ダムの影響”を訴える声が高い。）また、汚くなった時期については、他地域に比べ、十和地域の方は、古くから（30年位前が第一位）感じていることが伺える。また、“水量が少なくなった原因”をみると、他地域に比べ、十和地域の方は“家地川ダムの影響”を強く訴えていることが伺える。水量が少なくなったと感じた時期については、地区ごとの差異はみられない。

【家地川ダムに関する事項】

“家地川ダムに関する過去の協議や決議の認知度”については地域ごとの差異はみられないものの、“前回の水利権更新後、放流量が増加したことへの認知度”については、他地域に比べ、大正地域の方の関心が高いことが伺える。

河川状況の変化については、他地域に比べ、大正地域の方は、“変わった”と思う方が多く、また、窪川地域の方は“わからない”が突出しており、関心が低いことが伺える。

河川状況が変わった理由については、大正地域、十和地域の方が“水量が増えた”への意識が高い中、窪川地域は、水量減への意識が低いことが伺える。

家地川ダムの水利権更新時期の認知度については、他地域に比べ、大正地域の方の関心が高いことが伺える。また、家地川ダムの水利権更新への関心度については、他地域に比べ、窪川地域が最も低くなっている。

地域での電力確保の方法については、地域ごとの差異はみられない。

これからの家地川ダムのあり方については、窪川地域に比べ、大正地域、十和地域は“廃止を要望”する声が高くなっている。

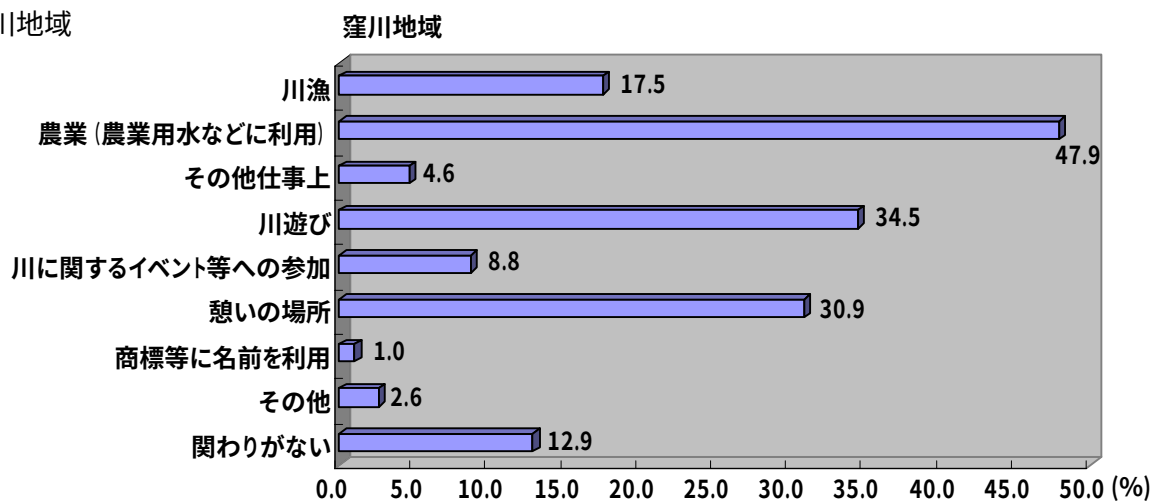
②. 四万十川本流沿い居住者による地域別集計結果

【四万十川に関する事項】

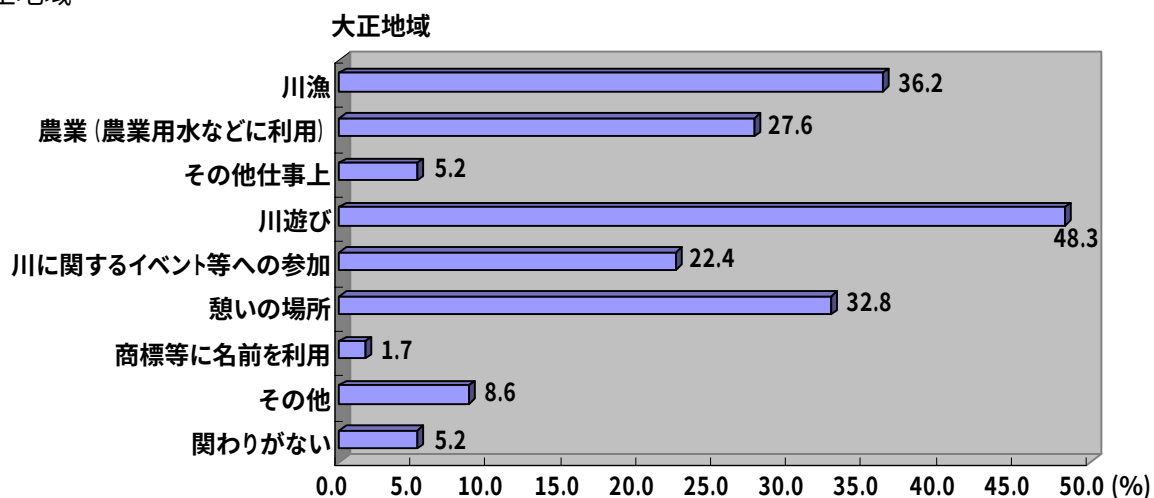
○四万十川との関わり【問6】（複数回答）

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
川漁	34	17.5	21	36.2	43	49.4
農業(農業用水などに利用)	93	47.9	16	27.6	31	35.6
その他仕事上	9	4.6	3	5.2	3	3.4
川遊び	67	34.5	28	48.3	38	43.7
川に関するイベント等への参加	17	8.8	13	22.4	16	18.4
憩いの場所	60	30.9	19	32.8	41	47.1
商標等に名前を利用	2	1.0	1	1.7	2	2.3
その他	5	2.6	5	8.6	3	3.4
関わりがない	25	12.9	3	5.2	6	6.9
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0

■窪川地域

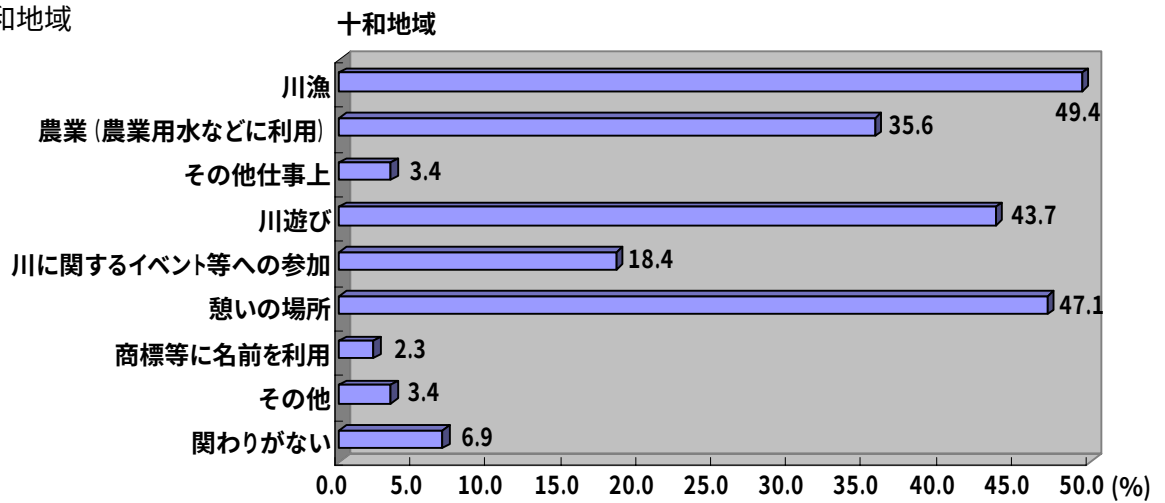


■大正地域



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

■十和地域

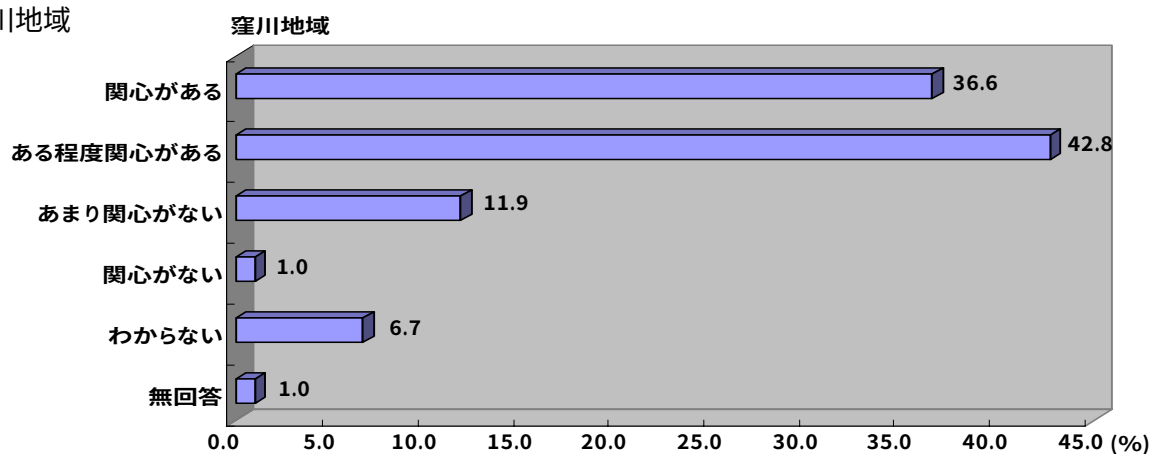


第3部 調査・分析結果（クロス集計） 6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

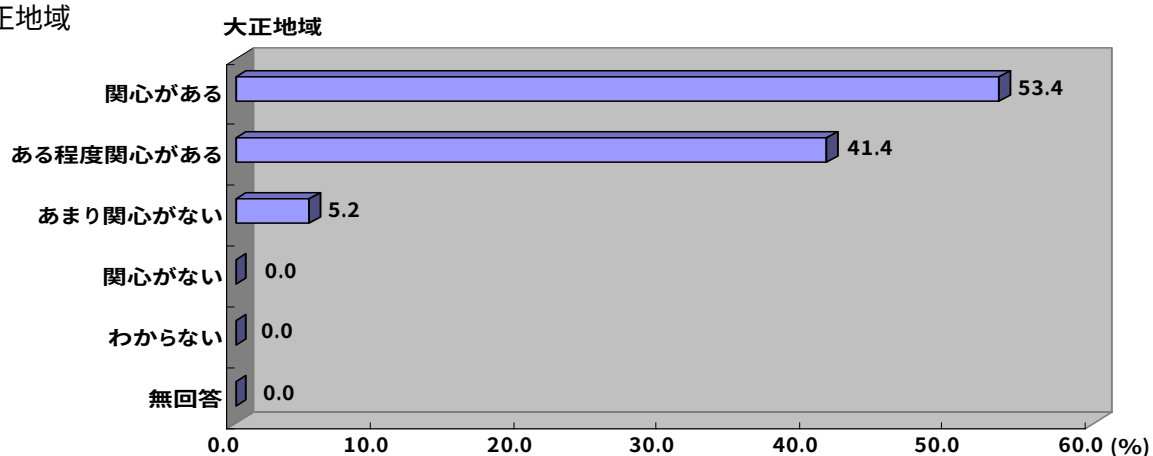
○四万十川の環境改善の取り組みへの関心度【問7】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
関心がある	71	36.6	31	53.4	50	57.5
ある程度関心がある	83	42.8	24	41.4	28	32.2
あまり関心がない	23	11.9	3	5.2	6	6.9
関心がない	2	1.0	0	0.0	1	1.1
わからない	13	6.7	0	0.0	0	0.0
無回答	2	1.0	0	0.0	2	2.3
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0

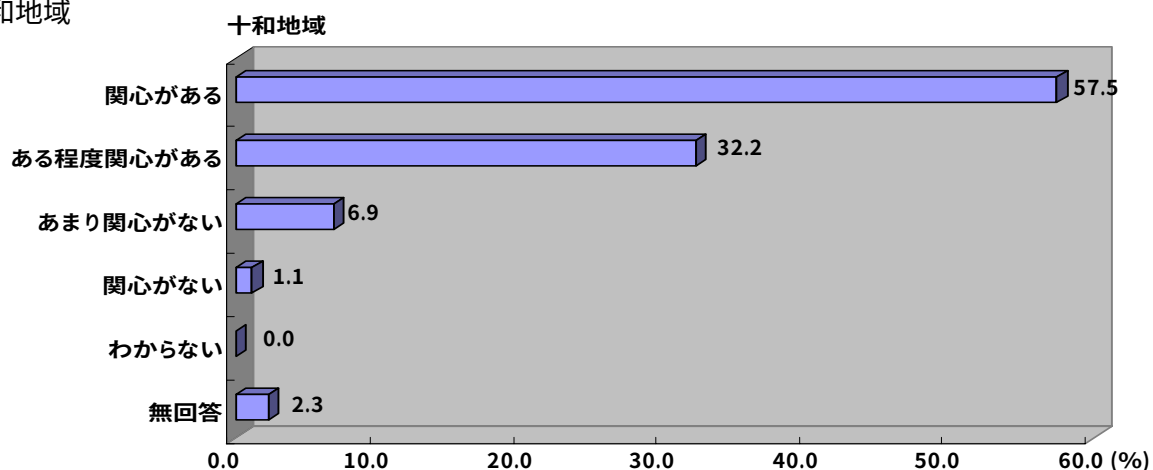
■窪川地域



■大正地域



■十和地域

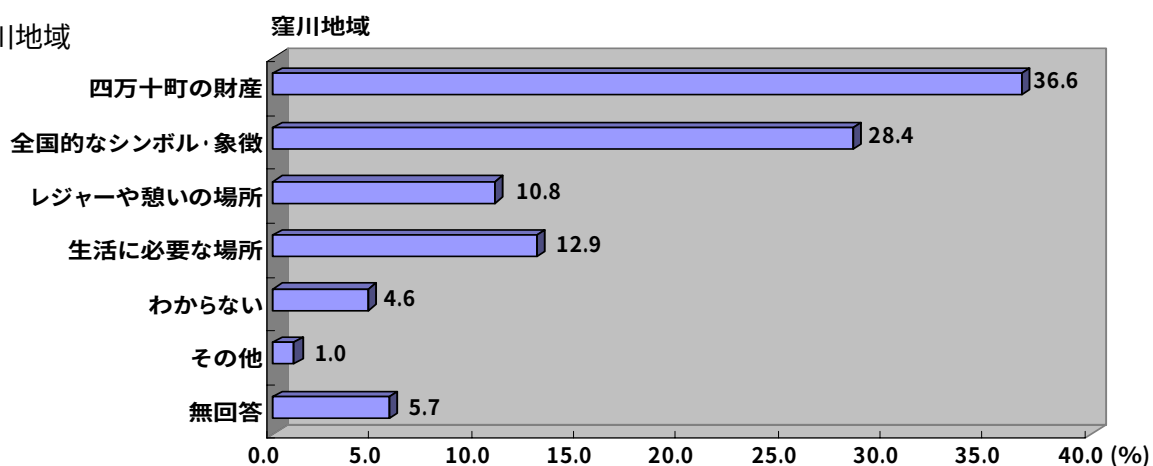


第3部 調査・分析結果（クロス集計） 6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

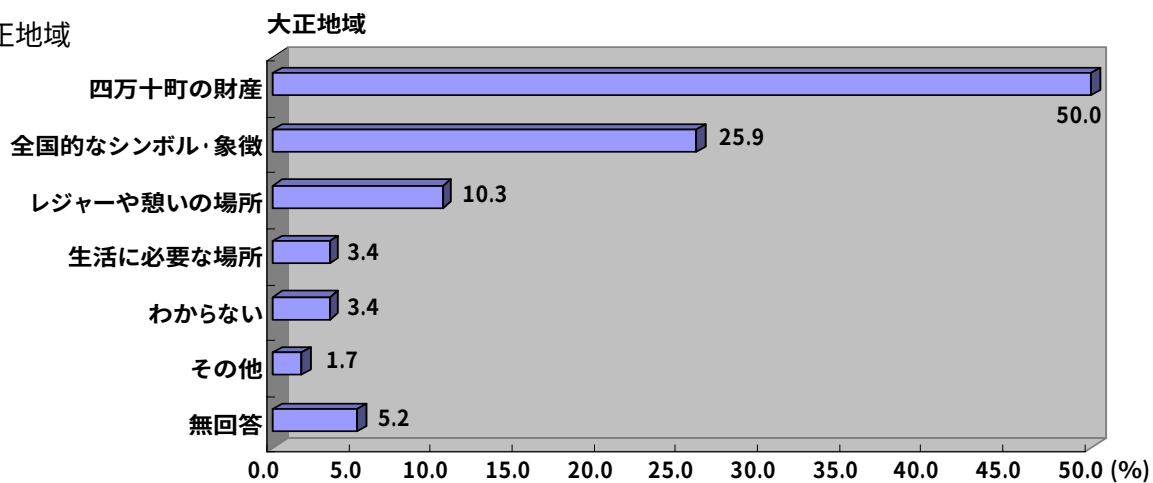
○四万十川の印象【問8】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
四万十町の財産	71	36.6	29	50.0	40	46.0
全国的なシンボル・象徴	55	28.4	15	25.9	24	27.6
レジャーや憩いの場所	21	10.8	6	10.3	7	8.0
生活に必要な場所	25	12.9	2	3.4	11	12.6
わからない	9	4.6	2	3.4	1	1.1
その他	2	1.0	1	1.7	0	0.0
無回答	11	5.7	3	5.2	4	4.6
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0

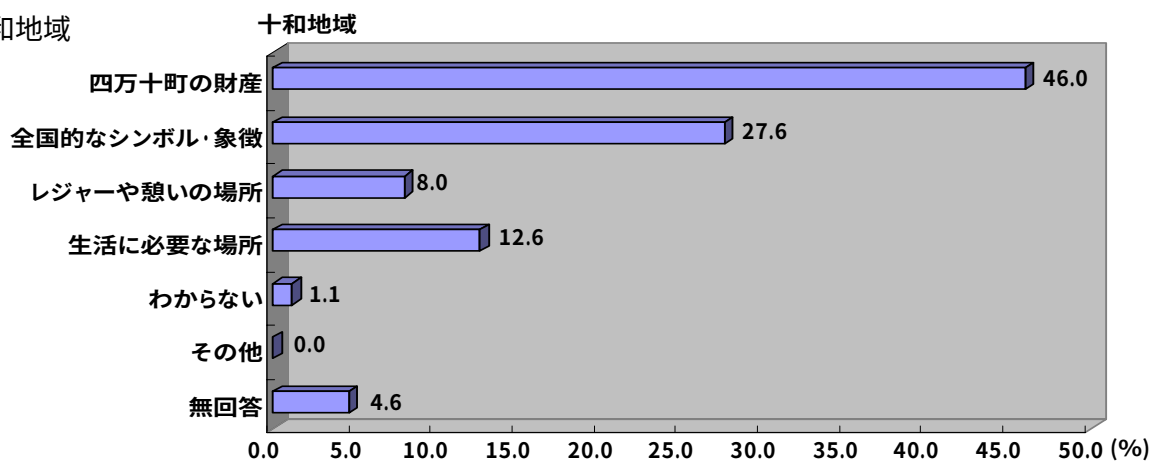
■窪川地域



■大正地域



■十和地域

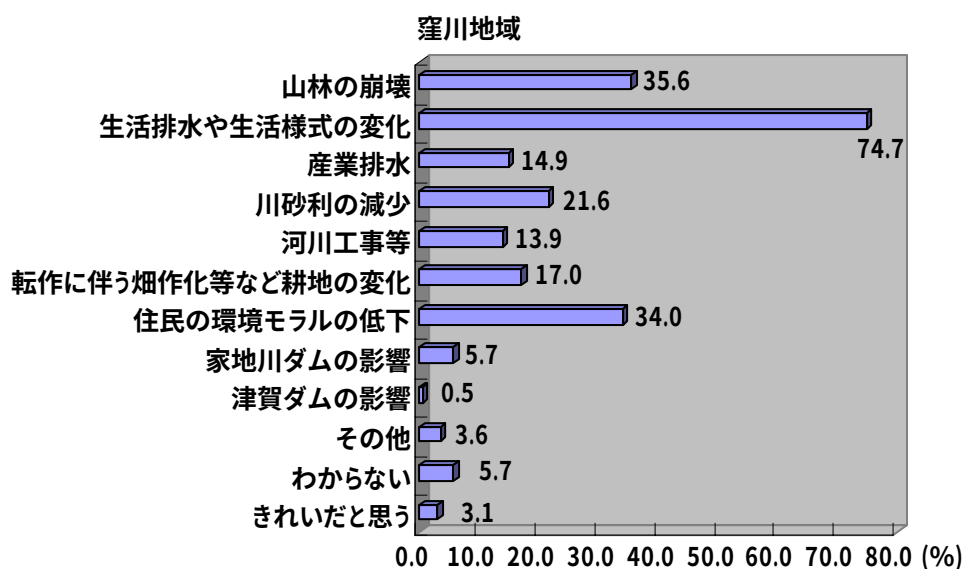


第3部 調査・分析結果（クロス集計） 6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

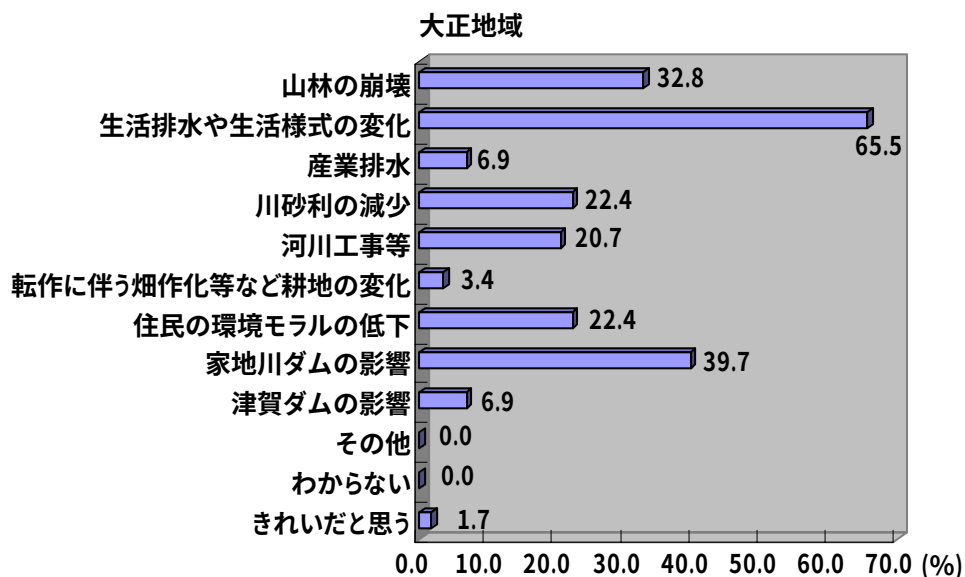
○四万十川が汚くなった原因【問9】（複数回答）

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)
山林の崩壊	69	35.6	19	32.8	37	42.5
生活排水や生活様式の変化	145	74.7	38	65.5	68	78.2
産業排水	29	14.9	4	6.9	5	5.7
川砂利の減少	42	21.6	13	22.4	36	41.4
河川工事等	27	13.9	12	20.7	11	12.6
転作に伴う畑作化等など耕地の変化	33	17.0	2	3.4	3	3.4
住民の環境モラルの低下	66	34.0	13	22.4	17	19.5
家地川ダムの影響	11	5.7	23	39.7	25	28.7
津賀ダムの影響	1	0.5	4	6.9	27	31.0
その他	7	3.6	0	0.0	1	1.1
わからない	11	5.7	0	0.0	3	3.4
きれいだと思う	6	3.1	1	1.7	0	0.0
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0

■窪川地域

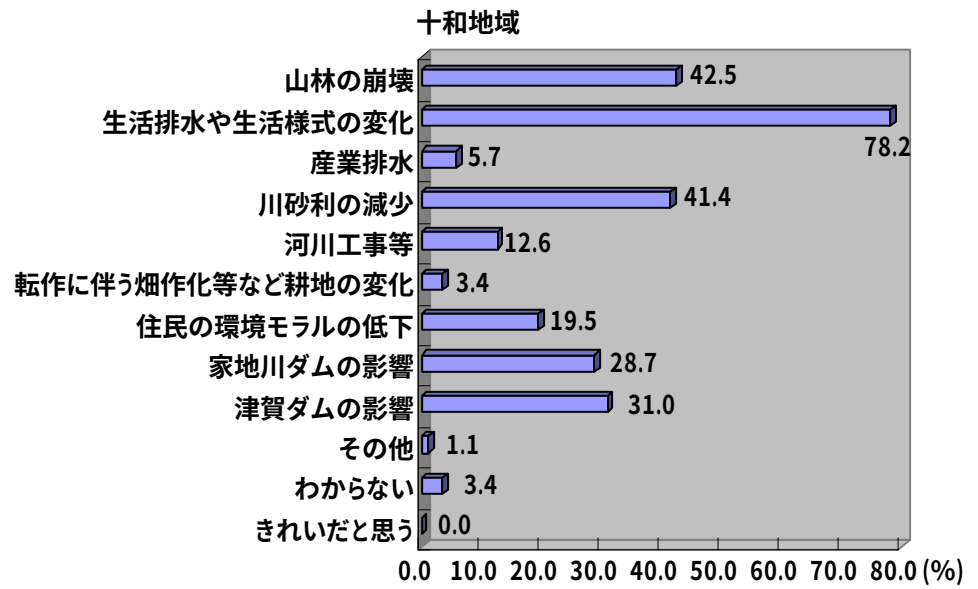


■大正地域



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

■十和地域

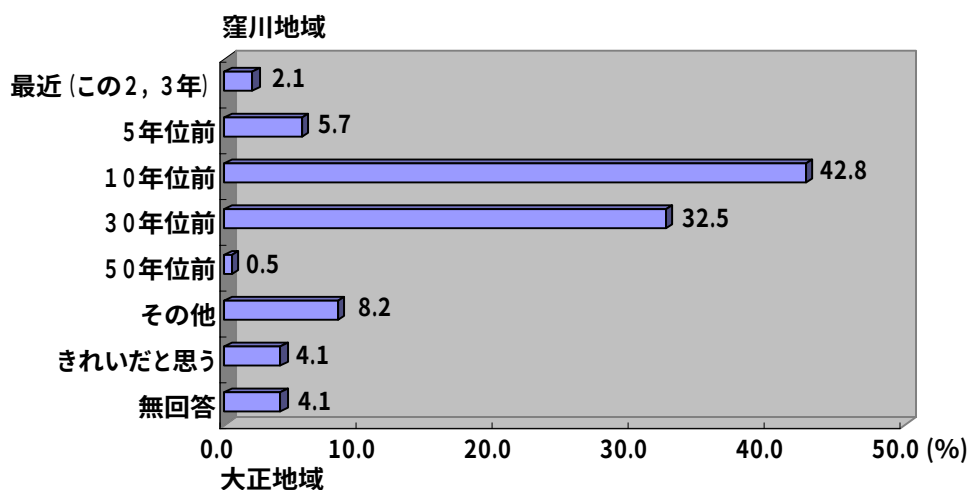


第3部 調査・分析結果（クロス集計） 6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

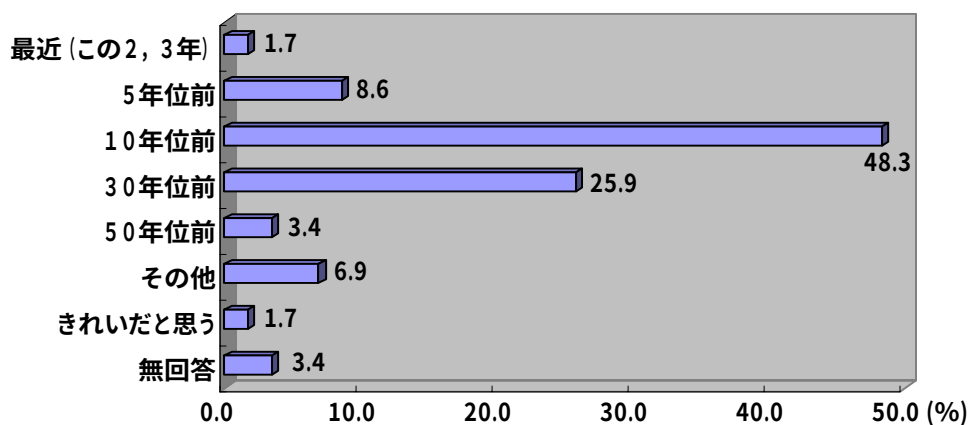
○四万十川が汚くなったと感じた時期【問10】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
最近(この2,3年)	4	2.1	1	1.7	1	1.1
5年位前	11	5.7	5	8.6	5	5.7
10年位前	83	42.8	28	48.3	35	40.2
30年位前	63	32.5	15	25.9	37	42.5
50年位前	1	0.5	2	3.4	2	2.3
その他	16	8.2	4	6.9	6	6.9
きれいだと思う	8	4.1	1	1.7	0	0.0
無回答	8	4.1	2	3.4	1	1.1
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0

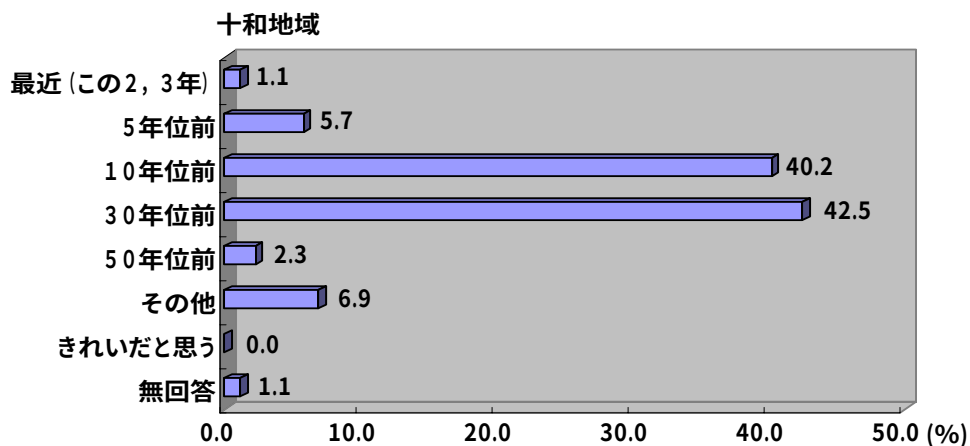
■窪川地域



■大正地域

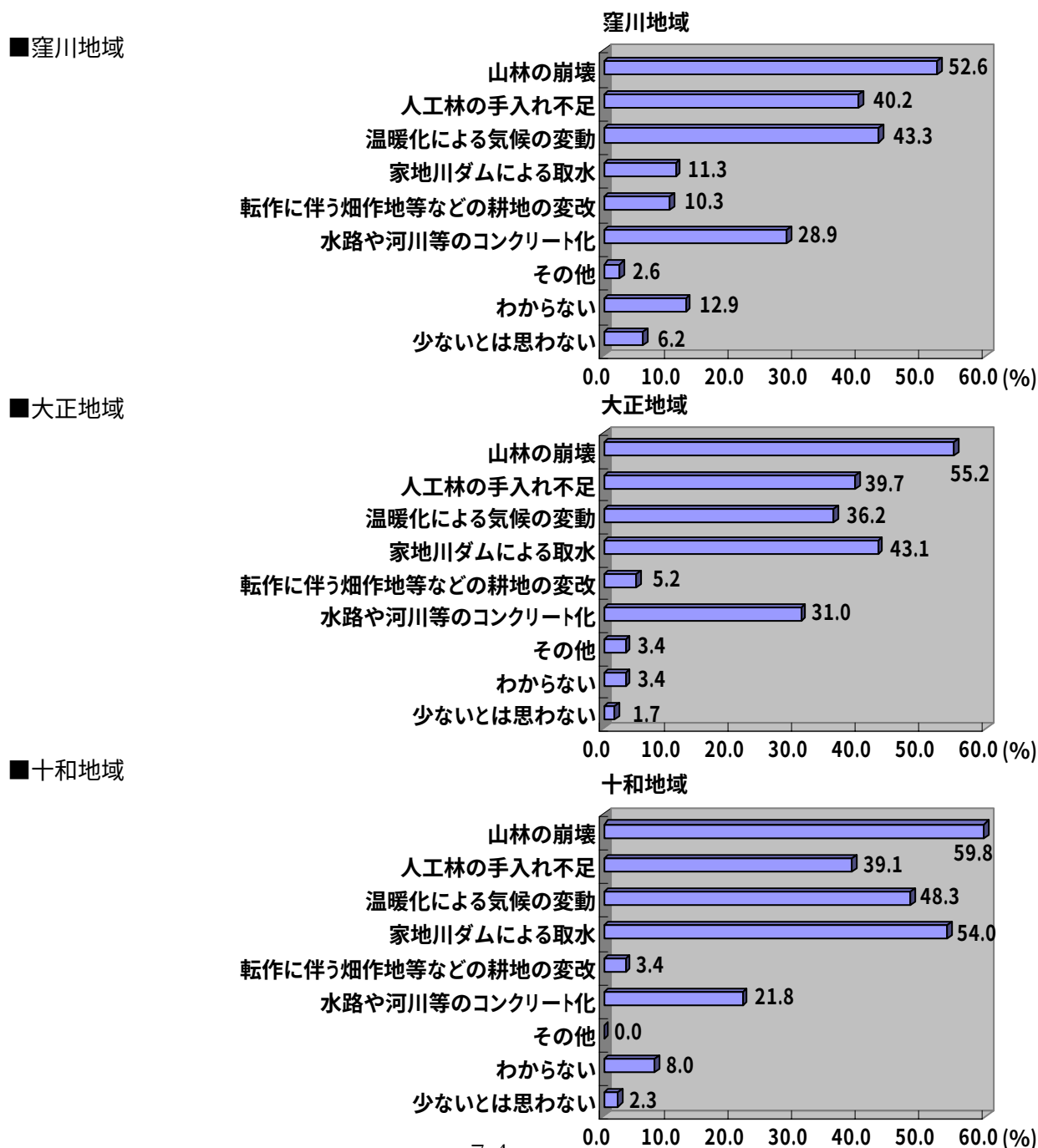


■十和地域



○四万十川の水量が少なくなった原因【問11】（複数回答）

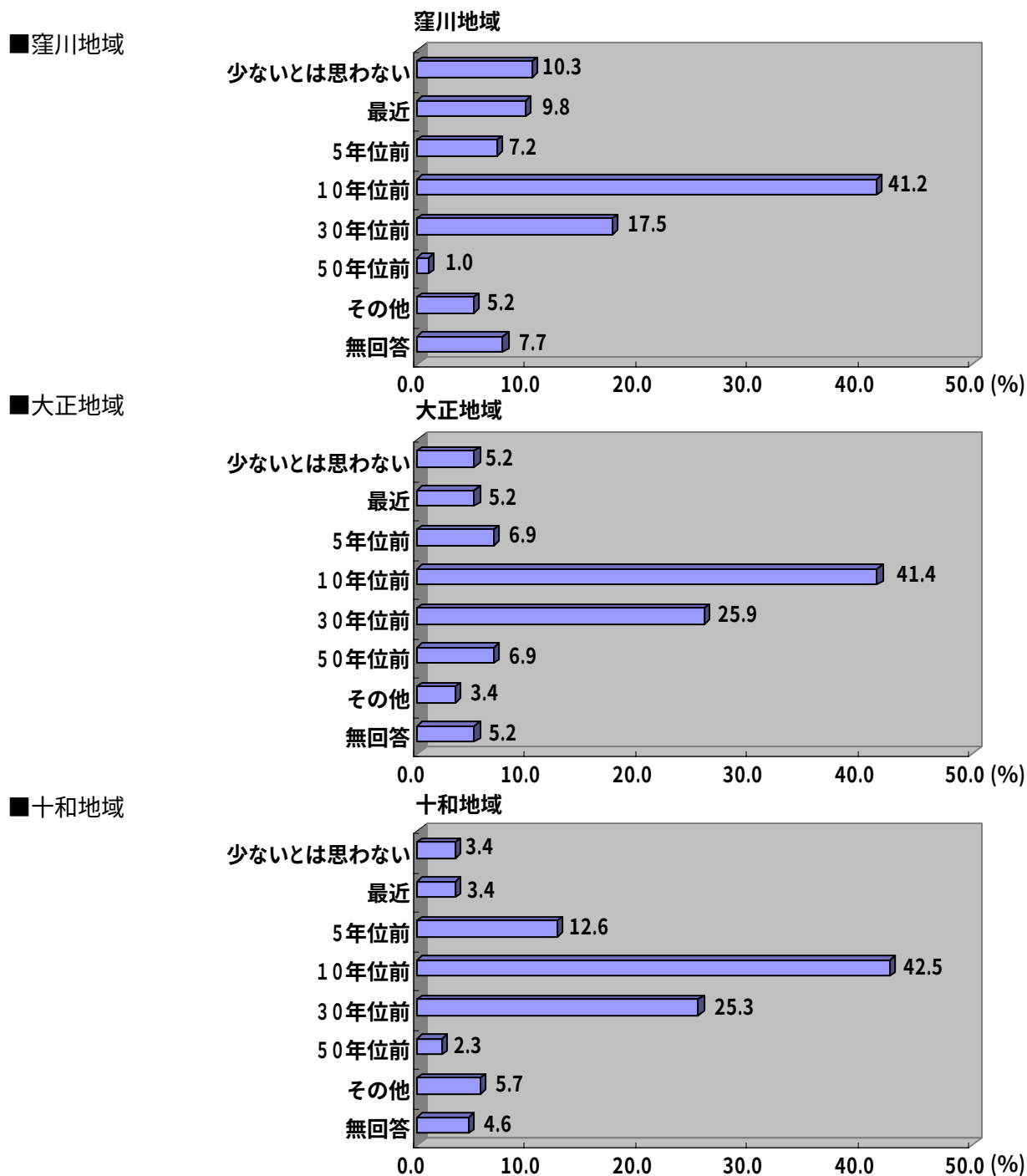
選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
山林の崩壊	102	52.6	32	55.2	52	59.8
人工林の手入れ不足	78	40.2	23	39.7	34	39.1
温暖化による気候の変動	84	43.3	21	36.2	42	48.3
家地川ダムによる取水	22	11.3	25	43.1	47	54.0
転作に伴う畑作地などの耕地の変改	20	10.3	3	5.2	3	3.4
水路や河川等のコンクリート化	56	28.9	18	31.0	19	21.8
その他	5	2.6	2	3.4	0	0.0
わからない	25	12.9	2	3.4	7	8.0
少ないとは思わない	12	6.2	1	1.7	2	2.3
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0



第3部 調査・分析結果（クロス集計） 6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

○四万十川の水量が少なくなったと感じた時期【問 12】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
少ないとは思わない	20	10.3	3	5.2	3	3.4
最近	19	9.8	3	5.2	3	3.4
5年位前	14	7.2	4	6.9	11	12.6
10年位前	80	41.2	24	41.4	37	42.5
30年位前	34	17.5	15	25.9	22	25.3
50年位前	2	1.0	4	6.9	2	2.3
その他	10	5.2	2	3.4	5	5.7
無回答	15	7.7	3	5.2	4	4.6
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0



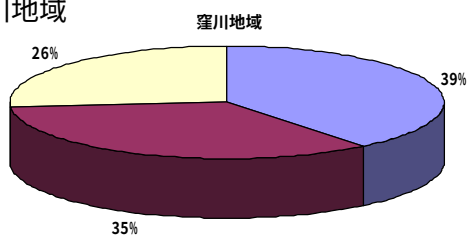
第3部 調査・分析結果（クロス集計） 6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

【家地川ダムに関する事項】

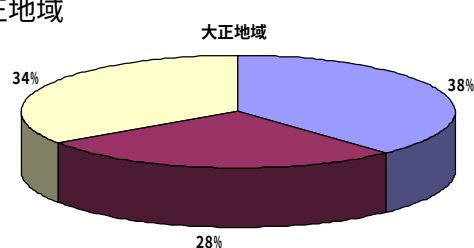
○家地川ダムに関する過去の協議や決議の認知度【問 14】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
知っている	76	39.2	22	37.9	36	41.4
知らなかった	67	34.5	16	27.6	36	41.4
無回答	51	26.3	20	34.5	15	17.2
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0

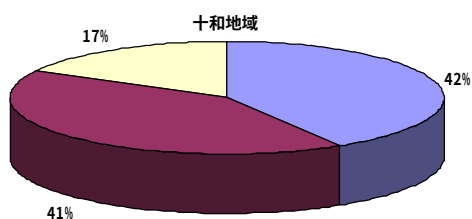
■窪川地域



■大正地域



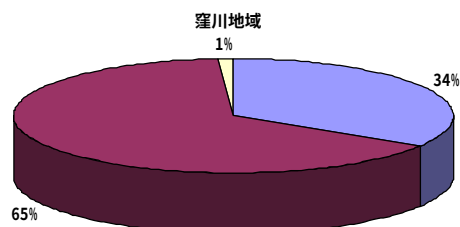
■十和地域



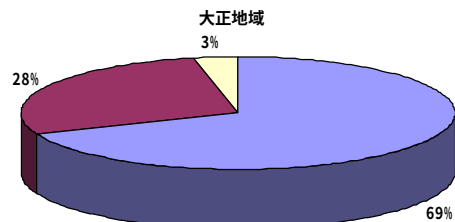
○家地川ダムの前回の水利権更新後、放流量が増加したことへの認知度【問 15】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
知っている	66	34.0	40	69.0	41	47.1
知らなかった	126	64.9	16	27.6	43	49.4
無回答	2	1.0	2	3.4	3	3.4
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0

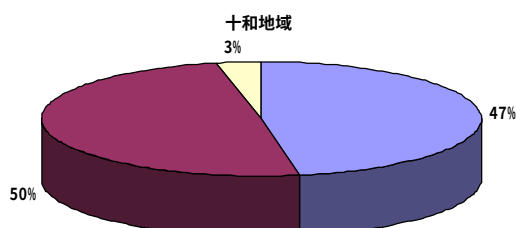
■窪川地域



■大正地域



■十和地域

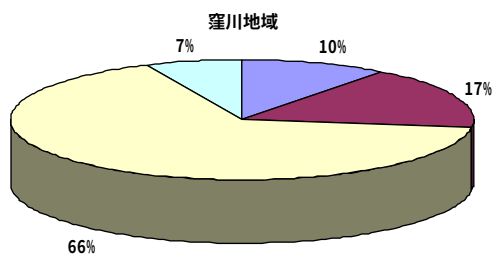


第3部 調査・分析結果（クロス集計） 6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

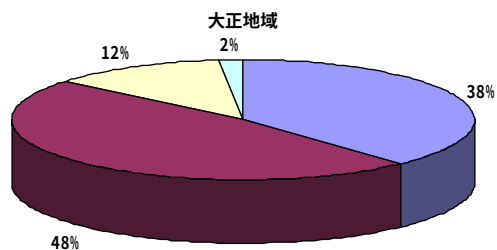
○家地川ダムより下流の河川状況の変化について【問 16】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
変わった	20	10.3	22	37.9	16	18.4
変わらない	33	17.0	28	48.3	34	39.1
わからない	128	66.0	7	12.1	35	40.2
無回答	13	6.7	1	1.7	2	2.3
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0

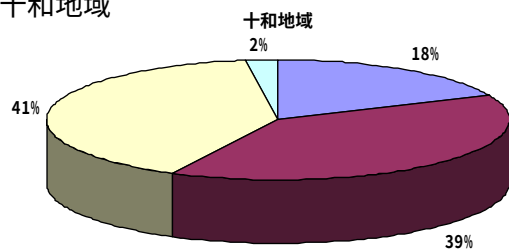
■窪川地域



■大正地域



■十和地域



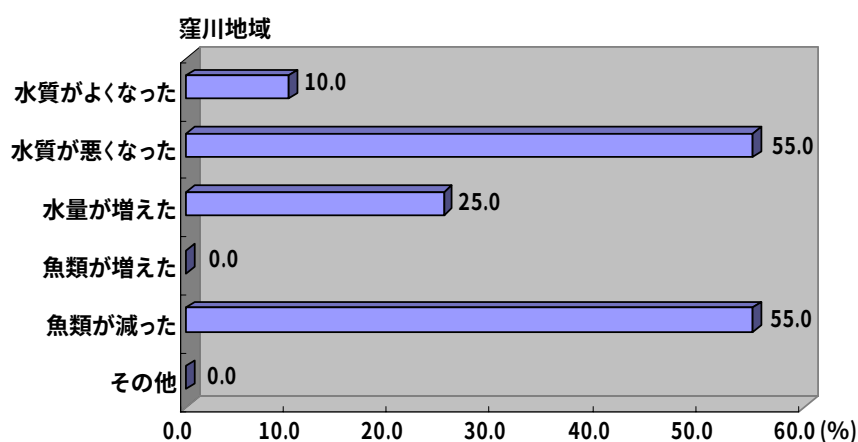
第3部 調査・分析結果（クロス集計） 6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

○家地川ダムより下流の河川状況が変わった原因【問 16-1】（複数回答）

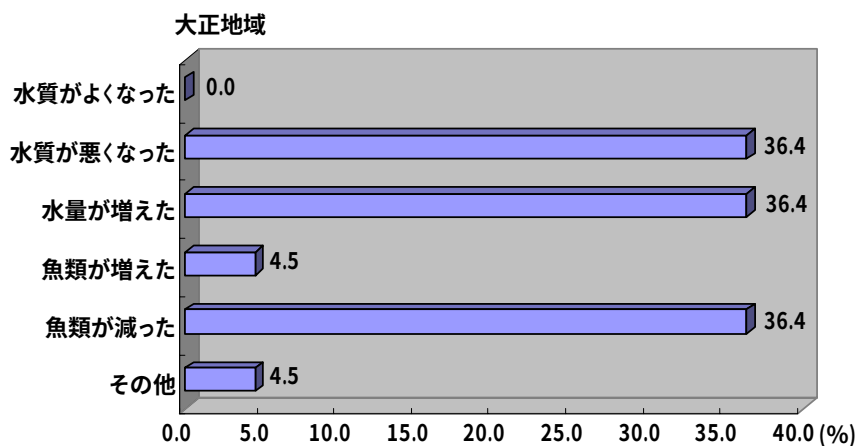
（窪川地域 20 票、大正地域 22 票、十和地域 16 票）

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)	回答数 (票)	構成比 (%)
水質がよかった	2	10.0	0	0.0	1	6.3
水質が悪くなった	11	55.0	8	36.4	7	43.8
水量が増えた	5	25.0	8	36.4	9	56.3
魚類が増えた	0	0.0	1	4.5	0	0.0
魚類が減った	11	55.0	8	36.4	6	37.5
その他	0	0.0	1	4.5	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	20	100.0	22	100.0	16	100.0

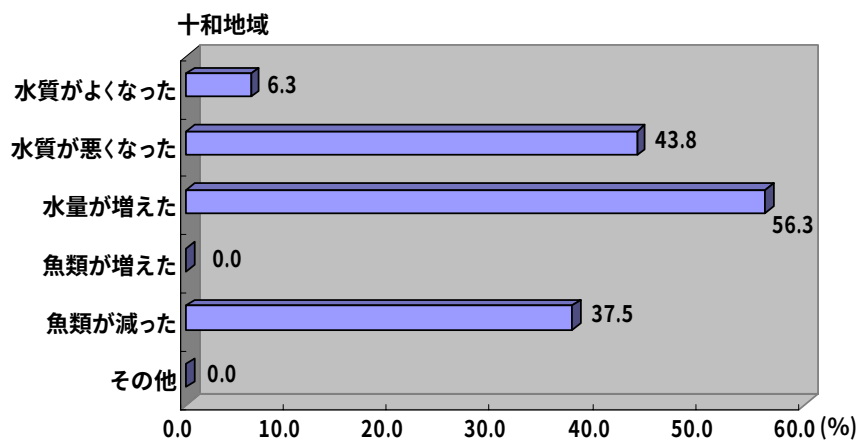
■窪川地域



■大正地域



■十和地域

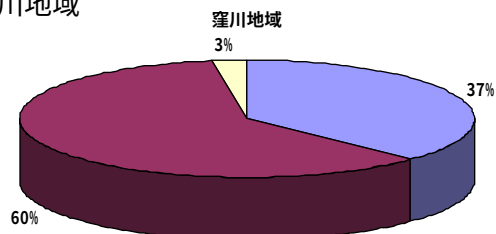


第3部 調査・分析結果（クロス集計） 6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

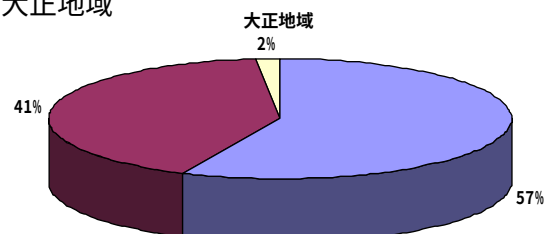
○家地川ダムの水利権更新期限（平成23年4月まで）の認知度【問17】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
知っている	72	37.1	33	56.9	37	42.5
知らなかった	117	60.3	24	41.4	48	55.2
無回答	5	2.6	1	1.7	2	2.3
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0

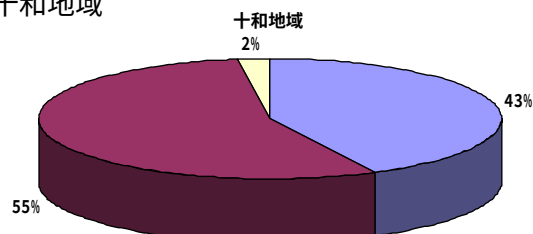
■窪川地域



■大正地域



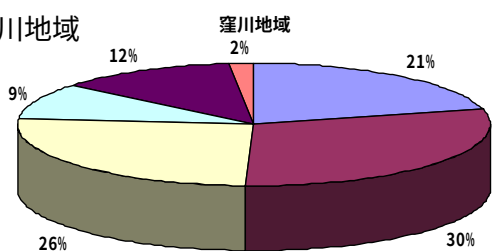
■十和地域



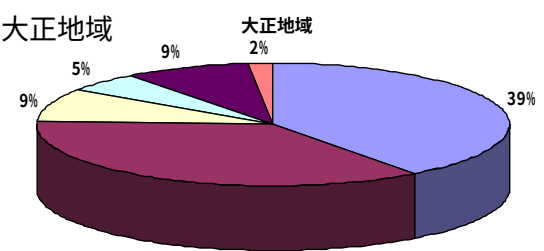
○家地川ダムの水利権更新への関心度【問18】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
関心がある	41	21.1	23	39.7	36	41.4
ある程度は関心がある	57	29.4	21	36.2	27	31.0
あまり関心がない	51	26.3	5	8.6	11	12.6
関心がない	18	9.3	3	5.2	4	4.6
わからない	24	12.4	5	8.6	7	8.0
無回答	3	1.5	1	1.7	2	2.3
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0

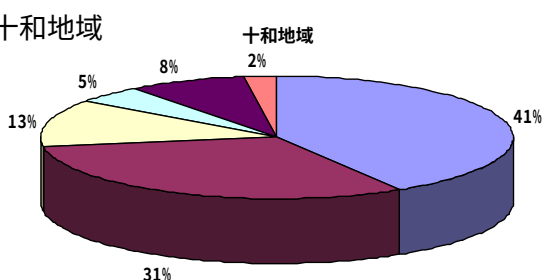
■窪川地域



■大正地域



■十和地域

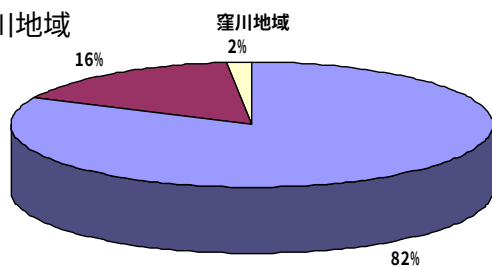


第3部 調査・分析結果（クロス集計） 6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

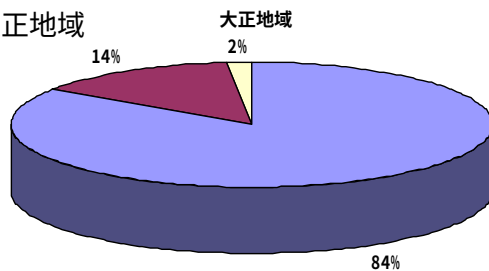
○家地川ダムから発電用に使った水が伊与木川に流れていることへの認知度【問19】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
知っている	159	82.0	49	84.5	65	74.7
知らなかった	32	16.5	8	13.8	20	23.0
無回答	3	1.5	1	1.7	2	2.3
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0

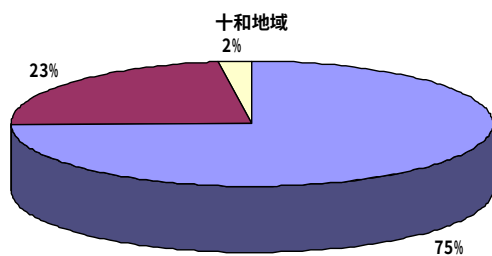
■ 窪川地域



■ 大正地域



■ 十和地域

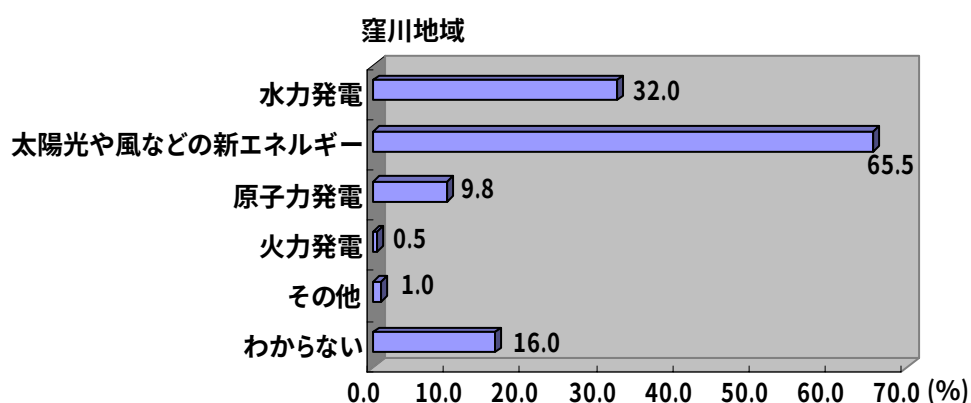


第3部 調査・分析結果（クロス集計） 6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

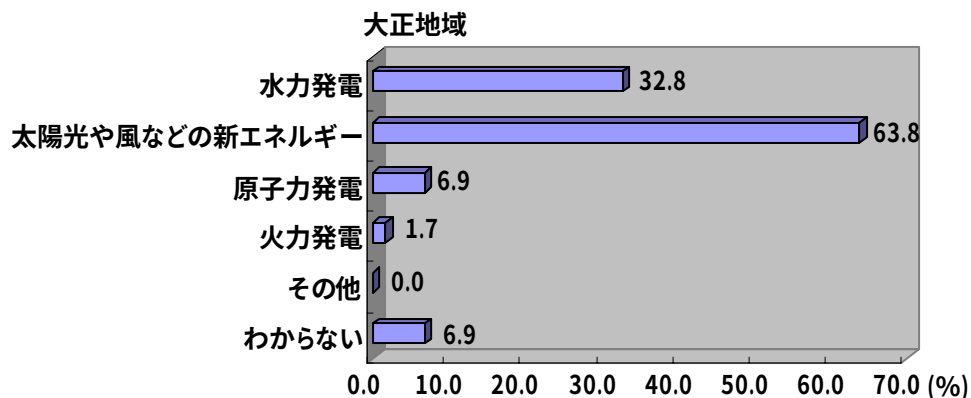
○地域での電力確保の方法について【問20】（複数回答）

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
水力発電	62	32.0	19	32.8	27	31.0
太陽光や風などの新エネルギー	127	65.5	37	63.8	66	75.9
原子力発電	19	9.8	4	6.9	2	2.3
火力発電	1	0.5	1	1.7	1	1.1
その他	2	1.0	0	0.0	1	1.1
わからない	31	16.0	4	6.9	14	16.1
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0

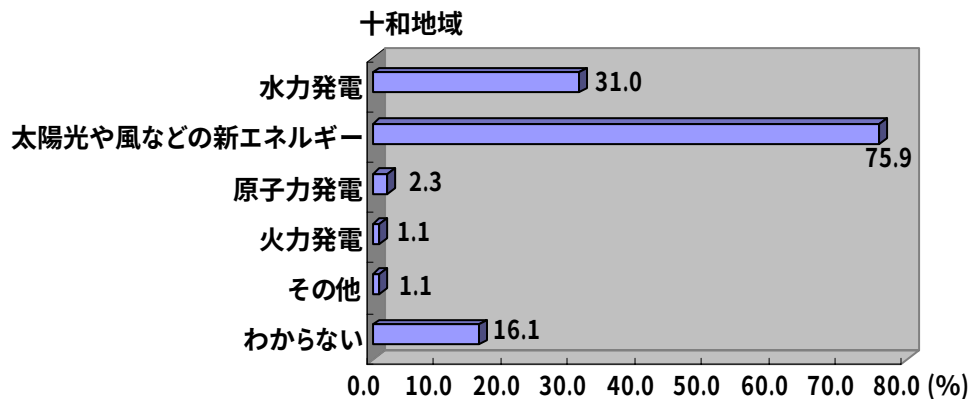
■窪川地域



■大正地域



■十和地域

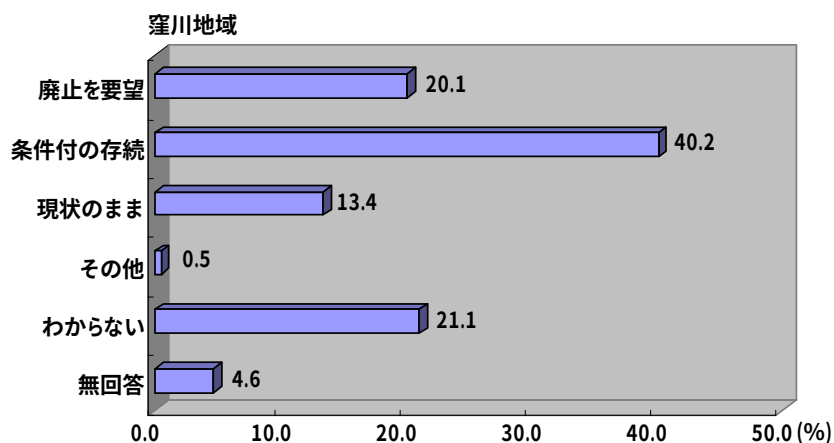


第3部 調査・分析結果（クロス集計） 6. 四万十川本流沿い居住者による地域別の傾向

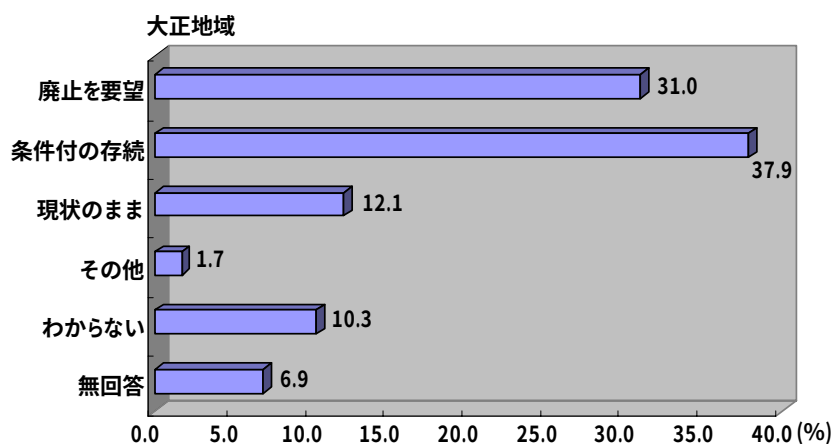
○家地川ダムの廃止・存続への意向【問 21】

選 択 肢	窪川地域		大正地域		十和地域	
	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)	回答数(票)	構成比(%)
廃止を要望	39	20.1	18	31.0	30	34.5
条件付の存続	78	40.2	22	37.9	34	39.1
現状のまま	26	13.4	7	12.1	4	4.6
その他	1	0.5	1	1.7	0	0.0
わからない	41	21.1	6	10.3	14	16.1
無回答	9	4.6	4	6.9	5	5.7
計	194	100.0	58	100.0	87	100.0

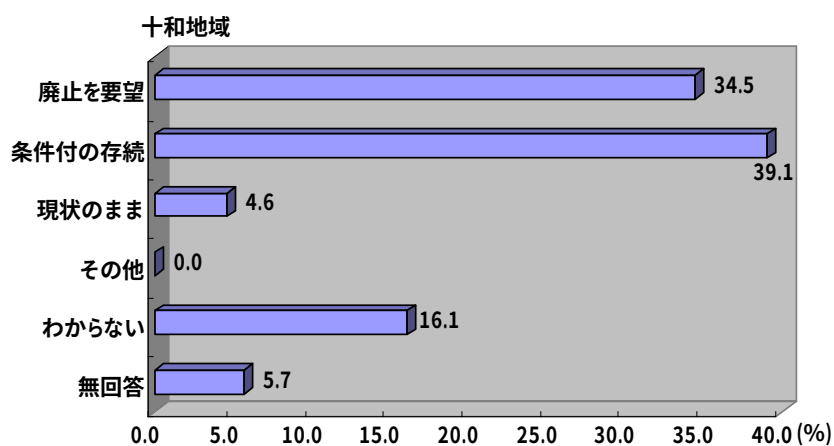
■窪川地域



■大正地域



■十和地域



第 4 部 自由意見一覽

[第4部 自由意見一覧]

1. 四万十川を残していくためにすべきことへの自由意見【問13】

回答者数：279票

通番	問13 四万十川を残していくためにすべきこと
1	(ゴミを投げ入れたり農薬を流したり汚水を垂れ流したりしないこと) 山林、人工林の手入れをし住民の一人ひとりのきれいにしようという心がけが必要
2	「エコ」を考えると、水力発電もとは思うが、分水やりっぱなしでなく、水を元に戻す方法を考える必要があるのでは・・・
3	「最後の清流」いつまでも残していくためには、竹やぶをこいで、コンクリートで固めていくこれまでのやり方は改めるべきではないでしょうか。
4	「きれいな川を保とう」窪川～大正～十和の道路沿いに看板など
5	◎森づくり ◎窪川町分の生活排水浄化 ◎砂利を入れる
6	1、窪川地域住民としては生活排水に気を配る。2、落葉樹の植林、間伐
7	1・川の周辺にゴミをすてない2・生活排水や産業排水を直接川に流さない。
8	①河川の整備だけでなく、川辺の(よせ、柳)を撤去する。②上流の酪農廃棄物の管理処理する。③下流のウナギ稚魚の規制をし何年間か停止する。④コンクリート壁ばかりなので50おきにもみじ、桜を植えて新しい四万十川を作る。
9	①関係市町村の連帯強化による住民への保全活動徹底強化②農業関係者によるビニール等廃棄物処理の徹底
10	①子供から老人まで川に親しめるようアユ等の保護、増殖を。②住民の環境モラルの向上。
11	①ダムをなくする事②国有林か山林の三分の一を自然林にする事
12	鮎の遡上しやすい環境は人にも優しいので、ダムはいらないと思う。魚道では不十分だと思う。
13	家地川ダム、津賀ダムを廃止することが大事。
14	家地川ダム撤去
15	家地川ダム撤去
16	家地川ダム撤去
17	家地川ダムではない(津賀ダム)(昭和40年頃はよかった)
18	家地川ダムの水利権の更新せずに森林などの整備をする
19	家地川ダムの撤去、河川のコンクリートを見えなくなるように工夫する。
20	家地川ダムの撤去。川に砂利を入れる。
21	家地川ダムの撤去と各自のモラル
22	家地川ダムを開放して、川へビニール等を流さない。
23	家地川ダムを撤去し自然にま戻すこと。
24	家地川ダムをなくする
25	いつまでも美しい川であって欲しいという意識を持つ
26	色々手を加えないこと
27	色々な分野からみて、川の環境を検証していくことが必要かと思います。
28	内子の川の取り組みを入れるべき
29	美しい自然を残していくためには人工的な手入れ等を慎重にし、自然を大切に保護する。
30	美しくきれいにする事
31	お金を集める
32	化学洗剤等使用禁止し、町が差額を補助して有機洗剤に変えるべきだと思う。
33	各家庭においても、生活排水などについても考えるべきだと思います。旧大正役場でもEM菌を使った取り組みを全世帯ではないが、配分しているようですが、これをもっと広げてはどうかと思います。自分自身もEMを使って、排水や肥料に使用しています。
34	各自の環境に対する問題意識の持ちよう
35	河川工事などの時、安易にコンクリートやブロックなどで固めるのはよくないのでは！出来れば自然なもの、石や土、草木などを使った工事が出来れば理想だと思います。そうしていかないと何も住めなくなります。たとえそれがどんなに小さな川でも！
36	河川工事など本当に必要な所なのか事なのか疑問に思う場所が多くあります。ダムに因る取水も下流に流れない水のせいで川が汚れていると思う。ダムのあり方をなんとかせにゃならないと思う。

37	河川に砂、石など工事の時に取りのけず残すこと
38	河川をきれいにする事
39	家庭排水、ごみなど投げ込まないこと。
40	家庭排水が垂れ流し状態なので、下水道や浄化槽の設置の義務化は絶対必要！
41	家庭排水の工夫
42	家庭排水やゴミを流さない。
43	家庭排水を河川に直接流さないよう、浄化してながすようにしてもらいたい。
44	家庭排水をなくす。
45	家庭用排水、畜産の汚水など川に流れ込まないようにするべきだと思う。
46	下流に堆積した砂利を上流に運びその砂利で川にたまったヘドロを洗い流すこと。
47	川、河原にゴミを捨てない
48	川石が少なく、砂利が止まらないから、魚が住めない。玉石を特にダムの下流に入れる事
49	川岸に生えるヨシや雑木等を切り払い、大雨の後に木々にかかっているビニールや発泡スチロール等を捨てないように心掛けること。
50	川砂利を増やして河川自体のろ過能力を高めること。河川に注ぐ排水対策、または、規制を厳格にすること。四万十川の水は全長160km余の流れの中で、上下左右、展開を繰り返し乍ら濾過されているのである。瀬となり、淵となり、表流水となり、伏流水となり幾重にも河口まで繰り返しながら、源遠長流を形成している。これを人工的に断っては絶対にいけない。許されることではない。
51	川砂利を増やす、砂利を採集しない
52	川に土砂の流出を少なくする為に自然林をふやしていく事。
53	川に農業用使用後のビニール等を流さない。ごみ等も流さない事。
54	川の一斉清掃を月一回行う
55	川のゴミ拾いなどをすればよいと思う。
56	川の清掃
57	河原の清掃(あしの除去等を含む) 漁業の一時中止。山林の整備等。
58	河原などきれいにする
59	川をゴミ捨て場にしない事、みんなが心がける事。
60	川を汚さない事
61	川をよごさないよう気をつけて物をすてない、一人一人が気をつける。
62	川をよごしてはいけないという意識を持つこと。生活排水を流さないようにする。
63	環境の改善に取り組む。住民の意識改革、啓発。地域ぐるみで、活動する。(クリーニング、他)
64	環境の変化を肌を感じていながら便利で省力的な現代の文明社会の生き方を身につけた現代人に物資のなかった、環境そのものを考える必要がなかった時代に帰る事は出来ないだろう。
65	基本ですが、ゴミを捨てない、マナーを守るでしょうか
66	行政と地域住民が一体となり環境保全に取り組む
67	行政も議会も住民も畜産農家も団体も四万十川のみずをきれいにする、清流を取り戻すという意識を皆な同じ方向を向いて取り組みをすすめないといけない。特に養豚場について一部であると思われるが汚水の垂れ流しの状態がみられる。この汚水については最終放流水であっても直接川に流しては川は汚染されるのでやってはいけないことである。この汚水も考え方によっては資源として利用できないか。今、有機農業に向けての取り組みが全国各地で行われている。この汚水も有機農業に必ず利用できるものとする。しかし、この汚水の中に養豚経営のなかで使用された薬品が入ってないかきちっと調べる必要はある。
68	漁業組合などももっと前に立って一斉清掃などもするべきだと思う。家地川ダムが有無に関わらず地域住民の意識の問題だと思う。
69	きれいな水が川一杯に流れる事。
70	近自然工法による河川の修復、水質保全のための流域山林護岸への広葉樹等の植林、管理
71	クリーン活動。マナーアップ活動(大人、親が示すこと)
72	下水道整備不足(窪川、十和、大野見) 大正地区は下水道はあるが使用している家庭が少ない。*25年以上家地川ダムの近くで住んでいたが今ほど水が汚くなかった。
73	下水道の整備
74	現在は川を利用している人は鮎の免許(久ぶの方)だけ。もっと子供が自由に遊ばせること。大人に成ってからアユを取った、コイを取ったと話合ふことが出来るから。現在の子供は川の話は無いと思う。

75	現状でいいと思います。四万十川を守っても、経済発展するわけではないので、私はさほどこだわりはありません。むしろ、後世の人達に生きていける環境を創造した方がいいと思います。つまり、働き場所があり、四万十町で生きていける環境を創ることが、一番大切だと思います。近い将来、人口の減少により、公共料金を引き上げせざるを得ない環境になった時(恐らくでしょう) 地方交付金等の減少により、それどころじゃなくなると思います。もっと、真剣に街の活性化に力を入れるべきだと思います。
76	工事の土砂を川に流さない。住民が川を守って行くという意識を持つ。川にものを捨てない。
77	荒廃した山林に対して間伐を実施し、山そのものの保水力を高めてはどうだろうか。また、護岸を過度にコンクリートで覆うのではなく、川に、砂が流入しやすいようにすることが河川を美しくするのではないかと考える。
78	荒野に保水力のある植林をする事と思います。
79	広葉樹を植える
80	個々に生活排水についてもかんがえなくてはならないと思う。
81	個々の努力
82	個人へ〜の方法で出来る環境改善への取り組みをしていきたいと思います。
83	個人個人のモラルを向上させていくことが大事だと思います。大人〜子供まで町全体で取り組んでいくべきだと思います。四万十川の中で生きている生き物etcがどれだけ大事か子供たちにわからせ、これ以上水が汚くならないよう努めて行かなくてはいいと思います。
84	個人の意識
85	ゴミ、土砂の違法投棄などをなくす
86	ゴミなどを捨てない。遊びに来てもちろんきれいに帰る。
87	ゴミのない川にしたい行政指導で町民全員で清掃活動を年に3回以上行ってもらいたい。現状を見ることで住民の意識が変わると思う。
88	ゴミの投げ捨てなど無くす取り組みをしなければならない
89	ゴミ拾いをするべきだと思います。あと、なるべく生活排水を流さないことだと思います。
90	ゴミを
91	ごみを川へ捨てないこと
92	ゴミを捨てな。
93	ゴミを捨てない
94	ゴミをすてない(ビニール、カン、ビンなど)少しは良くなると思います。
95	ゴミを捨てない。カンやビンを捨てない。
96	ゴミを減らす取り組みを一人一人がするべきだと思います。町全体として行うべきだと思います。特に、町内の住民意識を変えるべきだと思います。四万十町ではビニールをやめるとか、いろいろ方法はあると思います。
97	これ以上川を汚くしない様な努力。
98	これ以上汚さないでください
99	これ以上汚さない様に皆で努力しませんか。川に行った時川の石を10コ位ひっくりかえして下さい。
100	コンクリート護岸工事ではなく自然工法にする。川の手入れをして美しい川にする
101	コンクリートで固める工法以外の工法、自然石工法、自然林の育成、洗剤の改善、下肥の利用等
102	最後の清流といわれる四万十川、しかし近くを通るたびにガッカリした。行政はもちろん個々がもっと力を入れて清流にしていくなためにゴミ、汚水、エコ
103	最後の清流のイメージは全くない。地域住民のモラルアップを求めたい。年長の人ほどひどい。
104	雑木を育てる。環境モラルを大事にする。
105	砂防ダムを作らない。(撤去する)
106	産業排水、特に、畜産業で汚水を川に流しているようで上流から汚れているため、子や孫が昔のように川遊びもできない状態。畜産業の人は処理施設を義務づけてもらいたい。
107	産業排水、農業排水、生活排水、ビニールを流さない。
108	産業排水や生活排水の処理方法の見直し。
109	山林の荒廃と温暖化、家地川ダム
110	山林の整備(手入れ)生活用水(排水)浄化
111	山林の手入れ
112	山林の手入れ、景観を守ること
113	山林の手入れ、水路、河川のコンクリート部分を石垣等に変更していく事。

114	山林の手入れ、生活排水の浄化
115	山林の手入れ、生活排水の浄化、環境意識の向上
116	山林の手入れ。
117	山林の手入れ。ダム撤去。住民の環境モラルを向上し、生活排水などを考えるべきである！
118	山林の手入れ不足。転作(生姜)に伴う農薬により野鳥(モズ、ひよどり等)の減少。
119	山林の手入れをする
120	山林の保護
121	山林の保護、手入れ。
122	自然が基本であり、60年前とは水量も変わり、水力発電は自然水力発電に変わるべきだと思う。それが楽に生きる人の道だと思う。
123	自然なら、川、海の水の大切さを考えます。
124	自然のままに。人工的なことを控える。
125	自然林
126	自然林の保護
127	自然を壊さないようにする
128	自然を大切にする
129	自然をもっと大切にすること。
130	自分達で出来るエコを心掛け、地球温暖化をすませない小さい努力も必要だとも思います。人間ひとりでは大きなことはできないので・・
131	自分ひとりですること。例えば、絶対にゴミを捨てない、余計なゴミを作らない。国、国民全体で考えること。例えば、無駄なダムを作らない。又、台風や大雨で増水した後の川義士でのゴミ拾い。理由は、大雨の後のやぶなどへ、ビニールなどゴミが引っ掛かっているのを、拾えるところは処分していく。
132	四万十川とは離れた所にいるのでわかりかねますが、いつもきれいな川でありたい。
133	四万十川沿いの山や土地に草木を植える
134	四万十川でのキャンプ全面禁止。モラルが悪く、汚れの一因である。
135	四万十川と言えばアユが有名ですが少なくなりました。ふちおきをやめ、共づりをやって、客を増やして、四万十川の良さをアピールしたらどうでしょう。
136	四万十川本流だけでなく、つながる支流の整備や清掃も必要
137	四万十川を観光地として利用しない。
138	地元住民の意識を高める。(四万十川のある街に暮らしている、四万十川はみんなの財産だという事を)昔からそばにあると、そういう意識があまりないのでは？あたりまえにあると、大切さを忘れがちになると思う。
139	砂利をもっと川に流す
140	周辺住民のモラルアップ
141	住民が環境に対して意識を持つこと、自然に目を向けてほしい。
142	住民参加(ボランティア団体の育成ーボランティア団体による中心的活动展開)環境保全施策(特に間伐等人工林の手入れ)を積極的に推進すること。→依って、町行政の中にボランティアの育成、指導等を行うセクションをぜひとも設置し、活動を推進すべきである。
143	住民の意識、関心が必要
144	住民の意識改革
145	住民の意識の改革
146	住民の河川環境モラルの向上
147	住民の環境モラル向上
148	住民の環境モラルの意識向上
149	住民の環境問題の意識高める活動
150	住民のモラル
151	住民のモラルと思います。
152	住民一人一人の環境への取り組み 町民の総意が
153	住民一人ひとりの自覚が大切だと思います
154	住民一人ひとりのモラルだと思う。

155	浄水
156	植林の間伐を強化し、森林の保護。各河川のコンクリート化を廃止し河川の自然化をはかる。
157	植林の手入れ
158	支流の川の土手を一度見てください。農作物の不要な所を(にらのかれ葉など)そしてビニール等すてている。所の夜と家庭ごみもあり、これが四万十川に流れ込んでいる。まず住んでいる者のモラルを何とかするべし。
159	人工林、里山の手入れ。
160	人工林の手入れ、家庭排水の対策、昔と違って川に直接かかわる事が少なくなった今住民への啓発がまず第一
161	人工林の手入れ、広葉樹の植林
162	人工林の手入れ。できる限り、河川改修等をしない。
163	人工林の手入れと生活排水の改善
164	人工林の手入れと生活排水の改善
165	人工林の手入れをして落葉樹をふやす。川に少しでも石をもどす。
166	人工林伐採後、新たな植林はしない。畑地の流出をおさえる。
167	人工林を切った後は必要性がないかぎり雑木がはえる様にそのままおく
168	人工林を手入れし、山の保水力を強くすること
169	針葉樹林の造林が増え落ち葉の少ない森は保水力がなく降雨時に一気に流れ、川の水不足の要因にもなっていると思います。
170	水質が悪くなった一番の原因は生活排水だと思う。下水の整備を行うべき。
171	水質浄化
172	水質浄化の向上(窪川地区)川砂利の減少を防ぐ為砂防ダムの改良化
173	水質調査(調査場所も多くて)を定期的に行い水質浄化へ向けて住民の意識を高める
174	水量、汚れ、ともに気候の変化で雨によるものが大である。
175	水量が少しでも多くなるようにする、特に魚の産卵稚漁期。山林の黒土を流失しないようにする。
176	生活の排水等を川に流さないこと。自然のままの姿で保ちたい。住民の環境モラルの向上。
177	生活排水、産業排水を少なくする、浄化する工夫を徹底して行う。
178	生活排水、洗剤を流さない方法を考える
179	生活排水及び産業排水等の環境整備(支流も含む)家地川ダムの取水制限(水力発電との嫌いはありますが…)
180	生活排水で自然に変えるせっけん等を出来るだけ使用するようにする。山の間伐材を有効活用する。
181	生活排水などが川を汚しているのであれば地域の家は浄化槽を義務化し、行政はそれについて補助していくことが必要ではないでしょうか。
182	生活排水などにも気をつける
183	生活排水による水し地汚染等に対して、住民一人一人が問題意識を持って清流を取り戻す取り組みを考え実行すべき。
184	生活排水の改善
185	生活排水の改善(洗剤など)
186	生活排水の改良と荒廃山林の手入れ
187	生活排水の浄化、年2回のゴミ掃除
188	生活排水の浄化推進。産業排水の整備。
189	生活排水の制限をする。
190	生活排水の見直し
191	生活排水やゴミを川にすてない
192	生活排水や生活様式取り組み
193	生活排水を各自で気をつけて、洗剤などあまり流さないようにする。
194	生活排水を気をつける。ゴミを捨てない。
195	生活排水を直接流さないように。
196	生活排水を流さない様に下水関係を充実する。
197	生活排水をなるべく流さないこと
198	せめて一人ひとりが自分にできることからする。(川を汚さない、廃ポリなどを河川に捨てる人がいる。やめてほしい。)

199	増水時等にてできる川のゴミ(ビニールなど)を無くす事が良いのでは…。夏の川の匂いがヘドロの様な嫌なにおいがするのを何とかしたら良いと思います。
200	第一にゴミをすてない
201	大切にす
202	台風の後などビニールが木にかかったりするのでビニールなどゴミをすてないように
203	脱ダム、広葉樹の植林、コンクリート化を少なくする。
204	たっぷりの水を放流する。
205	ダム撤去し、本来の姿にすること
206	ダム撤去することにより流れを良くすること
207	ダムのすぐ撤去。
208	ダムの底にたまったヘドロなどの撤去や水量の確保など。
209	ダムの撤去
210	ダムの撤去
211	ダムの撤去
212	ダムの撤去、下水道の整備
213	ダムの撤去と山林の手入れに合わせ家庭排水等の改善に力を入れる。
214	ダムの廃止
215	ダムを撤去する事が一番いいだろうが水力電気必要だし
216	ダムをのける
217	ダムを廃止
218	ダムをやめ砂利を多く流す。
219	地域住民の環境モラルの向上、特に四万十川流域住民、ひとりひとりが川に対する意識を変えること、四万十川は命の川である。自分のこととして考えよう。(愛媛県も含めて) 四万十川を、訪れる人々も、マナーを守ってもらいたいこともある。
220	地域住民の四万十川に対する愛情
221	地域の住民が四万十川の環境をもっとより理解し、環境改善のためにそれぞれが意識をし、ゴミの問題や生活排水等を自然に害のないようにしたいと思う。無駄な伐採なども極力控えるべきだ。
222	地球を汚さないように。自然の良さは人生に長く大きな事を与えるだろう。
223	畜産の排水。
224	町民が一体となり清掃すればいいと思う。大人の人だけではなく、子供たちも参加させるべきだと思う。若者たちにも、協力させたら、少しでも川はきれいになると思う。
225	町民一人一人が四万十川を汚さない気持ちを持ち生活をする。
226	町民一人ひとりの環境保全意識(ポイ捨て等) 家庭排水、畜産農家に対する污水排水への行政指導等含め対応施設整備
227	町名にした以上、きれいな四万十川を保てるよう、ひとりひとりが認識しなければいけないと思う。
228	津賀ダム、家地川ダムの撤去
229	使った後の始末を外は分かりません
230	手入れが必要だと思うけれど、一人ひとりが気をつけて川をきれいにしたいと思う。
231	問11であげた原因をなんとかしたいと思う。
232	特に地域を限定して不必要な砂防ダムの撤去を実行して、その結果、砂利や水生昆虫水質などの変化を調査してみる。(近自然工法の専門家に相談してみる)
233	とりあえず家地川ダムを撤去し、本流に水を戻してもらいたい。
234	何をするにも後々のことを肝がんで事業を行うことが必要ではないか。特にわからない。
235	何をするべきではなく、何をしてきたかを検証すべきです。
236	農業用水路も含めて四万十川沿いの住民のモラルを高める。汚さない気持ちがないと駄目だと思います。
237	農業用ナイロン等が台風時には眼につく。個人個人がもう少し責任を持ってもらいたい。
238	農薬を減らす。洗剤を減らす。
239	排水にものを流さない。ゴミを捨てない。来るまで四万十川沿いを通る時レジ袋などがいるところにひっかかっている。
240	排水の改善。

241	排水をきれいにしてほしい
242	発泡スチロール、ビニール製品、カン、ビン等を川に不法投棄するものが多いのに将来の四万十川の汚染を危惧するので、こうした永久的に残る人工の塵芥を放置しない対策を考えて行くことが必要と思う。
243	人、それぞれが気のつくことをしていく。
244	一人一人」が四万十川に対して意識をもつこと
245	一人ひとりが汚水を流したり、ゴミを捨てたりしないように気をつける。
246	一人ひとりがその家々の台所から汚れたものを出さないように気をつける。
247	一人ひとりが水に対する考え方を正すこと
248	一人ひとり川に対して関心を持つ事です。
249	一人一人できることに取り組むこと(生活排水の改善)
250	一人ひとりの意識に問題、モラル改革
251	一人一人の気配り
252	一人ひとりの心がけ、生活排水など指導してはどうですか
253	ポイ捨てやゴミをださないように気をつける
254	保水できる森林・生活排水の整備
255	保水量が多い、あさぎ山を多くする。
256	保水力のなくなった山林の手入れ。生活排水の浄化。砂防ダムの切り下げ(砂利がなくなり、浄化作用がなくなった)
257	毎年町民で年に何回か掃除等心がけて町全体からきれいにしていく事
258	まず山林の手入れ、人工林を最小限にすべき。為には里山に助成すべきである。
259	まずは生活排水を止める事からだと思います。
260	水際の草や竹など、汚く見えるのもう少し手入れした方が良くと思う。
261	水をよごさずにきれいに保ち、生活排水を直接流さないようにしたい
262	皆でよく考えてみれば答えは目の前にある。
263	みんなで川を守る運動をする。
264	みんなで環境保全に役立ちたい。
265	皆できれいに
266	みんなで大切にしていかなければならない。
267	みんなの意識を高める。洗剤も環境に配慮したものを町内のスーパーでも売る。四万十ドラマの情報誌”RIVER”を全戸配布する。
268	昔(30年位)前の姿に戻したく、石を動かし、水量を増やす
269	昔の川にもどす
270	むづかしいですが一人一人の川を汚さないという気持ち(決心) 実行が無い限り昔のようにはならないと思う。
271	もっと、もっと合併浄化槽の普及、農業、産業用の廃棄物の適正処理の徹底をする。
272	モラル低下を防ぎ向上すべき。
273	山の手入れ、生活排水や生活様式の見直し
274	山を豊かに針葉樹を少なく、広葉樹をもっとふやして保水力のある山にすれば四万十川は水量の多い美しい川になると思います。
275	汚さない。皆、一人ひとり自覚する事が第一だと思いますが、畜産関係の汚染が大だと考えます。個人では、なかなか注意する事は難しく、役所に言えば揉み消されてしまうと聞いたこともあります。何とかならないものなのでしょうか？
276	汚れた生活排水、産業廃水を流すものを調べ、行政指導を行う事。罰則も設けよ。
277	落葉樹の植林と人工林の手入れ
278	流域全体で人工林の手入れに取り組むこと。(雇用の場、産業の場となる様な仕掛け作り)
279	分からない

2. 家地川ダム廃止を要望する自由意見【問21-1】

有効回答者数：63票

通番	問21-1 家地川ダム廃止を要望する自由意見 (問21で「1」を回答した方)
1	「流域面積」は当然四万十川へのものであり「分水の必要性」という文言そのものがおかしい。全く分水の必要なし
2	「水力発電＝(イコール)環境に優しい」という前提で四万十川をつぶしている。『最後の清流』といっているが水量も少なく、鮎も臭い。家地川堰堤を廃止してきれいな四万十川を取り戻したい。
3	1、太陽光や風車等、新エネルギーにすること。2、四万十川流域住民の不同意で分水、伊与木川への分水不要。
4	60年前は清き流れの四万十川と言う校歌もあり子供達でも多くの魚がとれました。現在は、雨で川の水が増し雨がやんだら川は水が少なくガラガラとなり、岩や小石にあまり良くない水あかがついている。
5	家地川ダムがなくても電力量は十分有るはず。
6	家地川ダム位の発電量は時期的に区分すべき。魚の産卵期以降全量ながす事。
7	家地川ダムによる電力量がよく分からない。しまんとがわを守るためなら、電力はほかの手段を考えるべきだと思う。伊与木川への分水で利益を受ける状況がよくわからない。
8	伊与木川に分水は間違いであった。
9	伊与木川の文水も重要な事とは思いますが、まず、四万十川がきれいで、水量もある程度確保できることが必要なのでは？
10	伊与木川はダムで分水される前も、流域の人達は、田んぼ等作られていたのでしょうし、あの細い川に満々と水がながれているのはかえって不自然だと思います。
11	伊与木川への分水については必要なし。四万十川にはメリットはない。
12	伊与木川への分水に伴うエネルギー源は別途で考える。
13	伊与木川への分水になっている現状は旧佐賀町を利するばかりである。農業用水となり、港湾内の水の新陳代謝をはかり、湾内で養殖までできている。小さいが天然の良港であり、旧建設省の3種港湾にもしていされているのではない。下流域、私達は天然の水を取水され、川は涸れ、漁獲資源の枯渇を招いていることを問題点として顕著にして貰いたい。
14	伊与木川への分水により、流域住民が負を受けることが無いようにしてほしい。伊与木川も、分水しなくても水量は十分あるのでは。町(四万十町)独自調査を実施してはどうか。(県、電力等は別として合同で調査するのではなく)
15	伊与木川への分水によりどれだけの電力が供給されているか住民には、理解できていないと思う。もっと他の方法があると思う。
16	伊予木川への分水は必要ですか？
17	伊与木川への分水は必要と思います。分水のみにして家地川ダムは撤去すべきだと思います。
18	伊与木川へ分水が必要だとは思っていません。特に今年の様な水の少ない、汚い川、広い砂場には青々と雑草の茂っている四万十川は高知県の誇る川ではありません。みじめな限りです。
19	伊与木川へ分水しなくても十分確保できると思う。
20	伊与木川へ分水しなくとも、井戸、田の水は伊与木川で十分まかなえる量が有ると思う。水が十分ないと言うなら、一年間分水を止めてみる事。一年間で長ければ、6～8月の間。
21	伊与木川を通る時、いつも水量が多く、四万十川の水量の少なさと比較してしまう。水力発電が必要かもわからないが、分水が必要だろうか？
22	伊与木川を見ていると、四万十川より水量が少なく、少しは分水してあげてはと思うが、内容があまり分からないので、勉強してからですね。
23	エネルギー(発電)の供給は、自然エネルギー等を上手に組み合わせて利用する方向に変えていくべき。分水が必要=ダムが必要とは思わない。
24	エネルギーの確保については、ほかにも方法があると思うし、何より四万十川の環境を守るべきだと思う。冬の四万十川の水量には危機感を覚えます。分水するほどの水はないと思う。
25	エネルギーの確保は太陽光や風力発電等より得ることにして、四万十川の環境を守るためにはダムは廃止すべきである。
26	エネルギーのために、ダムでなく別の物を考える必要があると思う。ダム維持のための経費で他の方法でエネルギーをつくる事はできないだろうかと思う。伊与木川への分水については黒潮町にとって現在どのくらい有益なのか調査する必要があると思う。
27	エネルギーの問題については、今や原子力(危険ではあるが)、太陽エネルギー、風力発電の時代である。
28	エネルギーは、今、風力、原子力、太陽光発電があり、水力に頼る必要性は感じられない。それよりダムの撤去を行い、水質向上を図るべきと考える。

29	各家庭でのソーラー発電を。その為にも町自体が各家庭へのソーラーパネル購入の補助をしてほしい。もとい、各家庭へソーラーを町が全額出して、町全体で電力を売る事はできないか。こういう取り組みをすることで町が発展し、全国でも有名になるのでは。別の収入もあるのでは、
30	環境に影響の少ない小水力発電を研究し推進してもらいたい
31	期節の大水（河川）のみ発電行い、以外すべて元川に戻す。旧佐賀町が反対ならばすべて廃止し、昔の渡り川にして下さい。
32	黒潮町を流れる支流ほうが本流よりも水量が多いのは問題なのではないだろうか、水量が少ないから、河原に低木やツルヨシが繁茂する状態となっているのではないか。四万十川という日本の財産を守るためには、発電よりも景観を重視する必要がある。美しい川の流れを維持することが観光収入の増加にもつながる。その増加した税収を用いて発電方法を検討すれば良いのではないか。
33	今後は各家庭での太陽光発電が普及すると思う。
34	最近水量すくないのに分水すると魚に関係する
35	四国電力も伊方の原子力発電等で十分の電力は有ると思う。農業用の水は多少伊与木川に流しても良いが発電用はいらない。
36	四万十川の水は四万十川にもどすべきである。
37	四万十川は涸れ果て伊与木川は満面の水をたたえている。
38	四万十町の財産である四万十川を水量の多い以前の川に戻し、美しい清流四万十川に。
39	四万十川が汚れ、魅力を無くしてしまえば観光客の減少につながる。また、流域の子供たちが川で遊ぶ機会が減れば、ますます川に関心がなくなり、環境の悪化につながる。まず、川の環境を一番に考え、エネルギーの問題は別のものとしてかんがえるべきだと思う。
40	四万十川の自然をいつまでもきれいに残す為に家地川ダムはいらない、必要ない。
41	四万十川の水を伊与木川へ、絶対ダメ！
42	四万十川も下流の水の必要のため
43	四万十川を後世に残す為にエネルギー問題は別！！分水については、黒潮町が新たな方法を考える。
44	従来の右肩あがりの経済構造ではなくなった近日においてはその存在の意味はなくなった様に思う。ましてや、取水した水が二度と四万十川に戻らない様な不自然な事柄は今後は通用しないと思う。
45	条件付きで存続を行っているが効果が見えない。早い段階で結果の見える方法を取らないと四万十川がだめになる。
46	水量の減少で家地川から下が水が汚い。
47	水力発電以外の方法で発電してもらいたい。伊与木川への分水をやめた場合、四万十川の水量がかなり戻ると思う。
48	水力発電はもはや時代遅れで自然を破壊している新エネルギー時代であります。
49	水力発電への代替エネルギー資源が可能ならば分水を止めた方が良い。
50	世界的にエネルギー問題は数十年前から論議されている。いまだにダム問題でもめている。行政の指導力に期待する。
51	大正、昭和、十川、旧窪川町を出れば、四万十川には水が少なく、夏になれば、が瘠う、その他の観光客が四万十を見に来て、水が少ないとの声を多く聞く。これが四万十川ですか？との声が多い。
52	ダムを造る前の状態に戻すことが、四万十川を本当の清流といえる川になると思います。ダムを造る前は伊与木川へは流れていなかったのでは仕方ないと思います。
53	何故、分水を始めたのか？釈然としない。分水の前に説明はあったのか？ダムが取り壊されると、以前の川に戻るのではないのでしょうか。
54	日本の清流で四万十川は日本の財産であり分水はしてはならない。
55	平成16年の基本方針を無視することはおかしい。しかもその後、3年のち総合計画を打ち出すのがわからない。撤廃することが、四万十川を守る重要な施策だ。
56	勉強不足でしたので具体的な意見は出ませんがこれをきっかけに勉強して町民がもっともっと意見を出し合えるようになったらと思いました。
57	水は四万十川に戻すこと。
58	やはり本流の水は本流へを守りたい。伊予木川への分水は今さら止める事はできないと思うが、発電は必要ないと思う。風力発電などで代替できるのでは。
59	四万十川の水は四万十川へ返すべき。
60	四万十川の水を伊予木川へ分水することに反対。四万十川の水は四万十川へ

61	四万十と発電について考えた場合発電に関わる分水が他の川へ移行することの不自然さをどうしても考えてしまう。佐賀地区の方の意見も十分わかるが、ほかの利水方法でも水源は確保できると思う。また発電についても現在の川をせきとめてという方法ではなくコストがある程度かかっても自然エネルギーを利用する方向にかんがえてもらいたい。
62	伊与木川への分水が佐賀の農業等に役立っていることもあるようだがそれはため池等他の方策により解決できると思う。エネルギー問題に対してはダムは別にして県下全域を見渡し太陽光や風力発電ができる適当な場所をみつけてやればいいと思う。
63	家地川ダムを廃止しない場合は四万十の下流に発電所を作ること。
通番	その他意見 (問21で「1」以外を回答した方)
1	佐賀町の農業者のために水は大切に流して
2	少々はしかたない。水の多い時期に分水するなど考える
3	分水は反対、四万十川に戻るようにする。
4	水は四万十川に流してもらほうが良い。

3. 家地川ダム条件付の存続を要望する自由意見【問21-2】

有効回答者数：81票

通番	問21-2 家地川ダム条件付の存続を要望する自由意見(問21で「2」を回答した方)
1	①アユの遡上を阻害する要因を徹底的に解消し、対策を講ずること。②放流量をさらに増やす工夫が必要ではないか。
2	①地域で可能な電力確保(水力発電)は最低限推進すべきだ。②母なる川は、生物はもとより人間生活に欠かすことのできないものである。-森林の整備等で水量の増加も図り、環境とエネルギーの確保を共存させるべき。
3	家地川ダムの水量をすべて伊与木川へ流さず環境問題を考えると何パーセントか下流に流し川の水をからさずにすべき。
4	家地川ダムはすでに四万十川の景観として一つの美力を持っており、撤去することは四万十町にとって大きな損失になるおそれがある。水の汚れが目立つのはダムとは関係なく水量の少なさも外に原因があると思う。
5	一定の水量の確保が川として重要であるので優先し後で電力への分水とする
6	一定の水を下流へ流す
7	今現在、家地川ダムの水力発電が必要な地域があるのであれば存続していかなければならないだろうけど、水力発電以外のエネルギーを作る為の努力をしていけば水力発電だけにたよらなくてもいいので共存していけるのではないだろうか。
8	伊予木川への分水のみならず、総体的に見て対策を講ずべきだ①行政②住民③JA④漁連が協力を!
9	伊与木川への分水はおかしい。使った水は四万十川へ戻すべきだと思います。
10	お互いが共存共栄の道を選ぶべき
11	限られた環境保全の中で、これがベストと言う方向性は現時点ではいいきれない。もっと地域住民の多くの方々の意見を十分に吸い上げて、時間をかけながら最良の結論を出されるよう願っています。
12	河川維持放水量の増加
13	家庭からの排水、産業排水から改善するための支援をお願いできませんか。町内全域の川の汚染状態を明確にして、公表し、自分達が川を汚していることを自覚する。実際、私も生活排水でどのくらい川を汚しているのか考えることがあまりない。
14	家庭での電力発電(ソーラー)などに、補助などしてエネルギーをクリーンに地球にやさしく考えていくのがいいと思います。
15	川は雨が降ると保水されることもなく、道の舗装を流れ護岸工事された谷や川を一気に増水、そして、すぐ水量が少なくなる。昔は山に保水力もあり、水田で濾過され、きれいで豊かな水の流れだった。今は環境保全、たいせつなことなのに、なにをどうすべきかと、なにができるかと。保水力のある山、緑の自然、大切にすることより、科学的にできることがあるだろうか?
16	環境重視ですが今の四万十は、全国的なイメージからは、かなり遠いものがあると思います。
17	環境に適した構造に改良するなど、自然にやさしいダムのようなかたちで存続していけばどうだろうか?
18	環境保全することによって川も美しくなり代々残すべきもので水害になっても保全された川があつてこそ災害が少なくなるのではないかと思っています。
19	環境保全も大切ですが、生活上、電力の確保も大切だと思います。
20	環境もエネルギーも今の自分たちの生活には欠かせない大切なものです。水量が少なくなっているのはダムのせいではないだろうと思うし、ダムが有効に使われているのならば、共存できる方向で考えてみてはどうでしょう。
21	環境問題は以前よりだいぶよくなったと思うが? 今後は各集落で方向性等の話し合う場、作りが必要と思う。
22	環境を大切に、エネルギーを活用することを第一にすべきだと思う。エネルギーが供給されていても、四万十川の自然や環境、見た目が悪いのではムダエネルギーではないのか。
23	黒潮町側への分水問題も同時に問われるべきでは
24	下水処理の設備を充実させてほしい。
25	高校時代から感じていた事です、津賀発電所から下流の水の色が常に「にごって」いる事を記憶しています。これを何とかできないものか。莫大な費用はかかるでしょうが、浄化装置など考えると。
26	合成洗剤を含んだ生活排水、化学農薬を含んだ農業排水が流れ込まない様、下水道の整備と、化学合成洗剤、農薬の使用量を減らしてほしい。
27	荒廃山林の手入れを施し、山林の保水力を高める(水量の維持)合併浄化槽の推進(水質保全)
28	山間部荒廃がいわれて久しいですが、作業員の高齢化や人員不足をなんとか出来れば国が林業にもっと力を入れていただきたい。

29	山林の手入れ。放流量の増加。
30	山林の手入れ不足により土砂等の流入が多く川の機能が少なくなった。
31	四万十川の水は四万十川に流れるようになればいい。
32	四万十川は守らなければならないし、電力さんより受けている恩恵もあったりすると思います。その点を考慮しなければならぬと思いますが、どうすればよいのかは難しいですね。
33	四万十川への流水をもっと多くすべき
34	四万十川も昔のような水量はなくなってしまい鮎の姿もほとんど見る事も出来なくなってきました。でもやっぱりエネルギーは大事だしどちらとも判断はむづかしいです。
35	四万十谷にならないように
36	四万十町にはこれといった人間の心やいやし処がありません。春夏秋冬とはいいいませんが、春の花のころには、人々の心のいやし場所として水辺の里としてぜひとも今のままの風景をとっておきたいと願います。
37	条件付きの存続
38	植林の下草の手入れなどで(間伐等も)保水力を保つことなど必要。植林の手入れはすぐにするべき。
39	新エネルギーは良い事です但場所的にも大変。山ばかりで考えが付きませんが家地川ダムも大切にしたいと思います。
40	水量が少なくなっていると思います。ヘドロがたまっているように見えます。石も白くなっているようにみえます。四万十川がシンボルとはなかなか言えないのではないのでしょうか。
41	水量の調節をしながら放流の必要性がある。
42	水力エネルギーが必要であればダム反対する方はアユの事が一番だとおもいます。電力の方にアユを放流してもらうようにすれば、魚に関心の方はアユ、カニ、うなぎを取れるようにすれば
43	水力エネルギーの電力確保だけにたよらず。風力エネルギーの電力確保カバー
44	すみません、むづかしい事はよく分からないのですが、家地川ダムが、損得抜きに生活に必要なならば、今までどうりでない困る人達もいるのでは？
45	生活雑排水の浄化(住民意識の向上が必要)
46	全国的なシンボルとして名前だけでなく本当に美しい清流であってほしい。
47	全国的に有名な『日本最後の清流』四万十川を守って行くのが地域住民の使命と考えます。生活の改善(クリーンな生活の改善(クリーンな生活スタイル)、更に生活のゴミ(排水)の整備等、環境意識を高めるためのフォーラム実施。
48	専門的なことは解りませんので、この分野に精通している方々をお願いいたします。
49	太陽光と風力と水で電力をうまく供給できたらいいと思う。日当たりのいい場所にはソーラーで、風の強い場所には風車を置いたらどうかなあ？
50	太陽光発電の設備をもっと気軽に取り入れる事ができるようにし電力を確保する。伊与木川への分水はもっとへす。
51	太陽光発電を増やしまず代替えのエネルギー確保が必要と思われるので町としても補助金の増額を検討してほしい。
52	ダム撤去とゆうのは今の場合現実的でない。今まで以上に放流量を増やしてもらうしか手が無い。四電は放流量を確保すると言いつつ現実はどうであろうか。伊与木川を流れる水を見つみるに、四万十川本流に流れたらと思うと、暗然とした気持ちになるのは、私だけであろうか。
53	ダムのある方が下の水がきれい。一年のうちに5、6回は見に行く。
54	ダムの下流数キロ、とにかく、川がやせて、魚の住みかがありません。よって玉石、砂利を入れる事が良いと思います。
55	ダムを撤去するとすれば、野地、家地川の地下水に大きな影響があると思うので、配慮が必要であると思う。
56	地域住民の歩み寄り、地域とともに、家地川ダムとともに生活をしてきた者にとって必要であり、ダム下流の住民への説明を必要。撤去した場合のシミュレーションを検討すべきである。
57	地域電力エネルギーを考えれば今日まで賭ってきたことは非常に重要だと思ふし歴史的価値を有していると思ふ。今後においては下流域の生態系を優先しつつ共存すべき
58	地球温暖化が進む中で水力発電は地球にはやさしいと思う。電気は使いたいダムはのけよでは言っている事がおかしい、そうかといって皆の家庭がソーラーパネルを取り付けるのも金銭的には無理だと思う。火力はコスト高(温暖化) 原発はあぶないからダメと言うのでは自分には理解できない。

59	電気エネルギーが大切であるが家地川ダム発電能力いかがか？能力次第では検討する所あり。日本一きたない川になるかも。
60	電力の確保は重要であり、水力発電もやむなしと考えますが、水量（四万十川）の減少しないよう放水量の調整は続いて実施してほしいです。
61	特に何がという事はないのですが、前にある方が大雨が降ると川が増水し田畑がつかるのは、ダムのせいだと言われた方がいました。私の田も川沿いにあり毎年大雨が降るとびドキドキします。それにある程度までためていっきに放流したせいでダムの上流だけでなく下流の人達にも大きな被害や影響をあたえているのも事実ですが、自分達には必要な電力を供給してくれているのも事実で、難しい事ですが何か手立てはないのかなと思います。
62	長い年月にわたり、伊与木川に分水した経緯があり、伊与木川住民の水問題も重要である
63	何事も前向きに
64	人間の判断か、正しい理由、納得のいかない理由で作ったダムが、何十年たち、電力の確保を頼っている佐賀町（黒潮町）にとっては、昨日、今日出来たばかりのダムではなく、現に生活に必要なものになっている。それに関係のない四万十川流域の住民は、環境にとってデメリットの多いダムを「撤去」したいと思う考えは当然であり、必然である。だが、人間が自分たちのことだけを思い作ったものを、人間の不都合で今更撤去しようと思うのは、それも正しい判断とは思わない。ダムを撤去して、自然にはこう影響かもしれないが、住民の中には困ったりする人たちもいるわけだ。私自身は、四万十川が大好きで昔のダムが無い風景、環境に戻ってほしいです。だが、撤去することによって、困る人達のことを考えると、自然とダムとの共存を図る所が現時点でよい、それしか考えられないと思います。
65	半分ダムを撤去し発電に在るだけに小さくしたい。
66	風力発電、太陽光発電を次第に取り入れてはどうか
67	二つを求めることは不可能かもしれませんが、水力による電力が必要なのであれば、環境保全できるエネルギーをダム以外で作れる方法で探ることがひとつの道かもしれません。
68	放流量の増加をはかり河川環境の変化を監視し、ダム下流域住民に何が有益か、もう少し検討しては！ダム撤去ありきではないのでは！
69	他のエネルギー源（太陽とか）を利用して、水力分を減らす。水の少ない時期には放流すればいいと思います。
70	本来川というのは上流へ自然に流れのあるのが自然の姿だと考えます。発電に使った水を伊予木川へ流さなくてはいけないのは問題なんですけど当面は現状で仕方ないのではと思います。今後少しずつダム撤去の方向に向けてほしいと思います。
71	本流、支流、その他の流域において各々生活様式が異なるが、各々の共通点を模索するべきであると思う。
72	昔より水量は増えたもののその汚れた水を、浄化できるだけの「川」の力が無い。単に水量の問題では無い。
73	難しいことは解らないが、電力は欠かせないものですが、原子力発電は嫌です。
74	木質ペレットやバイオマスの普及
75	梶原川沿いに住んでいますが、シジミの生息、うなぎの生息する場所がなくなっている事を痛感します。四万十川の支流、上流の環境保全は大切だと思います。四万十川環境保全計画が下流の漁業関係者のためだけになっていないのかと考えます。（十分理解ができない事もあると思いますが、素人で考えると）
76	四電の利益の一部を環境保全に
77	四万十川の環境を守る為には廃止すべき
78	四万十川の水量が一年を通して少なくなり、石や岩にヘドロ状のものが、こびりついている、これでは川に魚などが住めなくなっていくのでは、もう少し本流へ水量をふやす事を考えていくべきでは。
79	四万十川は四万十町だけのものでは有りません。皆で大切に使うってはどうでしょうか
80	両町ともに答えは有ると思うが、たがいに話を聞き、よりよい方向に向かっていくべきであり、片方地域だけの考えではいけない。両町の話し合いを重ねること。
81	若い人達で考えて。
通番	その他意見（問21で「2」以外を回答した方）
1	今までどおり守って頂いた方が川に近い私たちは台風とか水が増水した時消防とか青年たちが守ってくださるので安心して暮らすことが出来ますが、そうでなければ安心して暮らす事が出来ません。不安です。よろしく。河の近くでない方にはこの気持ちはわかってもらえないかもわかりません？
2	近年、温暖化による気温上昇に伴い水温が高くなり（真夏）には30度近になると鮎の生態にも変化が見られるので放流量の増加望まれる

4. 自由意見

回答者数：190 票

通番	自由記述
1	◎豊かな川、美しい川、清流四万十川を未来の子供たちに◎エネルギー問題を決しておろそかにするものではないが、残された自然を守り育てることも大事です。流域に住む私たち自身も細く、日々たゆみない努力をする事も大事です。農業と林業で何とか生きていますものですが、山の手入れ、針葉樹と広葉樹の混植、農薬や肥料を多く使わないことも大事。◎ほかの水系に流す家地川ダムは最も深いダムである。(天は二物を与えず)という。流域民から「宝の水」を取られたらなおかいわんやである。◎河川管理や、地方自治を預かる方々、どうか高度で適正な判断を下して欲しい。
2	10年位以前に比べ四万十川の水も川辺の景色もずいぶん良くなっていると感じています。川辺の木々に以前はビニール袋等が引っ掛かっていたけれど今はほとんど見られない
3	13年長くないのでわからない
4	①ダム下流の環境保全のためには合意できる可能な限りの放流量の増加が望ましい。②一方、発電量の減少に対しては、四電の協力のもと国費の導入により、海岸線(興津、志和)で風力発電を導入することを考えることはできないか。⇒水利権の更新期間を河川法どうり20年にし、①森林整備②風力発電の導入等の施策(財源の確保)の展開を条件とし、具体的な実施を確保すべきである。
5	30年前に比べて2/3位になった水量に驚いています。腰近くまであった所が足首ちょっと上までしかなくなっているのには驚きました。水質も悪くなっているみたいです。上流や周りの山林の手入れが大事だと思います。鮎やウナギもずいぶん少なくなったという話をよく聞きます。このままでは名前だけの四万十川になるのではと心配しています。
6	CO2の問題で水力発電は必要であるが放水量をふやし四万十川の環境保全と両立するように話し合いをすることをのぞむ。
7	1ターンでここへ来ていて、昔の四万十を知りませんが、近所の年輩の方はみんな昔はもっと水もあってあゆもいてキレイだったと言います。そのころの映像や写真などがあれば、みてみたいと思います。みんなの意識も高まるんじゃないのかな
8	新しい自然エネルギー導入に補助し、ダムエネルギー相当量を確保できるようにになればダム撤去の方向を協議する。
9	あまり協力できている答えは書いていないようで申しわけないです。ただ私個人の思いですが両親や部落のかたの今までの生活を若輩者の自分から見た印象では、四万十川のある生活はあたり前で昔を知っているから今の川の様子を嘆いている背中には少し寂しそうです。どの地域の方も四万十川があってあたり前の生活だという方なら皆さん四万十川が好きなハズですから、良い話し合いが出てきて結論ができればいいなと思っています。
10	家地川堰堤を廃止して、きれいな四万十川を取り戻しましょう。四万十町を「名乗っているのに、最後の清流とかいっているのに、県外の観光客の「がっかりした」「これが最後の清流って……。どこが清流なの？」という声が行政に届き、四万十町の自然の代表である四万十川を鮎はねる、本来の清流に戻るよう、行政は尽力すること。
11	家地川ダム ステキな風景をいつまでも残してほしい。
12	家地川ダム、津賀ダム、撤去。火力及び原子力に頼る時代
13	家地川ダム、津賀ダムの撤去。河川の環境の保全、川の恵みを取り戻すように。
14	家地川ダムが町に及ぼすエネルギーの割合がわからないのですが、その割合に因っても変わってくると思います。他のエネルギーで充分生活できるエネルギーがあるのでしたら、特にダムは必要ないかと思っています。そこまでの重要性がないダムであれば廃止して、きれいな四万十川を保てるよう、力をそそいだ方がいいと思います。
15	家地川ダム計画が出たとき、ダム下流の大正、十和、西土佐、認可があったかどうか知りたいものです。
16	家地川ダムだけでなく、津賀ダムの撤去まで出ていることは知りませんでした。ダムのない時に父母が大変な思いをしたことを聞いています(道まで大水で)ダム撤去により地元や下流の家々への浸水の被害等、心配ない事なのでしょうか。安全への確保、電力の確保はできるのでしょうか。原子力発電は絶対に反対です。太陽光発電に於いても収入のない家庭にも平等に押し付けられる様では(個人の負担が強いられる様なやり方)生活そのものが維持できません。
17	家地川ダムでの、水力エネルギーがどれだけの量を作りだし、私たちの生活に影響しているのか、勉強不足で解りませんが、環境面で、放流量が十分かは疑問です。あまりに川としてみずばらしい時があります。本当に生活に必要なダムなのか、わかり易く説明を受けたいと思いました。風力なり、太陽光なり、もしも、四万十町でダムに代わるエネルギーを確保するためにはどれだけの規模で、どこに作れるか、考えてもらえたら、参考になってうれしいです。

18	家地川ダムには関係ないけど、このアンケートを借りて、台地祭りの実行委員会の方に物申す。今年の台地祭りは、四万十町活性化のためにしたんでしょうか？旧窪川町は普段から観光するところが無いにもかかわらず、年一回の台地祭りさえ、緑林公園、本町、農協と場所が点々として年寄りや米米フェスタになかなかいけず、シャトルバスもほとんどガラすき、益の横の駐車場もガラすき、本町商店街も人が来ない。何のために台地祭りをしているのか、毎年思う。町の活性化を願うなら、もう少し、町に人が出るようなところで米米フェスタもするべきではないだろうか。米米フェスタの前売り券を高知の人達に売って、バスで送迎に、地元の人たち（一般の人）は入れない。これでいいのだろうか。来年は農協は仕方ないとしても、その他の催しは近くに固めてほしい。鳴子踊りも、車で年寄りが見ようと待っていても、駅前には休憩場所になっていて見えない。通行止めになっているのに、どうして駅前ではおどらないのだろう。来年は、休憩場所を変えるように願いたい。来年こそは四万十町の方たちが不満を言わないようにお願いします。
19	家地川ダムには堰堤添にある桜など景観も素晴らしい面もあり、個人的思い出も等もあるのですが、四万十川を塞ぎ止めているという動かしようのない事実は、環境面から見ると疑問の声が上がるのは当然だと思います。環境とエネルギー確保のバランスは、これからの最重要テーマですが、環境を取るかエネルギーを取るかどちらにしろ、代償を払う事には変わりありませんが、我々の次の世代の事を考えた選択を選びたいものですね。
20	家地川ダムの取水量を現状維持しつつ、太陽光エネルギーを最大活用すべきと思う。各家庭での太陽光パネルによる発電設備への大幅な補助金導入等。
21	家地川ダムの為最近では上流に鮎がなくなり、昔は上流にも鮎が沢山きて鮎取りをたのしんだことでしたが最近では放流鮎で昔のようなたのしみがなくなり残念です。
22	家地川ダムのため四万十川というより岩川でしょう、見るたびに水のない川原のように見てかなしいです。舟も行きかう四万十川にしてほしいものです。考えるべきではないでしょうか。
23	家地川ダムの発電量で四万十町の世帯をまかなえるのであれば必要だと思いますが、そうでなければ風力、太陽光発電などの設備投資にあてるのが良いと思います。ダム＝ムダにならなければいいけど
24	家地川ダムの放流量が増えた。その後がどうなのかを知りたい。川の水量が増えているのであれば、P5問21は②に○が出来るのではないかと思います。
25	家地川ダムは、生活のため必要だから造られたんだと思います。環境を大切を守りながらよりよい生活が出来ればよいと思います。
26	家地川ダムは一生あった方がいいと思う。撤去すれば我々の税金が使われると思う。ムダな税金が使われるぐらいならば、撤去はやめて、家地川は観光名所にすればいい。春には、桜が咲いて人々が集まり、花見したりする人が多いから、ダムはあったほうがいいと思う。
27	家地川ダムは小学校1年の時に始めて遠足に行ったことを覚えています。あれから何十年とたちましたが今でもあの時のままでかわりません。子供の時に見た景色がいつまでもかわらずその場所にあるそれはとてもうれしい事です。これからも変わらずに残ってほしいと思います。四万十川の名を町名にもらいいつまでも自慢できる川であってほしい。
28	家地川ダムは少し雨が降ればすぐに増水し放水する。ふだんは水量がない。とくに家地川ダムは町外に放流をしている撤去することを望む。撤去はむずかしい事でしょう。
29	家地川ダムは撤去可能だと思う。
30	家地川ダムは分水していることが問題。いろいろな要因で水量が少なくなっている現在まず第一に分水を止めることが、地域住民の望むところです。ダムに変わる発電は電力会社も大々的に取組みを始めた太陽光発電が高知県には望ましいのでは山、家庭排水、河川工事、等の問題も同時に対策をしていかなければいけないと思います。
31	家地川ダムを撤去せずに伊与木川へ流れる水を四万十川へ流すようには出来ないものか。ダムを撤去するにもお金がかかると思う。壊さずになんとかできれば余分なお金もかからないと思う。
32	家の下の方の川の汚れはほんとうにすごい。もう少し下の方は相去川、打井川の合流があり、これほどではないと思いますが。水力エネルギーの必要性もあり、むずかしい問題点がありますが、この汚れがダム内に溜まった泥だとすれば、何かいい方法がないものでしょうか。
33	家を建てる場合には必ず太陽発電、浄化槽の設備をする。(町、県、国等の補助も必要)などもっと国、県、町の規模でしまとがわを考えるべき。“最後の清流”と何人の人が思っているのでしょうか？マスコミでいわれて久しいですが、石は白化し、鮎もやせて全くおいしくないし、ツガニなんて全く見ません。女性がもっと台所から洗濯から考えて行かなくてはいけない問題も多いのではないのでしょうか。ツガニ いくら放流しても個体数が増えなくては意味ないと思います。それだけ汚いってことです。流域に住んでいながら恥ずかしいです。

34	いつも伊与木川は満々と水が流れ、家地川ダム下流では、水量が少なく、干上がった景色を見ると、さびしい気持ちになります。
35	いつも思う事。大正地区・江師・小石地区は、浄化槽の設置をしました。しかしいくら川下の部落だけこの様な事をしても、川上の部落が生活排水たれ流しでは、意味がない様な…。自分は大正町で育ちました。本当に今では川で泳ぐ気持ちになれない、自分の子供達を遊ばす気持ちになれません。かといって自分にできる事は家庭排水、ゴミ処理位ですが、がんばってやれることをしようとおもってます。
36	今森林整備で間伐と共に作業道があちこちで造られている様だがこれも大雨の時は全部地表のドロが河川へ流出すると思う。又この作業道がくずれて土石流がおこることも考えられないことはない。このドロが河川のゆるい所にたまり水がへった時にじわじわ流れるのではないかとにかくどの地域でも杉、ヒノキ、の植林がおもて地表がむきだしになっている所もあると思うので大雨のときはドロがそのまま流れていく。それと津賀ダムは底にヘドロが大量にたまり大雨の後が一番にゴリが回復するのが遅いこのヘドロは何とかしてもらわないとまだ田野のから下流の方が川がよごれると思う。津賀の放水口をみて見たらわかる。それから川にすてある、コーヒー缶ビニールが清掃の時に目立った。皆がこういうものはすてないという考えをもっていればなくなるはずだが
37	イメージは良いみたいだが、実際の川はたいした事ない。やはりダムを撤去し、アユなどが自然に上がってくる様になると良いなあ。
38	伊与木川の水量の多さにはいつもびっくりします。それに比べて津賀ダム放水口までの水の少なさ。もう少し水をまわさせるのではないかと。本流のゴミ(ビニールがつかっているなど)にがっかりします。流域住民のモラルも問題。子供たちが、とんとん川で遊べるようになるといいね。
39	美しい四万十川をいつまでもみんなで守りましょう。家地川ダムも大切に残してほしいです。
40	エネルギー、魚の生成、共に大事であると思うが、共生について具体的にどのような実現可能な案が、国、町において、あるかどうかということについてはわからない。時間をかけて将来の子孫のためにここが出来る小さなまわりのことから始めることを考えたい。
41	エネルギーすべてに無駄が多い(使い方、行政、国政)
42	エネルギーの大切さ、家地川ダムの大切さを、町役場は住民に対して、説明をすべきである。家地川ダムとともに育ってきて住民に対して町役場のシンボル、桜の名所としてPRし、観光客を呼び込む取り組みをすべきである。家地川ダムを愛し、昔の様な清流を呼び戻す努力をすべきである。家地川ダム撤去反対の一住民より
43	大雨の後の水のにゴリが長い間続くことが気になります。細い川からの水はとてもきれいなので、それはやっぱりダムの影響があるのかなあとします。他の町の様に新エネルギーには大きな変化が必要だと思います。子供たちがいつまでも川遊びを安心してできる川であってほしいです。
44	大水や台風等の大水の時は下流に流し、普段の時は止めたりしているダムはいらない。自然に戻してほしい。
45	温暖化による気候変動で降水量そのものが減少している。四万十川は貴重な自然として全国的にも高い知名度がある。その四万十川に十分な量の水が流れていないのは残念です。脱ダムの流れは先進国では共通の流れであり、家地川ダムやその他のダムも廃止して、四万十川本来の流れを取り戻してみてもどうだろうか。きっと日本全国の多くの環境を意識する人々から高く評価されると思います。ダム廃止への取り組み応援しています。
46	河川の砂利が少なくなっているの、水質を良くするためにも、砂利などを入れることはできないのですか。
47	合併協議会においては、旧3ヶ町村の「ダム撤去の基本方針」を受けて「家地川ダム、津賀ダムについての撤去を求める」という基本方針により、その実現に向けての統一した運動を展開することとなっていたが、その後、四万十町総合振興計画の協議に於いて、ダム撤去について反対があり、合併協議会を尊重しながら今後は「県においての調査、検証を受けて、四万十川としての河川環境保全と川の恵みを享受できる町づくりを基本として取り組む」という総合基本計画のもとに町づくりを計画実現することになった。ダム撤去について、住民の一人として考えることは、「ダム撤去ありき」として考えたくない。それは、四万十川の水質汚染、水量減、水温上昇、生態系、景観等、河川環境問題は、決して、ダムや堰に原因があるとは言いきれない。四万十川を取り巻く流域住民の生活(農業・工業・森林保全)全ての見直しが必要となっていると思う。合わせて私たちの生活に欠かすことのできないエネルギーの問題は重要な課題である。佐賀発電所は西部地域の重要な役割を担っている電力であることを認識し、家地川ダム撤去には反対である。「四万十川だからこそできる」という住民意識を持って、四万十川流域全市町村が主体となって同じ目標のもとに、四万十川の環境問題を考えてほしい。
48	合併協議の経過を踏まえ、町内融和の損なわれない対応を望みます。
49	家庭で使う洗剤等、町が指定して川を汚さないようにしたらどうでしょうか。
50	家庭の太陽光発電への補助を町からも出してほしい。
51	下流、川が汚くなったと思うのは、ビニール等が流されていたりとかで水はそんなに汚染されていないのではとも思う。
52	下流に堆積した土砂がコンクリート状になっている全く水を通さないらしい。もう一度上流部へ返して、ヘドロの浄化に使用してはどうか。巨石を使用した自然〇〇〇工法は無用の工作物、ヘドロの堆積以外何もない。増水して土砂が川を洗うことで美しい四万十川がよみがえらると思う。

53	川の側の木の枝に農業用と思われるビニール（ポリ）がかかっていたり、ペットボトルやあきかんなどもよく落ちています。四万十川に限らず私たち（人間）がしている事すべてが、天につばをはいているようなもので、必ずしっぺ返しがかかります。現にもう、大雨も、干ばつも、温暖化も、新しい病もすべて……。少し前まで当たり前だった事をちょっとしてみても、エコ、エコというくらいの事では、いけない。・小さい事でも、一人ひとりがみんなでする事。・つつましく生きる事。・体が欲しがっている食物（地産地消）をよくかんで、そして、一物全体食をする事。新インフルエンザにも、うがいをしたり、手をよく洗う事よりもっと大事だと思います。水の汚れに直接かかわっているといえば、養豚農家のし尿のたれ流しが上げられます。臭いもすごいし、なんとかならないかと思ひます。思いついた事を書いてみました。話が少しそれていると感じているかもしれませんが、たどっていけば、全部ひとつになるように思ひます。・もうひとつ、もえるごみを分別収集して、資源ごみにできないものかと思ひます。利用者の努力、協力が必要ですが、まとまりなく書きました。
54	川の汚れをすべて畜産関係とするな。全住民の生活排水が多量。
55	川はすべての人の物一部の漁業者が権利をふって決まりを作り（子供がいてアユやウナギをとっても良い楽しい場所であったはず）私物化しているようにも思ふ。四万十川は流域皆の宝物！
56	官、民、一体となって、流域全域での川を守る環境活動の推進。生活排水、工事方法、農業、肥料、多目的視野から検討。住民への啓もう活動。四国電力へ。「よんでんの森」から「よんでんの川」（例えば「よんけんのかわ」等）へ拡大し清流保全と四電のイメージアップへの取り組みを！
57	環境問題の意識改革（住民モラルの向上）（河川、排水路の浄化）
58	観光客が来ても自慢のできる川にしてほしい。
59	間伐事業を十分やり、あとは自然にまかせる。ダムは必要ないかと思ひます。生活排水を浄化することを各個人に認識させること。たとえば、えひめアイを使用するとか。
60	聞いた話だが、中土佐町は生ゴミを土に変える機械を町民に貸しているとのことですが、窪川町でもぜひやってほしい。又、上記で書いたエネルギー問題関係ですが、ようは上の書いたことを実施することで、より多くの企業を誘致し、四万十町自体の働く場所を確保することにより、若者の流出を食い止め、また、住みやすい町、四万十町をアピールすることにより、より多くの人が四万十町に住みたいと思うのではないのでしょうか。四万十町の今のおいしさは、四万十町の今を考えるのではなくもっと未来を考えて欲しい。たしかに今ができればなんにもならない。が、そこは、頭のいいあなた方が真剣に考えてこの町を発展させてください。たしかに町に金がないのは、町民はよく知っていると思ひますが、今の収入より先を考えて。
61	旧佐賀町は60年前撤去に申請しました。自然の水量に加え、ダムの放水が生活に被害をもたらしたためであります。又、ダムの下流の市町村は水害がありました。自然は変わり、下流のむ村も水不足で生活に被害を与えた。放水先の佐賀町は水で生活も安定している。今の自然の姿で変わりは続くだろう。自然が基本であり、四国電力も発電（休）も四万十川に住民に対する努めであります。
62	近年ずいぶんとヨセ（ヨシ）が繁茂していますがヨシは水の浄化に役立つと言われますが？家庭排水、産業排水を全面的に浄化施してもらいたい。（問い13）
63	車に乗らないし、年齢的にも遠出することはありませんので、意見、要望など申し上げることもありません。悪しからず。
64	現在の電力の状況を踏まえても家地川ダムが必要か判断に困ります。四国には原子力発電所がありそれ以上の電力が必要でしょうか？ 今後は地域的な発想でなく太陽、風力等の発電も積極的に考え子々孫々に先人の営みを継いでいく事が大切と思ひます。
65	原子力発電関係の誘致には反対です。梶原のように自然エネルギーに取り組んでももらいたいです。川と親しむところがあればと思ひます。
66	古味野々ダムは魚道もなく全く下流に流れていなかったのですが10年位前にダム前面に小規模発電所を造り水を放流するようになったのです。大奈路まで（中津川の合流点）の水質は放流される以前の川とくらべてはるかに汚れた川になりました。特に夏場は泳ぎたいという気の持てない川になっている事を知ってほしいと思ひます。ただ水を流せばいいというものではないと思ひます。
67	高校卒業して以来、四万十川に関わることはなかったが、40年ぶりUターンして、鮎等の魚が激しく減少しているのは悲しい。→子供のころ浅瀬で鮎が手づかみできたことが懐かしく思ふ。少しでも昔の状況に戻せるよう住民一体となって取り組むべき。
68	こうやって、住民の意見を聞く事は、良い事だと思います。意見が反映されれば尚、良いと思ひます。
69	ここ数年本当に水量が減少し「四万十川」と全国的にシンボルとして名を残すには程遠くなっているのでは・・・と感じます。天然アユや天然ウナギなど、四万十の貴重な財産を残すべくまずは生活排水等自分達の生活の中で出来ることを持続していければと思ひます。
70	ここ何年前くらいから四万十川の水の汚れが目立つ様になってきていると思ひます。このままではとても日本最後の清流とはいえないのではないのでしょうか。自分さえよければそれでいいそんな住民の意識のなさがこうなっているのだと思ひます。山はゴミの山、四万十川に流れ込む支流の小さな川もゴミだらけ、これでは四万十川がきれいなはずがありません。何とかならないものなのでしょうか。行政の方でも真剣に考えてほしいと思ひます。思いは一ついつまでもきれいな水の流れのある四万十川であって欲しいと思ひます。
71	五十年後、百年後を考えると、今、撤去しかない

72	子供の頃、祖父がとった鮎の味が今の味とは違い、鮎独特の匂いとか大きさもあり、美味だったように思います。川の汚れとかが無く水量も多く本当に美しい川でした。全国的にも注目されている四万十川を未来の子供たちに残す為にも、又、大切な生活のためにもこれ以上汚れることなく、汚すことなく共存できる道を皆で考えてゆかねばと思う。
73	子供の時から家地川ダムを見て、70歳を超えて春は桜祭りなど行うようになり、楽しいことです。ダムに移ったあの景色はいつも目に浮かびます。いつまでも見たいです。
74	このアンケートの一番肝心なるをまとめることが出来ず空白にして何のお役にも立てなかったことを申し訳なくお詫びいたします。
75	このダムは電力と佐賀地区の農業用水の確保をしてあげたい
76	このままだと、ますます四万十川の貴重な自然は失われ、汚れた、水の少ない川のイメージが定着する。そうなれば町民、県民の財産でも何でもない。
77	雇用をもっとふやす
78	今回、このアンケートを見るまで家地川ダムの事など、桜の花見の場所としか認識がなかった。関心もなかった。今回、四万十川の水質や川そのものの環境保全や水量等々、四万十川そのものについては興味あることだったので改めてダムの影響とか、町民として知らなかったことを反省もしたが、行政としても町民の関心を高める運動、活動等不足しているのではないかと思った。子供の頃のように、川で子供同士でも安心して遊べるようなきれいな川になってほしいと思うので、協力できる事はしていきたいと思う。
79	今後、自然破壊等に関わる問題の少ない太陽熱や風車等による新しい電力開発に力を注ぎ自然破壊等の悪影響を除去してゆく政策を考えてほしいと思います。
80	最後の清流四万十川と言われる川の中心あたりにダムがあるなんてとてもおどろかされます。ダムは川自身の自浄力をなくしてしまうものだと思います。ダムを無くし、もとの様にする事できないものではないでしょうか？
81	最後の清流四万十川といわれるけれど、それは下流であって上流の窪川の川はだれが見てもきれいと思われな い。昔は家地川ダムがあっても、鮎やウナギはたくさんとれ、子供までも、川漁を楽しめる。今は、下流でなくても、上流も水量が日頃は少ない。ゆたかなすいろうをとりもどすことは、いまはむづかしい問題になってきている。わたくし語りますが、月一回4～5人で、ゴミ拾いをしてありますが、ひどいと思う事は、町民のゴミ袋に入ったごみを山の中や川辺の竹やぶの中に捨てられていることです。ゴミ袋に入れたら指定場所になんて持っていけないのか疑問に思う。一人ひとりの心がけて、自然を守っていかないと。
82	最後の清流っぽくない。
83	産業排水の問題に関して一特に畜産関係は地区内では解決しにくいですね。近所づきあいとか色々ありますから。行政はそこを察して「守らせるべきところ」についてはシビアに対応してもらいたいですね。
84	参考までに、四万十川におけるダムの治水効用について明らかにしてはどうでしょう。洪水史 明治23年大洪水、雨量1200mmと推定。十和の水位23m上昇。お宮の多くが流出した。R381号の道路位置の基準となった。川筋の住宅冠水。昭和10年 雨量1000mm、水位約20m上昇 川筋の住宅冠水 -ダム2基建設- 昭和38年雨量800mm、水位19m上昇 川筋住宅冠水 昭和56年・平成初期 水位12m位の上昇 田畑冠水 水位上昇とにがり 昭和10年頃…水位上昇は雨後一回位 減水には一週間くらいかかり、笹色があり、平水になったとき、澄み切った水質 昭和30年以後…水位の上昇、減水が極端で平水後もにがりかとれていない(水中眼鏡で) S38一時間に5m上がった(船を流す)一夜にして10m以上減水 平水になっても濁り(綿をちぎったよう) 続く 年間雨量の減少か S20～S502500mm/年 H21 2000mm以下になりそう
85	山林の手入れに力を入れて、小谷(支流)などの水源対策をする。
86	山林の手入れはとても必要だと思います。雑木であれ、人工林であれ、山は荒れ果てています。一度、山の中に入って見てみてください。
87	自然環境に負担をかけず、クリーンなエネルギーづくりにシフトすべきである。自然と調和し、豊かに暮らす方法を取り入れ、積極的に実践すべき。人間のことでなく、動植物、地球全体のことを常に頭において、今、自分たちのできる最善を尽くしたいと考えます。本当の意味で、豊かな町、豊かな高知県になってほしい。
88	自然環境の保全対策、地元との交流イベント、など、河川環境へも対策しておと思っている西部地域の電力の安定供給としての役割はないのでしょうか。四万十町の地産、地消、70年以上経過、ダムだけでなく、河川環境保全のために住民の出来る事もこの際じっくり考えてみよう。

89	自然に優しいのは、風力、太陽光を使った発電である。だが、火力、原子力と比べたら、エネルギー供給量は知れている。あのダムを無くす、個々のダムは撤去、火力、原子力は本当に必要か、などよく意見をされて考えられているが、人間の今の社会で生活をしていくには、水力、火力、原子力によって、エネルギーを供給していくのは、生活をしていく上で一生必要なもので切っても切れないものである。だから、人間個人で、出来る電気の節約、ゴミを減らすなどエネルギーをあまり使わず、エネルギーの節約をするように努力をしていくことが、ダムを撤去することの前に考えて行かないといけないことだと思う。
90	自然を後世に資産としてのこす為代替えエネルギーとして風力太陽光等(特に公共の箱物)には水力に代わるエネルギーとして設置をするべきでエネルギー先進町になることを望みます。ダムはダメではなく代替えエネルギーの設置を望みます。
91	時代とともにエネルギー対策もとのった四万十川であってほしいものです。
92	実際、地区が離れているため、下流でどんな風になっているのかもわかりません。
93	自分が生きてきた間だけでも川が汚れて、魚も減っています。四万十川本来の姿をとるとどうすることが何より重要だと思います。
94	自分の住む地域には関係のない事なのであまり考えた事がなくて、何も思わないけど電力確保に津野町のような風力発電いいと思う。
95	四万十川、家地川ダム、離れた所にいるのでわかりかねますが、四万十町にとっても有名、特に四万十川は全国的に有名なので、いつまでもきれいな川であって欲しいです。それには一人一人の心掛けがないとできないと思う。家地川ダム、近くではダムを見ることはないので四万十町のシンボルとして残して欲しいです。
96	四万十川に関する知識がないのでよくわからない。アンケートの文章もむずかしくてよくわからなかった。かみくだいて説明してくれないと問題について興味がわからないと思う。
97	四万十町の川は一つだけではない。ダムはいらない。
98	四万十川が汚くなったと言われていますが、自分が生まれ育って今日までそれほど変わったようには感じられません。これからも日本最後の清流と言われ続けられるように地域ぐるみでこの環境を維持し続けるようにしなければなりません。
99	四万十川支流の小さなダムの撤去か漁道をつける。
100	四万十川にふさわしい水量、と書かれているが、もっと明確に住民に明記すべきだ。どうなればふさわしいのか？例(誰が困っているのか)水力に代わるエネルギーに風か火力にするのはもってのほかだ。例(取り壊す費用はどこから?)水力からかえるエネルギー、資金が無駄だ。税金の無駄遣いはやめてほしい。四万十川地域以前に町議の数を減らしてみてもどうだろう。環境対策はその後で充分。
101	四万十川の環境保全是町民にとって大切なことだと思います。家地川ダム、伊与木川への分水については過去においてもいろいろ問題となってきたように記憶しています。黒潮町にとっては大いなるプラスでしょうが四万十町には何の効果もないように思います。清流四万十の水をどのように活用するか、高知県、四万十町、黒潮町、四国電力、四者が充分に議論して町民の納得する答えを出してほしいと思います。四万十町活性化のためにも。
102	四万十川の支流に位置して居ます。水質が大変悪く川魚〜農作物に大きな悪影響が生じており、早急に畜産排泄物及び汚染物の垂れ流し、生活排水の浄化施設等に国の支援を要請を求めて推進してほしい。
103	四万十川の支流については、まだまだ生活水を流しているところ、有る程度大きな工場(店)などもそのまま流しているの、調査をして、出来れば(合併槽)などの普及が大事だと思う。
104	四万十川の水流をなくさん様に
105	四万十川の保全については問9の項目、1〜9まで全部該当すると思われる。全町民一人ひとりが意識し行動しなければ出来ないと思う。又、四万十川支流の、広見川の汚染も甚だしい。愛媛県側にも要望すべきと思いますが。
106	四万十川の流域に育ち、川をずっと見てきて、荒れて行くことをさびしく感じている。川が汚れ、魚や生物の住みにくい環境になっているので、何か方法はないだろうかと思う事があります。
107	四万十川は、四万十町にとって財産だと思います。川を汚すことは、四万十町の名前をけがすことであり、自分たちを自分たちでよごしているようなものだと思います。四万十川や町の環境、自然をもっと力を入れて、町として取り組む必要があるのではないかと思います。そういった取り組みこそが人々をねづかせ、人を呼び、人が愛着を持って、良い街づくりが出来るのだと思います。

108	四万十川は最後の清流と言われているが、私はそうとは思わない。現在は川に足を踏み入れると濁る。戦後、あまりにも砂利を取りすぎたのが原因ではないか。水の流れの汚れは家庭排水、農業の関係もあると思われる。特に東又川の汚れは家畜のし尿野処理の不徹底があるのでは？
109	四万十川は町にとって大きな財産で、全国的に名前の知られた川なので、その自然は絶対に守って行かなければいけないと思います。
110	四万十川ほど何も努力してない川は全国的にも、珍しい。行政、住民、漁業組合、皆がひとつになり、何らかの努力をしていく必要があると思います。
111	四万十川を初めて見たとき（10年以上前）と現在、どちらも同じ感想をもっていますが、“日本最後の清流”と呼ばれる程きれいとは思っていません。この川の汚れはダムやコンクリートの河川等による川の浄化作用が低くなった事もあると思いますが、流域周辺住民の意識の低さもあるように思います。町を中心にする事だけでなく住民全体で川をきれいにするという意識をもつように、もっとはたらきかける事ができないかと思います。又、できればコンクリートでかためず、自然の石等を使えるようにしてほしいと思います。
112	四万十市の取り組みでは、四万十川等に大量に不法投棄する場所に鳥居を立てて、心理的な作戦で抑止していますが、四万十町でもこれを参考にしてみてもいいと思います。
113	四万十町という名に町名が変わりましたが、旧窪川町に四万十川が流れているというアピールが全然足りないと思う。旅行客の多くは、大正や中村方面へ行ってしまう、松葉川の四万十方面へ来る人は少ないと思います。そちらへの案内看板などを作ればいいかと、前から思っています。折角、戦後一番古い沈下橋などがあるのに、中村などへ観光客を誘っているようなものです。窪川はこれではただの通り道のままです。後、思うのですが、夏の四万十川はとても汚いです。1月、2月ごろがとってもきれいで澄み切っています。四万十川に観光に訪れる人々は、夏が多いと思いますが、冬のきれいな川も見たいものですね。夏は田植えなどの影響で汚れるのでしょうかね。
114	四万十町といっても東又川、仁井田川などいろいろの川からの水を集め四万十川に至っている。すべての川の利用状態が良くなることを考えて行なうべきだと思う。
115	地元に住みながら、鮎や川エビ等が高値になり、とても残念です。昔はたくさんとれていたと聞きます。昔のように川の恵みを受けられるように住民や自治体それぞれの立場で何をしていくかがはっきりすれば協力していきたいと思う。四万十川が汚れアユも住めなくなれば、四万十川の存在価値が無くなり、私たちは取り返しのつかない宝を失うと思う。
116	上記のとおりです。よろしくお願いします。
117	上記のように、この地域でエネルギーについて考えることは重要だと思います。四万十発自然エネルギーの研究は地域の未来にとって、環境方面の発信源となるだけでなく、観光や仕事づくり（若者の）にもつながっていくと思います。温暖化や省エネが叫ばれているこの時期だからこそ環境やその周辺に関する事柄を四万十町の大きな目標の1つにかかげることは、地域を支え生活している人々の大きな誇りにもつながることだと思います。
118	正直に言って普段はあまり関心を持って見ていなかったのですが、突然アンケートを持って来られても、十分な回答をする知識がありませんでした。すいません。
119	人工林の手入れ不足などにより、山林の荒廃が進んでおり、今後は流域全体に目を向けて、森林整備など流域が一体となった取り組みが必要である。水力発電は昔から四万十町をはじめとする県西部地域の重要な電源であり、地球温暖化防止にも貢献しており、継続使用すべきである。
120	水量があって、いい流れだなと思う水は濁っていて川底が見えるほど澄んでいる時の水の流れはほとんどありません。たっぷりと水量があり、なおかつ水の澄んだ川になればと願っています。
121	水量が少ない。県内外の川の利用者マナーが悪い、ゴミ。石段つんだりコンクリートあまりイジらないでほしい。自然じゃない。
122	水量がすくない為魚類がすくなくなった
123	水量が少なくなって、川や水路も手入れされなくなった。昔の様に子供も川で遊ばなくなった気がします。もっと、身近に思う事が大切なのではないのでしょうか？
124	水量の減少や汚れのひどくなったのは直接ダムと関わっているとは考えてはいない。一つには山の人工林の多くなった事と田から畑へと移行したことにあると思う。よって人工林伐採後は植林を行わず自然林に帰すべきであると思う。そうすれば保水力は増し魚類のエサとなる虫も増える事だろう。汚れに関しては生活排水等よりも生姜等畑地から流出する、こえた土の流入する所が大と思う。水量の少なさと重なってよけいひどくなったとみている。四万十川マラソンの開催や、四万十市、町と市町村名にまで四万十川にすぎる程の現状において、かんたんにダムを撤去を考えない方がよいと思う。観光客を下流域に集中的に取られている中でただ一つ下流にないものがある。それはダムである。逆手にとってダムを活かす道を模索してみるのも一つではないかと思っている。

125	水力以外で安全な発電の方法を考えてもらいたい。
126	水力エネルギーのみに依存するのではなく太陽光発電等、環境利用でのエネルギーの確保も。家庭排水においては、各家庭におけるモラルの向上、指導が大切であり、清掃への参加呼びかけも各地域、力を入れるべきと考えます。
127	水力を利用する発電は今では古い考えがする様になっています。他のエネルギー対策を検討する必要があると思う。
128	生活排水の改善のため「エヒメアイ」的な推進を四万十町として取り組みしてほしいです。藤の越の坂道の改善をお願いします。冬場の凍結による事故多発防止のため早急に。ケーブルTV、監視カメラを、夜間照明はできませんか？台風等の場合、河川の増水状況を夜間に知りたい場合があります。
129	整備された田んぼは、取水と排水（水路）がわかれており、にぎり水がそのまま、四万十川へ流れている。
130	全国的に知られた四万十川を私達の財産として皆で協力して環境保全を考える時であるので水力だけにたよらずに新しい太陽光などの導入も考える時期ではないでしょうか？
131	全国的にも有名な四万十川を清流として維持していくのは難しいことですが、これからの世代にも四万十川の地元で育ったことを誇りに思える川にしていなければよいです。また、四万十川には観光に全国から来られる方も多いと思いますので、その方々にも四万十川はよかったと思える川にしていなければよいです。私は四万十川は高知県の自慢の一つだと思います。
132	全国でも有名な四万十川、実際に見ると、水量も少なく、ちっぽけな川だなと思ったのが、最初の感想でした。むかしは、こんなじゃなかったと良く聞くので、もう少しきれいになればと思います。人が集まって来るような、きれいな四万十川であって欲しいです。エネルギー対策等でも、梶原町のようなやり方もあるので、もっと動いてほしいです。
133	専門的なことは分かりません。
134	大正地区の川の水の少ない事向こう岸へ歩いて渡る事が出来そうな所がいくつもある。これでは川ではありません。なぜ大正地区だけが少ないのでしょうか、地形の事はわかりませんが、川底にはドロが、魚の住めるところにあらず。
135	台風等増水の際に、竹、雑木類にゴミ（ビニール、トタン等々）が多く流れてきている。増水に歳の対策を住民、皆が考える必要があるように思います。
136	太陽光、風力などのエネルギーにすべきと思う。
137	太陽光エネルギーの設置に補助金の増額をしてほしい。
138	太陽光エネルギーは山間部には無理があるでしょうか？新エネルギーの供給が望まれます。
139	太陽光発電など、自助努力でできるエネルギーの活用補助を行うなど、転換を考えるべきと思う。ダムだけの発電量では町の分の電力も賄えないのでは？特に産業の少ない四万十町では、ダムを無くして、川を活かす方向性は、大事なことはないかと思います。
140	多重責務に関する相談窓口を設けてほしい(特に四万十川とは関係ありませんが)
141	ダム、エネルギー問題、いろいろあるとは思いますが、今後の四万十川が不安です。
142	ダム自体に魚道を増したり、ダムの上流、下流の（禁漁区）を増やすべき。禁漁区内でのアユ漁などを行っている人がけっこういる！大正、十和、西土佐などは、密漁者おおすぎ。大正地区は下水道が整備されているのに使用者が少ない。町で下水道使用家庭を増やす努力すべき。窪川（十和）地区は下水道の設備を早くすべき。
143	ダム撤去後の電力エネルギーとしてや太陽光及び風力発電を
144	ダムの下の方が水がきれいだと思います。窪川の太向かいの川と打井川の川と見た時。
145	ダムはなくなると良いと思うけれど、自分たち以外にダムを必要としている人もいるので、仲よくして欲しい。
146	ダムを撤去するのは不可能だが、本気で反対しないと、四国電力より漁業組合にお金が入らないから反対する、という話を聞いたことがあります。真実が知りたい。住民は漁業組合に踊らされているのでしょうか？
147	町民一人一人がたとえば生活排水など小さなことからコツコツとできる事を続けるなど、四万十川をきれいにしたいという気持ちを持たなければいけないと思う。

148	津賀ダムのヘドロ
149	電気が必要である
150	電力確保の方向性については分からないが、この不景気の中、地元での雇用機会が減少する事がないよう、四国電力さんには、お願いしたい。四万十川の環境保全だけでなく、伊与木川についても考えるべきではないか。
151	問16-1 ②水質が悪くなったと問われるのに関しては、確かにダムには汚れた流木やゴミがいっぱいで汚いため池を思わせるを得ない様な所も多々ありますよね。
152	問とは別になりますが、日本最後の清流とは今から30年、40年も前の四万十川の事、いまだに清流四万十川と言われるのが、不思議でなりません。水はとつぷりと汚れ鮎などの川魚の味はもうとつくに消えてしまって、本来の鮎ではありません。なのにどうしてこんなにも四万十川の名だけが先走りして、はるばる遠くから四万十川を求めてやって来るのか地元に住んでいる者にとっては何ともやり切れない気持ちです。水利権も電力も生きている者みなすべてに欠かす事の出来ない大切なものであります。太陽光熱で電力をとり入れるのは、良い事だと思いますが、高額な費用がかかるため、誰でもという事にいきません。低生活をしている者にもできる予算であればいいと思います。
153	とにかく現状のままでは、良い方向にはいかないと思う。
154	日本最後の清流としてテレビで放映しているので家地川ダムはいらない。四万十川を観光に来る人に家地川ダムがあるおかげで恥だ。
155	日本最後の清流とは名ばかり昔は水を直接口にできる水質でした。今の四万十川は清流ではない、住民一人一人の四万十川に対する愛が大切です。又ダムのない川にそその基本です。環境保全のため水力エネルギーも重要ですが四万十という全国的に有名なブランドが農業等地域産業あたえる効果ははかりしれないものがある。
156	農業、林業、漁業だけで若者は定着しません。最終的には貧乏な街になり地方交付金も？公共料金の引き上げ→生活圧迫→街を離れる→生活できないため。生活を支える稼ぎがないため。現在の四万十町のビジョンが見えてきません。何をどのように、どうしたいのか。国は環境のための資金(サポート)、子育て支援に力を入れています。だけど、経済発展(外貨)なくして資金は持続できるでしょうか？先行き不透明な世の中です。十分、四万十町も真剣に物事を考えなくては恐らく破たんしてしまうでしょう。所得税の入って来る層がどの位いますか？将来地方分権、地域主権となれば大変厳しくなると思います。そのつければ公共料金、修繕費にまわることとなるでしょう。若者が生きていける環境を創って下さい。川を保全するなら環境産業を誘致するべきです。いろんな会社があります。具体的にアプローチすれば興味を持ってくれる企業もあると思います。まず、行動しなくては実現はないです。動くことです。営業マンになって下さい。街を売り込んでください。プロセスが大事です。駄目を思わず行動を。アジアに力を入れ発展しようと思う国々は日本だけでなく外国も同じです。政府はアジア路線を重視している。ならば(街)もアジアに主力を置こうとしている企業群に四万十町をアピールし、企業誘致してみてもどうでしょうか。(食料品)(環境)産業等いっぱいあります。競争社会に突入している以上、前に進まなければ街の未来はありません。四万十町の産物をネットと相手先(取引先)に仲介してあげるサービスを生産者にしてはどうでしょうか？(役場)→ネット(1名、2名)→大手スーパー、個人等 ネット→生産者→大手スーパー、個人等(販売ルート作り、ネット、農産物) ネット→四季おりおり産物 春 夏 秋ーしいたけ、くり、その他 冬 (四万十町産パッカー一年契約で品物を備え販売等)⇒(仲介システム 後援)
157	農地 水 環境
158	はっきりとしたことはわからないが、昔のようなきれいな川になり、魚が戻ってくるようになること。四国一、日本一の清流に恥じないように
159	花見に行っても水があるとないとではちがうと思います。水があるほうがいい。
160	必要性(ダムの)をもっとアピールしたらどうですか？発電していると言っても町民の人に無作為に聞いて答える人はそういないと思う。具体的な広報活動してはどうですか？(発電量とか何世帯カバーしてとか)
161	ひと昔、四万十川は天然アユの宝庫であり、友釣りが解禁になると県外から多くの友釣りファンが泊まり込みで訪れ四万十川流域町村の活性化に一役買っていた。しかし、ここ10年ぐらい前から天然アユの遡上が激減し、最近では解禁になっても県外客どころか地元の友釣りファンさえ見当たらない。昔のように家地川ダムがあっても天然アユの遡上ができる環境になってほしいと願います。
162	風力発電はいかがでしょう
163	風力発電や太陽光の方向も考えてみて良いのでは？
164	分水の必要性、エネルギーの確保(CO2問題をクリアしている水力発電)環境保全等、各々単独ではなく、全てのセット、で検討されるべき。現状のままでよいと思う。四万十川はみんなの物、特に子供たちが川へ入って遊べるようにしてほしい。(一部の漁協者の権利が強くなっており、自由に川に入って魚が取れなくなっている。)

165	平成16年に設置された合併協議会で特別項目で委員全員で撤去の決議が採択されています。特に熱望致します。
166	平成18年3月29日に(旧)窪川町、大正町、十和村が基本的合意のもとに対等合併で新しい街、四万十町が誕生しましたが、吸収された地域が多く見られますので今後、対等な四万十町生存に向け、進んでほしい。
167	まず、すぐにできることから始める。①砂防ダムの切り下げで砂利のなくなった川を元に戻し自然の浄化をする。②生活排水を流さないようにする。③山の保水力がなくなって水量が少ないのも問題。山の手入れをする。④伊与木川の分水を止め、水量を増やす。⑤あゆが友掛でつれなくなり、県外からのつり客がちっともこなくなった。
168	全くちがう伊与木川への分水は、今の時代にはミスマッチに思う。電力の発電に対する考え方を見直す時がきているのではないかな。
169	水は生命の根源地域住民のためだけでなく高知県の大きな財産でもある四万十川の保全は絶対に必要でもある、景観もよくない。
170	昔の環境(川)に戻してもらいたい。その環境で生活してきたので戻してほしい。
171	昔のように、他県の人に自慢のできる四万十川になってほしいです。
172	昔は稚鮎を取ってなかったと思いますが、おっきな鮎がたくさん登ってきたが今はだめだ。四万十川の水は四万十川に流すべきだ。
173	元に戻し自然に返す事。
174	役に立てずスイマセン
175	やはり自然のままでいいと思う。
176	豊かな四万十川であり続ける為の最善の方法にしてほしいです。
177	良くテレビetcなどで？全国的に最後の清流と言っていますが決して言える川ではありません。北海道の時計台、高知のはりまや橋のようながっかり名所にならない様に。夏は子供達が安心して遊びつりをし、いつまでも安全な魚が食べていけばいいですね。
178	四万十川にはダムは必要でないのでは
179	四万十川の水質の悪さは年々ますますばかりという。清流という名にふさわしい川を取り戻す為には1つに家地川ダムの撤去により中、下流への水量を増やすことが急務だと思います。昔の様な鮎やうなぎ等川魚がビチビチはね泳ぎ回るきれいな川にしたいという思いはきっとみんなの四万十川流域に住む人々の強い願いだと思います。後世に汚点を残さない為にもぜひ今ここで撤去に向けて取り組んでほしい！
180	四万十川の水量が少ない時は分水を控えて頂くことはできないか。今でも極端に少ない時季があると思う。
181	四万十川は国民の川であり漁業組合の川であってはならない。川をもっとしたしみやすくしたらいいと思う。
182	四万十川は全国でも有名な河川です。それとは反対に四万十川の特に上流部は生き物の種類が少ないと思います。家地川ダムを撤去した場合必ずエビ、カニ、アユ等の種類が増えると思います。そうすれば今よりもっと多くの人が四万十川に来てくれる様になり町の活性化にもいくらプラスになると思います。
183	四万十の諸対策は遅れている。①行政も観光イベントなどを重視する余り清流保護の方はなおざりにしてきたのではないかな②火力利用者中心の漁業は住民全体の意識からずれている③天然の鮎がへった理由は②のみに非ず電力、分水、開発、観光④流水域から海岸線付近で稚魚の乱獲もあるそれらの要因がからみ合って川の汚れ砂利の減少各地域の小規模河川の災害の要因となったのではないかな？鮎の減少のみならず、エビもカニも居られなかったとの嘆きを聞く、コイやフナ・カマツカ・ナマズの多くなったのは事実—どうしてなのか科学的に究明して対策をたてんといかん。「日本一の清流」というキャンペーンが泣きべそをかいているぞ！
184	流域住民の宝であり、30年前の清水に戻す取り組みをしてほしい。砂防ダムを作らないこと。もっと川に砂利が多くある川に戻すこと。生活用水に便所の水を川に流さないこと。
185	私が子育てしてる頃(30年程前)夏、水遊びに行くと、シジミがいたり、水量も今とは全然違うと感じます。今は対岸へ渡れるようなところも見られます。そのうちアシなどがおいしげり川が見えなくなるのでは？と想像しています。

186	私共の年代はきれいな大井野川、吉見川で遊び乍ら大きくなりました。今、清流四万十と云う言葉を見たり聞いたりすると何だかとても恥ずかしい気がします。これから子供達が家の中ばかりで遊ばず、昔の子供達のように、山で川で伸び伸びと自然に接し乍ら色々と学んで欲しいと思います。
187	私の住所が家地川ダムの上流なので関心が無いように思います。
188	私は、写真撮影のためよく四万十川を中村まで下ります。水質などは検査をしていないので、よく判りませんが見た範囲では、本流、支流の土木工事、ダムの放流による泥水などが、全てではないが原因になっているとも思います。川の浄化機能の低下に加えて、川の流れが遅いため、一度泥水が流れ込むと、長い間、川を流れます。中村まで流れていることもあります。そのほかに原因といえば意向調査の間9～1～9すべてに該当すると思います。そして、最近よく言われます、鮎、ウナギなどの魚が少なくなったと聞きますがせっかく四万十川に入ってくるシラス鰻をなぜ捕るのですか？腹にいっぱい卵を持った鮎を落ち鮎と言って一部の人がなぜ捕るのですか？そうでなくても、鮎、ウナギ等が少なくなっているのに私には判りません。
189	私は高校で自然について勉強や調査をしました。正直、四万十川的环境は上流の方しか良くないと思います。外観も一見きれいに見えがちでも、水中を歩けば砂が舞うし、ぬめりもあるし、きれいとは思えないのが正直な意見です。まだ、仁淀川の方がきれいに感じます。最後の清流と言われ、全国でも有名なのだからもっと四万十川をきれいにするべきだと思う。ダムが関係しているかはわからないけど、ダム以前に四万十川の水質、景観、いさぐく生命を大切にすることが一番優先すべき課題ではないでしょうか？
190	私は小さい頃はケバリでも4～5月につれました。だからダムのためではないと思います。それより田畑、洗濯、消毒、洗剤によるものと私はおもいます。皆で美しい川にしていきましょう。今年雨が少なくて水も少なかったですね。

第5部 調査票

家地川ダム(佐賀取水堰)に係る 住民意向調査へのご協力をお願い

【調査をお願いする町民の皆さまへ】

皆さまには日頃より、町政へのご理解並びにご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、平成23年4月に家地川ダム(佐賀取水堰)が水利権の更新期限を迎えます。県では、水利権更新に対する考え方について調査、検証等を行っておりますが、本町としても、町としての考え方を整理するため、住民の皆様のご意見を参考にさせていただきたく、今回アンケート調査を実施することといたしました。

何卒趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査の対象者は、四万十町全域の住民基本台帳から、20歳以上の1000名の方々を無作為に選ばせていただきました。

調査票にご記入いただいた内容や皆さまからうかがったご意見・ご要望・ご提案等は、統計的に処理したうえで分析しますので、個々の回答者の調査内容を公表したり、他の目的に使用することは絶対にありません。

調査は、次のような手順で進めたいと考えています。

【調査の手順】

- ① 町職員が調査票を配布し、回収に訪問する日時を相談させていただきます。
- ② 調査対象者の皆さまは、回収日時までに、調査票に必要事項を記入した上で、同封の回収用封筒に入れ、回答内容を見られたくない方は封をしておいて下さい。
- ③ 回収に訪問した町職員に調査票を入れた回収用封筒をお渡し下さい。
- ④ その際、おかまいなければ、町職員に地域のことや町政のことなどについても、皆さまのお話しをお聞かせ下さい。

平成21年11月
四万十町長 前田 哲生

(本地域の調査配布・回収担当者)

所属課名： _____

氏 名： _____

電 話： _____

(調査全般に関するお問合せ先)

企画課：(担当) 敷地、富田、伊藤

電 話：22-3124

FAX：22-3123

- 3. 産業排水
- 4. 川砂利の減少
- 5. 河川工事等
- 6. 転作に伴う畑作化など耕地の変化
- 7. 住民の環境モラルの低下
- 8. 家地川ダムの影響
- 9. 津賀ダムの影響
- 10. その他 ()
- 11. わからない
- 12. きれいだと思う

問 10 四万十川の水が汚くなったと感じたのはいつ頃からですか。(1つに○)

- 1. 最近(この 2,3 年位) 2. 5 年位前 3. 10 年位前 4. 30 年位前
- 5. 50 年位前 6. その他 () 7. きれいだと思う

問 11 四万十川の水量が少なくなったといわれていますが、原因は何だと思われますか。
(原因と思われるもの最多 3 つまでに○)

- 1. 山林の荒廃
- 2. 人工林の手入れ不足
- 3. 温暖化による気候の変動
- 4. 家地川ダムによる取水
- 5. 転作に伴う畑作化など耕地の変化
- 6. 水路や河川等のコンクリート化
- 7. その他 ()
- 8. わからない
- 9. 少ないとは思わない

問 12 四万十川の水量が少なくなったと感じたのはいつ頃からですか。(1つに○)

- 1. 少ないとは思わない 2. 最近 3. 5 年位前
- 4. 10 年位前 5. 30 年位前 6. 50 年位前
- 7. その他 ()

問 13 自慢できる四万十川を後世に残していくために、何をすべきと考えますか。

ご意見があれば記入をお願いします。

III 家地川ダムについてご質問いたします。

ご質問に回答いただく前に、次の内容をご覧ください。

【前回の水利権更新以降の経過】

河川の流水を占有するには、河川法に基づき河川管理者（四万十川本流においては国土交通省）に「水利権」の許可を得る必要があります。この水利権は、水力発電に利用する場合は、おおむね20年間の許可期限となっています。

水利権の更新とは、この許可期限毎に許可条件を見直す手続きを言います。手続きについては、水利権申請者(家地川ダムは四国電力)から国土交通省に申請が行われ、国土交通省は、経済産業大臣との協議・県知事からの意見聴取を行い決定することとなっています。

家地川ダムについては、前回(平成13年)の水利権更新時に、流域7市町村のうち旧東津野村・大野見村・大正町・十和村・西土佐村が「ダム撤去」、旧窪川町・中村市が「条件付存続」の意思を表明し、分水を受けている旧佐賀町は「存続」を県に要望しました。

また、県は、更新にあたっては「水資源やエネルギー問題、生活環境などの課題に取り組むことが重要」であり、そのためには「四万十川にふさわしい水量を確保し、四万十川の自然・生活環境・エネルギー対策等の検証が必要」と判断し、検証に向けて、国土交通省に対して更新期間の30年を10年に短縮するよう要請しました。併せて、四国電力には、四万十川の特性に十分配慮した放流量を確保することを要請しました。

これに対し、国土交通省は、平成13年3月30日に県の要請に基づき更新期間を10年に短縮し、四国電力に水利権更新を許可しました。また、四国電力も、高知県と四万十川流域の環境改善に取り組むことに合意し、放流量を大幅に見直すこととしました。

更新後は、放流量が増加され、県では、河川環境の変化や効果についての調査・検証結果の住民への報告会や、今回(平成23年)の更新に向けて、検討協議会の設置等を行っています。

本町では、平成16年に設置された「窪川町・大正町・十和村合併協議会」において、「ダム撤去の基本方針のもと、住民合意の具体的方策を検討し、その実現へ向けての統一的な運動を展開するもの」とし、「家地川ダム及び津賀ダム等に関する新町の基本方針」を定め「四万十町における家地川ダム及び津賀ダムの撤去等に関する決議」として確認されました。

その後、合併協議の合意事項を踏まえて策定された「四万十町まちづくり計画」においては、「家地川ダム及び津賀ダムについて撤去を求める取り組みを推進する」としていましたが、平成19年に四万十町の基本計画として策定された「四万十町総合振興計画」の協議において、ダム撤去の方針に対し賛成・反対の意見が二分されたため、合併協議会での決議は尊重しなければならないが、県においても調査・検証中であり、水利権更新時に向けて今一度住民全体の意思を確認する必要もあると判断し、「河川環境の保全と川の恵みを享受できるまちづくりを基本として取り組む」こととしています。

問 14 上記に記載しているとおり、合併時における協議やその後策定された計画策定時に、家地川ダムに関する協議や決議がなされたことを知っていましたか。(1つに○)

1. 知っている 2. 知らなかった

問 15 家地川ダムの、前回(平成13年)の水利権更新後、放流量が増加したことを知っていましたか。(1つに○)

1. 知っている 2. 知らなかった

問 16 家地川ダムより下流の河川状況についてお聞きします。平成13年以後の河川の状況に変化はあったと思いますか。(1つに○)

1. 変わった 2. 変わらない 3. わからない

問16-1 問16で「1. 変わった」に○の方にお聞きします。何が変わったと思いますか。(複数回答可)

1. 水質が良くなった 2. 水質が悪くなった 3. 水量が増えた
4. 魚類が増えた 5. 魚類が減った 6. その他()

問17 家地川ダムの水利権更新期限が平成23年4月までになっていることを知っていましたか。(1つに○)

1. 知っている 2. 知らなかった

問 18 家地川ダムの水利権更新について関心はありますか。(1つに○)

1. 関心がある 2. ある程度は関心がある 3. あまり関心がない
4. 関心がない 5. わからない

問 19 家地川ダムから、発電用に使った水が黒潮町の伊与木川に流されていることを知っていましたか。(1つに○)

1. 知っている 2. 知らなかった

問 20 地域での発電は重要ですが、今後の地域での電力確保についてどのように考えますか。(複数回答可)

1. 水力発電 2. 太陽光や風などの新エネルギー 3. 原子力発電
4. 火力発電 5. その他()
6. わからない

問 21 前回の更新時には、家地川ダムについて、流域市町村や住民等から「存続」、「条件付存続」、「撤去」など、様々な意見や決議がなされ、県は、国に対して条件付の更新を要望しました。その後8年が経過しましたが、家地川ダムについてどう思いますか。(1つに○)

1. 分水の必要性和エネルギーの必要性は別問題であり、四万十川の環境を守るためには廃止すべき。(廃止を要望)
2. 四万十川の環境保全と水力エネルギーの確保は、どちらも重要であり、四万十川の環境保全と共存が図れる方向性を模索すべき。(条件付の存続)
3. 四万十町の電力確保を考えた場合、環境面からも水力発電が有効であり、電力確保を優先すべき。(現状のまま)
4. その他()
5. わからない

問 21-1 問 21 で「1. 分水の必要性と・・・」に○をした方にお聞きします。エネルギー問題、伊与木川への分水について、具体的なお意見があれば記入をお願いします。

問 21-2 問 21 で「2. 四万十川の環境保全と・・・」に○をした方にお聞きします。具体的なお意見があれば記入をお願いします。

■ 四万十川に関すること・家地川ダム・エネルギー対策等、何でもかまいませんので、ご意見・ご要望・ご提案について、記入をお願いします。

ご協力どうもありがとうございました